京城日報

三日夕刊
定價 本紙一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢 ……
廣告料 ……
發行兼編輯人 ……　印刷人 ……
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 ……　振替口座京城 ……

○對葡最後通牒 在留獨人續々退去

マドリッド來電に據れば、獨逸は葡萄牙に對し最後通牒を送り葡萄牙の差押へたる獨逸船を釋放せんことを要求せり葡萄牙在留の獨逸人は續々同地を退去しつゝあり（東京特電）

○葡國政界の緊張 時局と聯立内閣組織

葡萄牙の大統領と内閣首相は現下の緊張せる時局に鑑み國民的聯立内閣を組織せんとて各政黨領袖連と協議しつゝあり（倫敦電報）

○佛艦撃沈公報

巴里來公報に曰く、佛國補助巡洋艦クロベンス號は二月二十六日サロニカに向て軍隊輸送中中部地中海に於て水雷を以て撃沈されたり乘組員總數一千八百名中八百七十名は救助せられたり（倫敦電報）

○鎌倉丸停船さる

日本郵船會社歐米航路船鎌倉丸（六、一二六噸）も歸航の途中英國軍艦に停船を命ぜられ臨檢を受けたり（東京電報）

○北軍は獨南軍は聯合國 支那動亂の將來如何

支那南北戰爭の現狀を見るに北軍の背後には獨逸の後援あり聯合國は概して南軍に好意を表しつゝあるを以て現下の情勢よりすれば南北戰は變じて獨對聯合國戰たるに至る可しと觀測さる（東京電報）

○青木中將に會見

北京來電に據れば袁總統は渡支中の青木中將に對し北京に於て會見を求めたりと（東京電報）

○日露漁業問題解決

日露漁業問題は彼我政府間に交渉圓滿に進捗し四要件共全部我漁業家に有利に解決せられ當業者は孰れも滿足の意を表せり（東京電報）

○燐寸棉布輸出好況

二月中の燐寸輸出頗る好况にして一月中に比し一萬三千箱の輸出増加を示し棉布輸出も亦頗る活況を呈し前途の氣配強硬なり（東京電報）

○閑院宮殿下 臺灣共進會へ御差遣

臺灣總督府にては四月十一日より臺灣施政二十年記念勸業共進會を開催につき安東同總督より閑院宮殿下の御臨場を願中の處二日聖上陛下より御差遣の御沙汰ありたり（東京特電）

○大森知事辭表

大森京都府知事は此頃辭表を提出したる由にて後任は大久保大阪府知事に内定したりと傳へらる（東京特電）

○隈伯陞爵說

大隈首相は四月頃陞爵の恩命に浴すべしとの說あり（東京電報）

○岡陸相

轉地靜養中の岡陸相は六日歸京す可しと（東京電報）

○御眞影

軍司令部參謀松浦大尉は御眞影を戴き三日釜山著急行列車にて同夜龍山著の筈なりと

○海軍慰問使來著

今回聖旨に依り鎭海並に永興灣防備隊御慰問の爲め差遣せられたる侍從武官海軍大佐松村純一氏は三日朝無事釜山に著し出迎への爲め總督府より派遣せられたる森海軍少將と共に急行列車にて鎭海に向ひたるが同地防備隊慰問の後永興へ向け出發の筈なり

○山林主任會同（第五日）

各道及び營林廠林務主任會同第五日は三日午前九時半より總督府第二會議室に於て開催寺內總督以下各林務主任主務部長官關係部長官局長關係高等官出席石塚長官議事整理の下に日程に入り午前午後共事務打合せあり午後三時散會せり同會は四日の造林地實地視察を以て終了す可し

○定例長官會議

三日は總督府定例長官會議當日なるを以て午前十時より總督府第一會議室に於て總督以下各部長官局長立花總長代理山形大佐等會同通常事務に付打合の上午前十一時半散會せり

○統計會計講習會

京畿道警務部にては來る十一日より憲兵分遣所及び各警察署より講習員を集めて巡査並に憲兵に對し統計會計其他操練に關する講習會を開催すべし

○新學期就學者

來る四月の新學期に於て京城府內の七小學校に入學す可き就學兒童の屆出は本月二日迄京城方面九百八十六人龍山方面二百七十八名合計一千二百六十四人にして尙千三百名位迄には達する見込なりと云ふ而して之れが收容は現在の各學校に於て相當方法を講じ約六學級（一學級五十六人乃至六十人迄）の新學級を增設す可しと又之れに要する教員の配置に就ては三月を以て卒業する教員養成所生三十五名中より若干名を採用して配置する方針なりと

○京城高女組織變更

京城高等女學校は今回學則變更の件認可され從來の收容定員六百名を七百名となしたり其結果本年第一學年に募集す可き人員は二百名とし例年の倍數と爲したれば就學者に取りては此上なき幸福と云ふ可し尙ほ從來の補習科は本年限り募集を見合せ追て適當の機會に於て再び募集を開始することゝなりたり

○露貨（日滿聯絡引換代金）

本邦換算率は去る二月二十七日より露貨百留に付日貨六十七圓二十錢に改正從來に比し二圓十錢方騰貴せり

○荒井長官歸期

第三十七議會政府委員として東上中の荒井度支部長官は議會は既に終了せるも總督府豫算の跡始末其他の要務整理の爲めあるに依り來る十五日頃歸任の運に至る可し

○滿鐵沿線土地漸衰

長春附近を始め南滿洲鐵道沿線一帶の耕地は從來支那人の施肥せざる爲め年々地味衰耗に赴き從つて五穀の出來榮え宜しからず昨年の如き凶作は夏期に於て霖雨ありたるに因ると雖も又一は耕地荒廢せるが爲めにして從來支那人等は土地廣き爲め輪換耕作を爲し來りしも一朝鐵道通じて運輸の便開けたるより沿線附近の耕地は捨てゝ去るの支那人なきに至り愈々肥料盡きて地味惡しきに至れるものにて苟くも輪換耕作を爲さずとせば肥料を施さゞるべからざるは勿論にして無智の支那人等は念頭にも此處に及ぶものなし之が爲め年々此の土地を捨てゝ東蒙古に入り移住せんとし土地を荒廢して他へ轉居せるものあり稅吏に徵稅を迫られ土地の收入に過ふもあり沿線附近の農家は慘澹の狀態なり（長春）

○滿洲支那人の水田計設

奉天の支那官憲は邦人及び鮮人の經營に對抗する爲め各縣知事を通じて地方農民に水田の開拓を勸誘しつゝありしが此運動効を奏せしにや遼陽、海城、牛莊、營口、蓋平、遼中、西豐、新民等の各縣より水利分局に對し今春より水田を拓くべき付要所の水利工事を施されたしと出願し來り目下省當局にて商議中なりと（奉天）

平壤

▲組合豫算會議　平壤學校組合にては二十八日豫算內示會二十九日、一日、二日の三日間豫算委員會を續行せしが三日より本會議に移れり

▲炭疽豫防注射　德川郡の一部に炭疽發生の疑ひあるを以て平安南道廳にて小南道技手浦井技術員を同郡に派し三月一日より十七日迄城陽面武面の生牛五百零七頭に對し炭疽豫防注射を行ひつゝあり

▲醫生の講習會　平安南道にては道內醫生約六百名に對し三月十日より各公醫所在地に於いて公醫講師となり醫科講習會を開會する由なるが一期間十五日位なるべく平壤にては醫生二百餘名に上るを以て數回に之れを分ち平壤慈惠醫院醫官及び公醫之れが講習に任ずべしと

▲法院出張所　四月一日より新設さるべき平南平原郡永柔の平壤地方法院出張所は當局に於て廳舍其他見付中の處此程決定相當修理を施し近々書記を赴任せしむべしと

▲兩判事出發期　大邱覆審法院部長に轉ぜし辻平壤地方法院長咸興地方法院長に榮轉せる岡本平壤覆審法院部長は何れも十日前後當地出發赴任の筈なるが辻判事は明治四十一年より前後九年間平壤にあり醇乎たる好判官なりしを以て官民一同の轉任を痛く惜みつゝあり

▲十年一日の細野警視　今回警視に昇進し咸興警察署長に補せられたる細野平南警務部警部は明治四十二年以來平壤署長代理を數箇月勤めし外今日迄警察部及び警務部詰として勤續し其間一日の缺勤もなく眞に十年一日の如く部內活字引の評ありき

▲警官轉任　平壤警察署警部にして政務係主任たりし……は細野氏の跡を襲ぎて警務部勤務となり……は鎭南浦署長に轉じたり

▲出火頻々　三月一日平壤府町通黒井方より發火せし外將別里米商方より火を失して三戶三棟を燒き前月二十九日は新陽里趙東斌方より失火約七百圓の家財を烏有に歸したりコレ皆其の原因は不注意より來ると云へば一般に注意すべし

▲訂正　二日朝刊「鑛業界の賦暗」中段今後は五百萬分の七八錢の鑛石ともあるは「百萬分の七八錢の鑛石」と訂正す

淸州

▲忠北地稅完納　道當局の施設宜しきを得たると共に一般農民の從順にして納稅義務を了知し毎年納稅期に際し常に全道に範を示しつゝあるは忠北の誇りとして既に知らるゝ處なるが今回四年度第二期地稅徵收に際しても期日たる二月末に全部完納済となりたり

公州

▲學校長會議　公州に於て來る六日より八日迄三日間忠淸南道管內公立普通學校長及び小學校長會議を開會す可しと

▲藁具製造講習修了　忠南牙山郡に於ては郡內各面より生徒募集藁具製造講習を數箇所にて二週間酒井道巡回教師之が講師となり數百名の生徒に實地製作法を教授しつゝありしが本月一日閉會し二日鳥致院を經て歸廳せり

▲山本土木主任出張　道廳の山本土木主任は太田鳥致院市街土木狀況視察の爲め一日公州出發出張したり

▲寒氣襲來　二十九日以來俄に寒氣襲來し一日夜の如きは最低攝氏零度以下七度に下降したり果樹栽培家は此上寒氣募るに於ては花芽の凍傷なきやを怖れ居れり

大邱

▲始政後の組合　總督始政後に於ける慶尙北道各郡を總括したる學校組合狀況に關し道廳地方係主任の調査に係るもの左表の如くなるが之に據って慶北內地人教育の進展及び一般事業界の漸次著しく發達進步又は其の逐年長足の進展し來りたる程度を窺知するに足る

年度	組合數	歲入	歲出
明治四十三年	一二	一四、四六四	一三、六一六
明治四十四年	一六	一九、六八四	一七、八九七
大正元年	二一	三四、二八九	三一、八七九
大正二年	二六	五一、七九七	四六、九一一
大正三年	三三	八一、七九九	七一、六一九
大正四年	三六	八二、一五一	八二、一五一

大正四年度は豫算額を揭ぐ

▲義城學校組合　慶北義城學校組合にては二月二十六日午後一時より組合評議員會を開催し大正五年度歲入出豫算を議決したるが戶數五十二戶に對する戶別割賦課金二百九十一圓四十錢八厘にして五年度差引殘金無し

▲永川學校組合　慶北道永川學校組合にては近年著しく就學兒童數の增加を來たせし結果校舍の增築を爲さんとして教員を增聘し來學年度よりは高等科設置の豫定なるに依り從って授業料徵收規程の變更を要し二十四日附を以て管理者より道廳宛授業料徵收規程變更申請を爲したり

▲金泉學校組合　金泉學校組合にては組合會の議決を經て大正五年度歲入出豫算を了したるが慶北道廳に到りし來る大正五年度の豫算報告は之を以て第一落となす

歲入豫算額 一金四千百九十五圓　歲出豫算額 一金四千百九十五圓

▲慶山組合議員補缺選擧　慶北慶山學校組合にては組合會議員中二名の缺員ありし爲め道般組合事務所に於て補缺選擧を行ひたる結果千野晋平、深田棠三の二氏當選せり

光州

▲農銀二月中成績　光州農工銀行の二月中に於ける貸借成績は貸附高四萬〇百二十七圓八十九錢回收高三十五萬六千三百八十三圓〇七圓八十三錢にして預金は同月預入十五萬二千九百四十二圓十五錢拂出十四萬八千九百四十二圓……殘高三十四萬九千四百五十七圓九十六錢

▲谷城郡守任命　谷城郡々守に金宇鉉氏任命不日京城より光州に著任すべし▲新企業　……一般に新企業事業起らず金融緩漫なりと

▲總長の島巡り　全州より光州に來著の途中立花警務總長は微恙に罹りしも快復の上三日木浦に向け出發一週間の豫定を以て多島海の島嶼巡視を爲すべし

▲碇井遞信技師　碇井遞信技師は技手山下金次郎氏を隨へ電信狀況視察の爲め二十九日全州より來著二日榮山浦を經て木浦に向ふ

▲光州の降雪　二十九日夜より光州は雪を降らし翌一日まで時々微雪あり寒氣は却つて強く華氏二十六度に及びたり

▲光州電燈計畫　大邱電燈會社の社長小倉武之助氏は二十九日夜光州に著翌日京城に向ひたるが用務は現在の大邱電燈會社機械を光州に据付け大邱電燈は動力を水電に變更して經營せんと欲するものにて市民は其の成功を期待しつゝあり

釜山

▲陸軍記念日と軍人分會　帝國軍人會釜山分會にては三月十日陸軍記念日を卜し總會を兼ねて祝賀會を釜山座に開き銃劍術試合其他數種の餘興ある由

▲中學入學志望者　釜山中學校本年一學年生徒九十名募集の所既に百六名の入學願書提出あり期日までには優に三百五十名に達する見込なりと入學試驗は三月十一日擧行の由

□淸津より（三）　孤村生

朝來六花紛々として飛ぶ、時に氣溫零下十三度七を示す。淸津の旅館は便船の出入毎に客足繁きも此頃の樣に混雜多くては命令航の定期船すら當てにならず、從つて小生の宿屋も亦目下獨占の姿なり。宿せると、間島邊の鑛山業者が時只某と云ふ快活なる銀行員の止宿せる美形を拉し來つて痴語喃々の聲を聞くのみが多少の景氣を添ふるに過ぎず。雪の晴間を見計ひ鐵道局出張所に新田技師並に松田、三戶見の兩氏を訪ひ淸會線工事の進度を聞き大に益する所ありたり何れ歸社の上詳細紙上に發表の筈なり。午後は淸津警察署を訪問したるに曾て東大門署長たりし白井義三郎氏の此處に長たるを見一片雲間不相識、三千里外邂逅君の感を起しぬ。更に轉じて北鮮運輸商會に四元嘉平次氏を訪ふ、氏は淸津商業會議所の會頭にして又府協議員たり、溫厚篤實なる紳士にして、識見あり學識あり、常に岡本常次郎氏等と共に公共事業に盡すこと鮮からず、淸會鐵道の敷設も同氏等の力大に其基を爲したりと云ふ、田舍に旅行して斯る人士と相識るは何んとなく一種の强味を感ずる心地す、淸津は斯の如き人によりて日進月歩しつゝあれど如何せん交通不便のため、多く其實況を社會一般に紹介し得られざるは遺憾の極なりとす、今後何等かの機會に於て、南鮮或は內地の實業家を招致し、以て有望なる淸津の實狀を實地に見聞せしむるに於ては、淸津將來のため大に益するものあるべきを信ずるものなり

統營

▲櫻井校長逝く　統營尋常高等小學校長櫻井英一氏は二月二十二日以來急性肺炎に罹り病勢日增し險惡に陷り藥石効なく遂に三月一日を以て逝く氏は多年敎育界の爲めに盡瘁し其功績著しきものありしも惜むべし享年四十九

安東縣

▲稻垣工務課長　鮮鐵工務課長稻垣技師は一日午後來安竹內新義州保線課長の案內にて各所を訪問し新任の挨拶を爲し即日新義州に引返し一泊の上南行

▲曾田大佐通過　陸軍航空隊附曾田大佐は滿洲に於ける飛行演習を終へ一日午前安東驛通過歸東せり

▲猩紅熱の發生　三番通六丁目四番地平井方同居高橋秀雄（一四）は猩紅熱に罹り直ちに滿鐵病院へ收容されたるが其後一週間の間に四番通七丁目四番地織光安吉の長男正一（五）長女あい（七）五番通八丁目原田つや（二五）の三名も亦相前後して同じく猩紅熱に犯され病室へ送られたるが其後益々蔓延の兆候あるに依り安東警察署にては目下日々嚴重なる檢病的戶口調査を行ひ專ら之が豫防に努め居れり

▲學校臨時休校　最近に於て猩紅熱患者を出したる安東小學校にては去る二十八日全校生徒の健康診斷を行ひ翌二十九日嚴重なる消毒を爲したるが三月一日より豫防の爲向ふ一週間休校することゝせり

人事消息

▲野口技師（民務課）　勸業模範場裡里出張所及牧馬場豫定地視察の爲め六日江原道へ出張

▲正田技師（土木局）　湧淸船渠締切工事の竣工檢査の爲め三日大邱へ出張

▲島崎技師（土木局）　地方土木事業監督の爲め全南管內へ出張

▲鈴木辰藏氏（土木局技師）　水道水源地調査の爲め四日釜山へ出張

▲森憲兵武官　監督官視察巡迴の爲め三日午前八時三十分南大門驛發釜山へ

▲熊本利平氏（全北熊本農場主）　此程入京京城ホテル滯在

香南雪北

物價騰貴を見越して地方在鮮商人は頻りに思惑買入をして居たが其結果多少の弱氣を來した處もあるらしい、現に全北全州などでは如何な小商人でもマッチの如きは盛んに買込んで居るから此の狀態で行くと自然持ち餘しを來し終には內地に逆移出を圖る者も出來て來るのだらうとの噂である▲朝鮮產の核子移入稅率改正が議會を通過したので平壤邊では大喜びで一般生產增進にも努力するから地方農民として內地への販路も充分開拓し得ある▲近き將來に於ては一重要產物として內地への販路も充分開拓し得べく經濟を潤すことも尠少ではなからうと當局なども大分勢込んで居る相な▲大邱商人の鴨綠江氷移入高は二月末日迄に十三車三百三十八噸だと云ふ大したものだ▲例の鑛山熱は依然として盛であるが實際は重石も水鉛も聲程に大したものではないらしい▲忠州や丹陽で發見されたと云ふ鑛山狂組を果然たらしめた水鉛鑛でも實際は鑛量頗る少なく物にならぬと云ふ▲其れから重石鑛なども邱城面のも今の處一日平均百圓位の產出である相な▲而し此の鑛山は大々的經營をされる事になつて居るから將來は大に有望らしい▲其の他同面の一鑛山は一日平均五十圓の產出であるとの事である▲忽ち巨萬の富を夢見つゝ其れ程騷ぐ程のものではなからうと某鑛山家は笑つて居た成る程其うかも知れぬ

七十八日遊記　定價七十五錢 郵稅十錢

本書は德富蘇峰氏が支那旅行記第四版印刷成り從前の定價を半減し特價七十五錢にて發賣せり當時氏の足跡朝鮮滿洲北支那長江一帶に及び其人情風俗を支那の過去現在將來の論究に注ぎたり其議論の堂々たる觀察の精確なる世自ら定評あり今や添ふるに支那革命に關する著者の論文數章を以てしたれば錦上更に花を添ふるの觀あり久しく渴望せる江湖の讀者子を滿足せしむべく苟くも隣國の事に注目するの士は本書を讀まざる可らず

京城日報社代理部　振替口座京城三〇〇番

字探し募集

【問題】此の廣告中に萬の字が幾字あるか
【賞品】正解者一人に付一本定價金一圓のキンシ萬年筆（五拾錢の萬年筆へ附けるペンクリップ付）四百本進呈す
【解答】解答はハガキに限る名は大阪市上本町五丁目キンシ製作所へ三月十五日迄の消印あるものに限る
【選】新聞社員立會の上先着順に選別して正解者に其旨を通知す

KINSI MANNENHITSU　キンシ萬年筆

【開催之趣旨】現代萬年筆界の權威として名聲あるキンシ萬年筆の眞價を知られん爲め……御試用あるに依り……一名に一本宛進呈……

キンシ製作所

新刊書御案內

書名	著者	定價
●淵中の宅石	鈴木三重吉	五〇
●淺草物語	久保田萬太郎	九五
●短歌三百講	與謝野晶子	一〇〇
●はやり唄と小唄	[illegible]	八〇
●詩集正義の兜	佐藤惣之助	六〇
●山口金井スキー術	大日本雄辯會	[illegible]
●朝鮮名勝詩選	[illegible]	一三〇
●談話	[illegible]	一三〇
●無歌なき生活	[illegible]	一〇〇
●國一語の話	[illegible]	一〇五
●人生の裏面	村上浪六	一〇五
●諸官立學校試驗問題作文模範答案集		四八
●進化原論	谷津直秀	一五〇
●雜誌美辭舌と筆	[illegible]	一二〇
●姉と妹の手紙	[illegible]	四九〇
●女の裏おもて	[illegible]	九五
●名士の癖	[illegible]	四五
●新生活の創始	[illegible]	八九
●日常生活の化學	[illegible]	五〇
●英雄風雲錄	[illegible]	五〇
●民育要義	山崎延吉	五〇

大阪屋號書店　東京本町　電話……　振替……

◇可愛いゝ孃さん達が嬉しさうに!! ―お母樣やお姉樣がお客―美味しい赤のご飯

三日桃の節句の午前十一時から南山幼稚園では可愛らしい雛祭が行はれた、平素からお雛樣のやうな坊ちやんや孃ちやん達の樂し相に遊戯する校舍内も此の日は一層嬉し相に見受けられて先づ正面雛壇を飾つた左右には園生一同の卓子とお母樣達の席が設けられストーブの暖かな廣間ではいろ〳〵な遊戯や唱歌が試みられた、お終ひにお雛祭りの會食が始まると共に可愛らしい園生一同は一々先生からお行儀を教はり兩側から差向ひの卓子にはお重箱入りの赤い御飯が頒べられて何れも非常な悦びであつた、猶ほ附添ひのお母樣達四十餘人は何れも美しい櫻餅を振舞はれ園生一同はまた歸りに澤山のお土産を貰ひました

◉盲目の母に仕うること五十年 ―夫婦揃つて孝養至らざる處なし― ―面民大に感動して金品を贈る―

忠北永同郡龍山面龍山里に申聖云と云ふ男が有つた妻金伊との間に三人の子を有ち僅か許りの小作と日傭稼ぎの賃金で漸く其の日其の日の煙を立て居る憐れなる暮しをして居つた申はモウ六十の阪を二つ超へて居るが毎日營々として働きを休めたることはない本年八十六歳になる盲目の母に仕へて孝養至らざる處なく一郷の模範とされて居る申の父は今から五十年ばかり前聖云が未だ腕白盛りの時に一寸した病氣が原で遂に世を去つたそれから後聖云は子供心にも盲目の母の心を思遣り萬事立居に不自由なる母の身を慰めんと心身を碎き孝養すること

▲五十年一日の如く其の食事の際の如きは聖云は匙を妻は箸を持ち母の口に運んでやり夜は夫婦して床に就かしめ夏は蚊を追ふて夫妻交る〳〵徹宵と冬は夫婦の中間に臥さしめて身を以て温めるなど一意專念に老母を慰め其喜色を見て二人は此の上なき樂として居る申は勞働して得た些少ばかりの賃金の内からでも必ず老母の嗜好の物を需めて歸り貧しい内にも一家は和氣靄々として未だ嘗て荒々しき言葉の一つさへ洩らしたことはない他人のことには全く無頓着な鮮人等も此の

▲至誠の孝養に動かされて時折米麥などを給與するものが少くないつい此頃も龍山面長は面内の篤志者と圖り酒肴料三人前(金三圓)白米一斗金巾十尺に金二圓を添へて之を贈り以て其孝心を旌表した因に妻金伊も姑に仕へて至誠溫順

▲夫と共に克く孝務を盡くし其の微細なる心づくしは子供の幼少な時分其の子の夜泣聲の老母の安眠を妨げんことを憂へて夜中に子を負ふて家の外へ出て居るなぞと實に夫婦揃ふた孝行者である

◉六神丸密輸入 罰金二十七萬餘圓

大阪市西區川口居留地在住の支那人陳家堅(四三)西區本田町通二丁目五二林孝金(三六)任必淮(四六)同町一四七郭珠順(三九)同一丁目二本三林枝旒(三七)林枝詳(三五)の七名が昨年七月頃本國より六神丸を密輸入し密賣したる事件の控訴公判は廿九日大阪地方裁判所に於て棄却の言渡あり第一審判決は左の如く罰金合計二十七萬餘圓にして犯行者如左

郭珠順(罰金一萬七千四百圓)任必孝、任必淮(各罰四萬六千四百圓)林枝詳(同二萬一千七百十五圓二十錢)陳家堅(同四萬五千七百二十九圓九十二錢)林孝金、林枝旒(各四萬七千九百五十四圓四十錢)(大阪支局)

◉監獄の隣へ

慶北尙州郡功城面生れ住所不定の金聖哲(三七)は窃盜前科三犯の處分を受けたる曲者なるが二月二十七日午後三時頃京城西大門監獄東手土塀の破れ目より忍入り土工現場係小屋内にありたる捻切器外數點(十二圓餘)を窃取し持ち逃げんとする所を同監獄の近藤看守部長に取押へられ鍾路署に引致され又々監獄行きとなる

◉南滿の馬賊 鴨江上流と長春

鴨綠江上流通化附近に優勢なる馬賊の一團現れ採木公司分局の木把小屋を襲ひ筏夫の所持せる拳銃五挺彈藥五百發を強奪して逃走せり(安東特信)

▲廿八日午後六時長春附屬地初音旅館隣り支那兩替商福盛當へ馬賊三名闖入し拳銃を擬して主人及び店員二名を脅迫し卓子の抽斗より露貨五十留を奪ひ逃走せり(長春通信)

◉嬰兒を踏潰す 慘忍なる強盜

新義州支廳にて死刑の宣告を受け一日平壤覆審法院に控訴し來れる殺人放火強盜の慘虐事件あり平北雲山郡東新面金洗河(三九)は碧潼郡加別面加上洞許仁國方に日稼に雇はれ居る内大正四年陰十一月十日の朝同家を辭去したるも仁國が其の前夜他出の儘歸宅せざりしを奇貨とし金品を窃取する目的にて同日再び仁國方に立歸り同夜鷄鳴頃同家の裏土塀を乘り越え溫突入口の張紙を其の所持せる小刀にて切り破りて懸金を外し室内に入りたるを同室に臥しゐたる仁國妻永洙が之れを發見し直ちに同人を捉へ長男を呼び起し點燈を命じたるより若し點燈されなば自己なる事の露はるゝより所持せる小刀にて永洙の胸部及び其他數個所に突き刺して之れを殺したる所傍らにあり生後百六日の嬰兒が火のつくやうに泣き出せしより面倒なりと右足を揚げて其の顏を踏み潰し更に長男(一〇)及び次男(七)に蒲團を被せ脅喝の上机の抽出しより蠟燭を取り出して點火の上金品を捜索したるが既に長男及び次男に自己の顏を認識されたりと思ひ上下出入口の戸を鎖し外部より放火せし上燒き殺さんとせしも長男許龍は健氣にも内部より戸を無理に突き開け次男を背負ひ火中を逃れ出し遂に其筋に急報し犯人を逮捕したりなりと(平壤)

◉素人淨瑠璃會 五日より七日迄壽館にて

雜誌現代倶樂部の主催にて來る五日より七日まで三日間壽館に於て全鮮素人淨瑠璃大會を開催する由なるが豊暖會連中外五會、龍山竹本歌玉連中仁川豊澤文平連中藝妓連中の出演ある由

◉化粧品屋の醉狂

長野縣南佐久郡海瀬村當時京城明治町二丁目下宿屋居住化粧品行商新海重一(三七)は二月二十六日夜十一時頃酒氣に乘じ同町の飲食店に立越し大盡風を吹かせて酒を出せと命じ二階にて器物を取外すなど種々の惡戯をなすより家人より立退き方を求められたるも容易に肯かざるより押し出されて立去る際同家の雇人上村彦一の冠れる帽子を引つ摑みて逃げ出したるより同人は追掛けて取り返さんとしたるに俄かに彦一に嚙みつきて拇指の爪を嚙み破り治療二週間を要する創傷を負はせたるより本町署に引致され檢事局へ送らる

◉放蕩者の縊死

平南鎭南浦龍井町三原勇五郎方中島繁松(二〇)は先月廿三日より家出して行衛不明なりしが廿七日午後一時頃龍井町十三の八空家内に縊死し居れるを巡回中の警官發見し身柄は主人に引渡したり同人は性來の放蕩者にて遂に主人の金子を少なからず費消せしかば失踪前主人勇五郎より手痛く叱責されたりと云へば多分良心の苛責に堪へず自殺を企てしならんと

◉小兒の弄火から

二日午前六時五分頃京城鍾路二丁目朴元鼎所有建物中部南洞二百七十五番地に新築中の朝鮮式平家建物より發火したるより常備消防隊出動二棟の中半燒にて同二十分鎭火す原因は小兒の弄火より發火したるものなりと

◉自轉車を入質

京城光熙町一丁目申相根(二四)は二月十六日鍾路四丁目の自轉車商申德鉉より借自轉車の名目の下に自轉車一臺(三十五圓)を騙取し之を黃金町の質屋に八圓に入質し消費したるを手初めに同樣手段にて櫻井町本町三丁目の自轉車屋にて各一臺宛を騙取したる爲め鍾路署にて取調の上檢事局へ

◉辨當料の詐取

住所不定の安鍾商(二七)は京城仁寺洞の高春丹なるものゝ横領罪にて一月中鍾路署に留置されたる際同房にありて訓戒放免となりたるより同人に依頼されたりと稱し泰引の家族より差入辨當料の名目にて一圓を詐取し他一名よりも同樣一圓詐取又々鍾路署に引致さる

◉野平公醫追悼會

昨年職に殉したる京城學校組合公醫故野平靖氏のため三日午後五時より永樂町本願寺に於て敎育關係者相集り一週年忌を營み多數の參詣者ありたり

◉預つて費消す

京城玉仁洞の高永補(三一)は土地調査局の技術員に雇はれ加平郡地方出張中雇主より物品購入の爲め十二圓を受取り京城に來りて右の金を消費したる爲め鍾路署より檢事局へ

◉金浦校長の死亡

京畿道管内公立金浦公立尋常小學校長飯田衛氏は三月一日午前九時腦溢血に罹り卒倒し直ちに總督府醫院に入院治療を受けしが午後六時遂に死去三日午後四時大和町淨土宗開教院にて葬儀執行の筈

◉鐵道倶樂部家族會

龍山鐵道倶樂部にては曩に有樂館にて開催し好評を得たる能狂言師土田他吉郎一行を招き明四日午後七時より家族會を開催すべしと其番組は(蚊相撲)―(宗論)―(井杭)―(棒縛)―(六地藏)―

◉倭城倶樂部家族會

京城壽町倭城倶樂部にては四日午後七時より家族會を開催し左の餘興ある筈 一、子供向活動寫眞 二、琵琶本能寺井上旭崇 三、淨瑠璃三勝半七酒屋の段松本一笑 五、琵琶小督局井上旭崇 六、今春の夜宮城校外有志 七、淨瑠璃さん瀧の段松本奈良梅

◉三才書道會

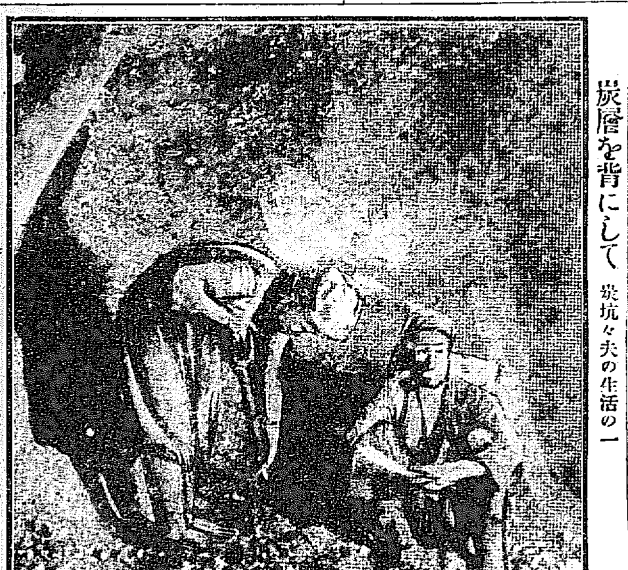
和泉那山人門下の三才書道會は例會を來五日午後一時より日の出小學校に開くと

腕の力 炭坑の中から

「しまつた!!」 □一陣の冷たい風 □職務の爲の犧牲

淡いカンテラの火影に包まれ乍ら地中幾千尺の坑内に於て發止々々と打振るハンマーに天地創造の秘密を囁き自然の深く藏した無限の富を發掘してはひたむきに限り無い地の底に突進して行く鑛夫程運命に盲從した者はあるまじく

炭層を背にして 炭坑々夫の生活の一



又破壞と反逆の生活を營む者はあるまい。『佐渡の金山、此世の地獄 上る梯子が針の山……』此處寺洞炭坑數百尺の地底に豆の樣なカンテラを點した二人の工夫の細く微かに歌ふ聲が聞えたが突然カンテラの火が消え失せると坑内は眼を痛ませる樣な眞暗闇の底となつて

歌の主も聲も油の樣な闇の中に葬られて了つた『オイ火を貸して吳れんか』『矢張り燈が消えたか!失錯ッた!!マッチが無い』『……なあ』此山の鑛夫が暗風口と怖れて居る○番坑と△番坑との別れ目で送風機から送られる空氣の流れに唯一の生命と頼むカンテラの火は奪はれたのであつた。二人は止む無く

四十二度の急傾斜

坑を這ひ上らうとした地層から落ちる水に濡れた岩壁で歩く爲め坑道はヌラ〳〵と滑つて如何に土龍の如く慣れたとは謂へ、眞闇暗では樁木(足止め)も解らずそれに手にはカンテラやハンマーを携へて居るので進捗らない。百尺餘の峻傾斜坑を登るには非常の苦痛と時間を要した暫くしてX番坑に出た二人は

足探りに線路に

從いて番號部屋の方に行かうとして視神經が痛む程見えぬ眼を瞬き乍ら歩いた天井から落ちる雫はザイ〳〵と音して襟や手を襲ふ。幾度か足を水溜の中に辷らしたり、屈めた腰を延ばす刹那坑木の爲めに強か頭を打たれたりした二人はカンテラの火が戀しかつた。明るい世界が戀しかつた。幽愁を囁く點滴の音

地殼の幽な唸り

無明と寂寞と恐怖の世界に立つた人は鬼の如き心にも始めて大自然の前に自分の小さいのを知つて悲しかつた。やゝ二十分間許り手探り足探りで進んで行く頃地殼を震ふてゴーッと言ふ物音が聞えた、淡い光がゆれて魔の樣な闇體が動いて來る、トロッコだ!!兩人は

雀躍して嬉こび

乍ら線路から退いてハタと身を壁につけ樣とする刹那一人の鑛夫はアッと叫び乍ら卷立(縱坑)に墜落した、怒號の聲、車輪の響き、無數のカンテラの火影、壓へつける樣な坑内の闇暗と幽寂は騷擾と淒慘の氣に攪亂された。

×　×　×　×　×

×番坑の捲卸坑道から落ち石炭を捲揚機械に移して坑外に運炭する第○坑内粉炭や塊炭が山の如く積まれた上に十數名の黑い影が各自にカンテラを提げて無殘な慘死體を取り圍んで立騷いでゐる『此奴も未だ充分酒の味も知らねー裡に死んぢやつたなア可哀想には可哀想だが

因果とスキップ

の中に墜ちやがつて俺あ胸糞が惡くて仕樣がねー』『馬鹿共ッ!!何故早く頭んとこへ知らせねえんだ』支柱夫はガヤ〳〵と騷ぐ鮮人鑛夫を叱りつけて慘死體を平の處に運ばせた、顏も頭も完膚無く傷いて黑い血潮が淋漓と流れて居る鑛程の息も最早杜絶えんとして居る。

●此達運も事變 ―たる者は尠からぬ中にも神戸市に在て身の……が今日の果報を喜ぶ一名義にて適當なる銀行に預け入れ女一萬五千圓は之を銀行に預金し其の利……豊吉は向ふ二十年間亦自己の不注意……主なる蒔田其……の地盤一個(五圓)を……引致……

曇但小雨雪

謹啓支部長杉井彦太郎二月二十二日付を以て轉任を命せられ其後任として主事鹽野谷平藏任命相成候に付不相變御引立の程奉願候 敬具
(外勤員募集)
京城長谷川町九十一番地
帝國公債信託株式會社朝鮮支部
電話二五三四番 振替口座京城二〇二七番

日本大學生募集
◎法律科◎政治科◎商科
◎大學豫科◎高等專攻科◎高等師範部
新學年開始……授業は四月十一日ヨリ
規則は郵券二錢を要す
東京神田 電話本局 三三〇九 二四〇九 日本大學
(各科開講午后五時半)

日本高等豫備校
●本校は高等學校、高商、高工其他の入學志願者の爲に受驗準備を授くる所とす●講師は何れも一高、高商、高師其他部下著名の士とす●學科の講義は各擔任講師の受驗準備として最も注意せる事項にして受驗生の上無代價にて在學生に配付す●各講師は高等學校入學試驗に立ちて受驗生の作成し之れに據り數回模擬試驗を行ふ●各在學生をして毎日午后五時半より聞せしめんが爲め本大學豫科(大學部の豫備門)にして授業を隨意聽講せしむ●授業は四月五日より始め午前九時より……之を行ふ

グラス萬年筆
朝鮮總代理店(目錄進呈)
京城本町二丁目 釘本藤次郎本店
電話四五〇・二七四 振替京城二三六
特約店 京城本町二丁目 町田商店

汽車時間表 好評益々 温泉投票 終局切迫
日本一
順境の戒愼……武者小路
日本一の大短所……志賀重昂
全力の大英國……浮田博士
中學卒業生諸君……高橋主幹
財界通 大倉系統解剖
カーネギーの財産調……小野主筆
一押、二金、三男……三宅雪嶺
鐵道院の中樞人物……白眼居人
意外錄 和田垣博士
家庭小說 女不二……渡邊霞亭
井上侯報恩旅行……伊藤痴遊
大正水滸傳……江見水蔭
三勝半七 隅田の闇……一龍齋貞山
北越新膝栗毛……田鶴舍
支那革命と盜賊……遠川方耳
海外販路擴張……西大家
新魅劍 凸凹鏡面上の大阪
定價 金拾錢 南北社

ウリダシ
輕便で堅牢で而して最も廉價な
熊平謄寫版
定價 半紙版 金拾圓 美濃版 金拾貳圓
當分の内定價の一割引
京城本町二丁目
製造發賣元 熊平支店

氷雪の中に
羅南の兵營生活 寂しい冬の三月

□人情の滋味

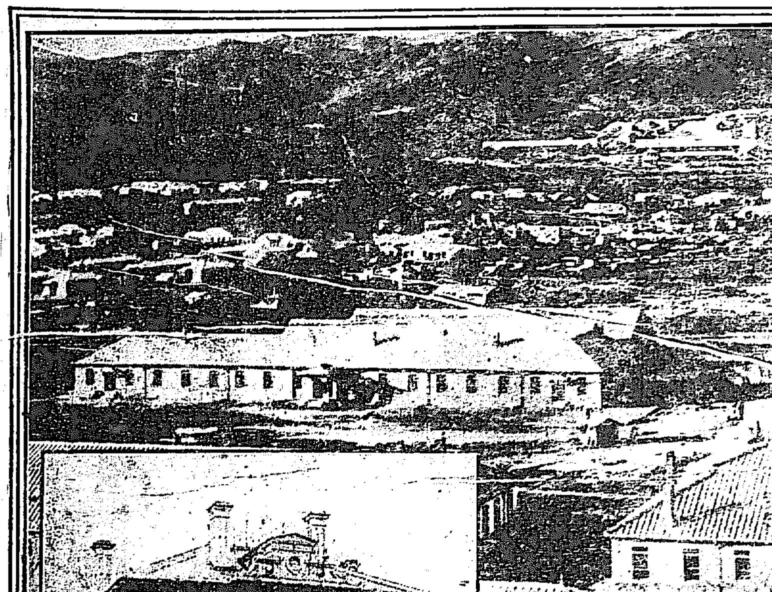
血もなき者や涙もない人に云はすれば戰爭に行つたらどうするかと云ふかも知れぬ、されど金持に爲つたつもりで居れと云つても貧乏人は何時迄も一向貧乏と因緣が切れぬと同樣人情の機微は其樣なものではない兵營生活以外に又何等かの樂しみが欲しい上官の方でも此邊の消息には

多大の注意を拂ひ

年に二回或は三回羅南に唯一の娛樂場に於て開かれる聞合廻りの旅藝人を營内に呼んでせめてもの慰めとして居る兵士も亦餓えては何を選ばずの北邊へ[illegible]と云ふ、之れさてほんの一時の娛樂しに故郷を放れる者に取つては何んの事業があらう最愛の妻子と海山數百里を隔てゝ居るぞ、羅南の四圍の山々は雪に包まれ利鎌の樣な

寒月が營庭を照し

て枯木と見紛ふポプラの陰影を投ぐる時に九時の消燈喇叭が物淋しさうな音に鳴りだすと誰云ひ出さねど何れも同じ故郷の空に魂を走せると云ふことだ戰ふては鬼をもひしぐ兵士も人情は又別だ時には想鄕の念に耐えかねてか其心ゆかしに國元から來た手紙や家族の寫眞を取出して熟々と眺て樂しむと聞くその手紙とても



羅南の兵營 上、全景。下、旅團司令部

便船の都合で早きゝ

は七日遲ければ十日も十四日もかゝる、手紙でも早く見られる處なら宜いんだが北國訛の兵士が云つたのも理もだ、所在地の狀態が此樣な不便な土地なれば給與を受けた金も費ふ途なく預金して居るのもある野砲兵聯隊の如き無用の金は貯金して置かぬと何百里も離れた所に居ては萬一國元の親が危篤と電報が來ても歸れぬことになるからと貯金通帳を作つて下士が其を預つて居るそれでも來る

四月には內地へ歸

れるからと殘る一箇月を來る間遲しと指折數へて居るさうだ故郷を思ふ兵士の心可憐らしいではないか野砲兵聯隊長玉置大佐は丹波の人家族は東京に置いてあると云つて北鮮の軍隊生活を語る……設備や給與の點では何一つ不足のない樣にしてあつても兵營外で兵士に娛樂を與へ得ないのは實に遺憾だ自分等も身を

軍籍に置く以上は

只命令のまゝに動くのみであるがそれにしても我々の生活が家庭の趣味を充分に味ひ得ない淋しさは又格別である一度樂しき家庭の趣味を解したる者が此樣な不便な土地に來て居ると家族の者の急に遭ても間に合はず家族も亦家の中心を失つて互に心細さを感ずるのは決して弱音を吹く譯ではない實際だ自分等の樣な大人は別としても御父さんと別れて居る子供等は可愛さうだと思ふ

少さな聞は兎も角

學齡期にもなつて見れば尙更ら此感を深うすると兵隊さんは子供が好きだと地方人が云ふのもつまり家庭と離れて居るからして出遭つた子供から種々な連想を起して子供を可愛がるのであらう其證據とでも云はうか軍隊に於ける面白い現象は酒保で賣つて居る物品は地方民の買つて居るのよりも幾何か安値なのであるが

不思議にも兵卒は

營外の商店で買ひたがるつまり一寸した機會に緣も由緖もない家庭にでも接觸して見たいのだね お可笑な話しだが自分等でも時々何處の子供とも知れぬ者を連れて來て風呂に入れて遣つたりお菓子を與れたり時には晚食を共にすることもある詰らぬと云へばそれきりでだが人情は妙なものだと。——北鮮の兵營生活——羅南の兵營生活——國境の兵營生活——は又他と大に趣を異にした所がある（羅南の兵營にて一記者）

◎温突小火 京城花洞七番地金永植方より一日午後五時五十分頃發火したるより鍾路署員消防隊出動直ちに消止む原因夕飯の爲め竈に焚火し置きながら家人外出したる間に傍の松葉に燃え移りして屋根裏を燒き通したるのみなり

演藝

▲如雲と恭爲 浪界の大立物にしてその幼時にありては桃林兒の間に受け宗右衛門の曲節を傳へたる桃中軒如雲は今回久し振りに浪花節に涌すべく[illegible]打揚げ二日夜[illegible]昨冬來同座に開演し新物讀として好評なりし京山恭爲と合同にて三日夜より開演する事となれり然して如雲恭爲は前席を勤むる由

▲御成座 ○○○ 落語音曲江戸ッ子會一行四日の夜は落語數師の失敗同樂酒等にて此の外落語手踊り等あり

恭爲　如雲

◇唐菜の肉卷 唐菜をゆがき、別に挽肉へパンの水にひたしたのを加へ、鹽、胡椒を加へ、醬油汁にてゆるめ、これを前の唐菜二枚ほどかされし中へ卷き入れ、これを鹽汁、醬油、味淋にて煮こみ深皿へもります

商況

債券現物特電
二日東京債券現物（前日との比較）

公債直取引
東京特電 三日東京債券直段（前日との比較） 九五、一〇

深川在米特電
三日現在高

東京期米特電
三日前場

大阪株式特電
三日前場

大阪三品特電
（三日後場）

	寄付	大引
三月限	一二七、五〇	一二七、五〇
四月限	一二八、〇〇	一二七、八〇
五月限	一二八、七〇	一二八、六〇
六月限	一二九、二〇	一二九、三〇
七月限	一三〇、〇〇	一三〇、二〇
八月限	一三一、一〇	一三一、一〇

大阪期米特電
三日前場 當限寄付 一三、五九 中限寄付 一三、七三 先限寄付 一四、九五 め止

雜報

下關取引所詳報

◎製粉下落步調

出來思惑品漸次投
況混沌に導き益々市

小麥の殘存品意外
多し上

◎瓜哇糖價崩落

支那商の賣物出

方低落を告げ一二十錢

◎洋釘は不勢
次第に軟味に陷

下關相場

各地商況
○釜山（二日の穀物）
○木浦（一日の穀物）

京城正米

南大門の廻米

仁川現物市場

仁川期米
三日前場 一錢高の入電 大阪二節九十錢安移

市場零聞 ▲更に動かず ▲中限の强硬を示し居り反し先限は頭重き成行を示す ▲前場の手振り ▲中先の逆鞘 現示一錢の逆鞘 ▲上鞘を順ぐ筈 ▲中限は强硬 成行きとなく底意强硬 ▲今筋中先賣 ▲丸り筋中先買 ▲依然氣乘り薄

仁川米豆取引所
三日の五月限 機俟氣迷ひ生に新動
賣買取組高

行賀仲買店

北濱たより
▲アルカリ株
▲鐵工株昂騰
▲賣買の時代

適齡者の爲に
檢查用寫眞に限り半額撮影仕候
但し此の券御持參の各位に限る
京城本町二丁目電話三三〇番 本町寫眞舘

京城府安國洞二六番地所在家屋（現、[illegible]）一は本人の[illegible]の所有であるが風說に依れば[illegible]會より貸用する爲め他と交涉なりと云ふ內外國人は本所有者にあらざる者に欺され後悔する事なきを希望す
京城府寬勳洞一九八番地 李復永告

謝近火御見舞 京城本町二丁目二十八番地 古物商 谷忠吉

謝近火御見舞 京城本町三丁目 [illegible]吳服店

謝近火御見舞 京城若草町 近藤質店

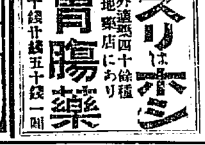
謝近火御見舞 京城本町三丁目 カステラ商 川口パナ、堂 電話二六六七番

近火の節は早速御見舞被下御厚意の段難有御禮申上候 京城櫻井町壹丁目 新田耕市

謝近火御見舞 昨夜近火の際は早速御馳付被下御陰を以て貸家半分の類燒に止り候一々拜趨御厚禮可申上筈の處混雜中貴名伺洩も難斗不取敢紙上御禮申上候 京城本町三丁目 田村義次郎

謝近火御見舞 近火の際は早速御馳付御見舞を辱ふし難有奉存候混雜中貴名伺洩も難斗午略儀以紙上御厚禮申上候 京城本町三丁目 橋詰吳服店 電話一八〇一番

鰹節 銘茶 浅草海苔 東京澤庵 印麻裏 川正仁 青嶋商店 電話園七〇九番 振替京城六〇番



クスリはホシ 沸胃腸藥 此外適藥四十餘種各地藥店にあり 定價十錢廿錢五十錢一圓

模範 牛乳 純粹培養 ヨーグルト 太正搾乳醫獸之場 京城蓬萊町四 東亞牧場（電話二五二番）

腦神經病の人
速に腦病特効藥
健腦丸を服用して
益々頭腦を健全にし
理解力 判斷力 を養成して
成功の途に突進せよ

かゝる人健腦丸用ゐよ
□頭に重い考へ蓋た心地の人
□記憶力減退した人
□物事悲觀し易き人
□腦神經衰弱過敏の人
□夜分少も眠られぬ人
□頭重く屢眼暈の起る人
□常に大酒の癖ある人
□事務をする氣力なき人

健腦丸を常に少量宛持藥とせば逆上を引下げ便通を快くし恐る可き腦充血を快治し中風卒中を未發に防ぎ記憶力を增進する特効あり

主効 腦充血 腦膜炎 逆上症 神經痛 腦貧血 憂鬱 癲癇 卒中 中風 頭痛 耳鳴 眩暈 健忘 便秘

藥價 [illegible]

大阪 東京 丹平商會藥房
健腦丸本舖 全國海外到る處の藥店に取次販賣せり

越後大評定

第百四十八席　早川貞水口演

三郎兵衛の破牢

そこで中澤藤兵衛爺へて見ると、若[illegible]野様の敵は討たれ、大悪人の小栗に亡び、小栗方の者が残らず[illegible]御味方の人々が、再び[illegible]に用ることが出來るならば、斯り[illegible]何うかして、牢を破つて助けたい[illegible]様の品を見ない内は、[illegible]ることも出來ないと、其[illegible]から一日[illegible]の木の下に[illegible]、横方を距ること三尺、三郎兵衛の言つ[illegible]地を掘ること東へ三尺、大[illegible]た通りに行つて見ると、果して桐の箱が一つ出たから中を開いて見ると成程金子五十兩に短刀、丸水の鑑札が出ましたから、是なら大丈夫と、歸り掛けに途中で酒を二升と鮪の切

今日は命日のことだから、念佛だけは我慢してくれ○其樣ことは最う構はねえ、俺達は此方で御馳走になるから、お前達は心置なく念佛を唱へさつしやい』と其から同役は飲み始める、容體の所へ上等の酒を飲ました[illegible]、酔の廻りも早くして、程なく三人とも其處へ倒れて大鼾、藤兵衛は知らぬ顔して念佛を唱へて居りましたが、其内に雨は益々強くなる、藤兵衛仕澄ましたりと、頓て鋸を取ると、茨の間へ差込みて『南無阿彌陀佛』、ゴリ〳〵〳〵、鋸の音は雨風と念佛の聲にて外へは漏れませぬ、到頭一本切落しました、間より今は要も無へたる三郎兵衛、その間よりスッーと牢内を

身を買求め、雨の降る内を赤合羽に饅頭笠で身を固め、德利と竹の皮包みを提げ、ノッソリ歸つて來ると同役が○ヤア中澤、貴様、何處へ往つて來た此雨の降るのに藤『イヤ今日は死んだ阿母の命日だから、今寺詣りに往つて來た○寺詣りは宜いが其の德利と竹の皮包は何う云ふ譯だ藤『斯りやね、お前も知つての通り阿母は恐ろしい酒が好きで、親爺が嚴格しいものだから、竈の下で、萌飯を炊きながら一升、酒飯に親爺に隠して一升、また晩に寝る時、内々で一升飲むと云ふ位恐ろしい酒好きで、死ぬ時にも酒を飲んで是で思ひ殘すことはねえと云つた程だ、其阿母の今日は命日だから、佛のため酒を二升と、鮪の切身を買つて來た、佛の供養のためお前方どうか飲んではくれまいか○然うか、それや剛氣だ、貴公は本統に親孝行で、其ちや折角の御馳走だ、遠慮なしに頂戴しやう藤『サア〳〵飲むが宜い、其

抜け出した、番人が先棒で破るから此位早い牢破りはない、其内に寝て居る奴等の大小を取り赤合羽を著し饅頭笠を冠り、先きに立つた中澤藤兵衛、跡から續くは瀧口三郎兵衛、番所の前を通り掛ると番『何人だ藤『へエ中澤藤兵衛で御座います番『今一人は藤『田口重兵衛で御座います、因人が容子が惡う御座いますから、御醫者樣の所へ御藥を貰ひに參ります番『ム御苦勞だ、早く藥を貰つて手當をしてやれ』夫から大手の番所も同樣に誤魔化して通行いたしたのは何人も牢破りとは知らない、足を早めて稻田鍛冶橋を云ふ所へ來ると、漁船を頼み、急の御用があつて、出雲崎まで行くのだから、早く船を出せと云ふと、館は饅頭笠で解らないが、越後樣の足輕に違ひないから、船頭は直ぐに船の用意に取掛り八挺立つてエーサ〳〵と早艪で漕出す

お聞きなさい

▲京都大阪姫路金澤の砲彈拾ひ▲江州饗庭野の演習地にて同地へ落下する銃砲弾の數に上るが特に昨年來は三個聯隊が實彈射擊を行つて其總砲彈千四百發を下らぬといふので同底の砲彈拾ひさへ嚴しい昨今でも饗庭野へ砲彈拾ひに出かける者が澤山あるといふ

入院随意（診療夜九時迄）
泌尿器病　腎臓病　膀胱病　淋病　梅毒　痔瘻　皮膚病
專門
永樂町二丁目　金光教會裏門
安部醫院　電話一九四番

▲英國に詐欺の玩具百萬英國から[illegible]たに其内へ百萬個の大註文が入つた、其品は到底日本内地では[illegible]金[illegible]の大砲、水雷艇、軍用自動車で極小さいもの何れも灰色に塗られて他の色は少しも用ゐてない

▲家賃滯納は詐欺取財　東京本郷春木町二三鈴木太助方の借家を昨年十二月より一箇月十一圓五十錢で借受けた大島某は今日迄家賃を支拂はず立退を迫れば法外の立退料を請求して手も付けられぬので東京區裁判所へ申告した處、該行爲は刑法第二四六條第二項に該當する詐欺取財犯として廿六日大島某を引致された

▲却下された貞操料　大阪北區梅田町柴田ぬひ(三)といふ金蘭女學校卒業生は元の良人たる福田常次を相手取り貞操料五百五十圓結婚費百六十圓請求の訴訟を提起したが神戸地方裁判所では廿日之を却下した

三月五日九星　舊二月二日辛巳　木命八白　友引　先負

▲八白　[illegible]
▲九紫　[illegible]

演藝案内

◎大正館　電話八七三　[illegible]
◎壽館　電話一〇五〇　[illegible]
◎黄金館　電話三六三七　黄金町四丁目　[illegible]
◎復讐實錄猿飛佐助　[illegible]

桃の節句の御遊びは大正館に限ります
新派は泣かぬ女
舊劇は高浪八郎
西洋物は讐敵

◎浪花館　電話二六〇番　明治町　合同六一座
[illegible]

◎御成座　電話二九一番　江戸ッ子會一行
四日目藝題　[illegible]

滿蒙處分論　[illegible]

ライオン齒磨と他の齒磨とをお比べ下さい！

左記の「齒磨の要件」を御覽になれば、如何にライオン齒磨が合理的であるかが、よく判りますから。

(一)原料　化學的に純正なものでなければなりません。不純な混和物や、不良な原料を使つては、良い齒磨は決して出來ません。

(二)調劑　醫藥學上合理で、又萬人の趣味に合ふものでなくてはなりません。調劑、製法の完全を期するには、充分の經驗と完全な設備とが必要です。

(三)香味　香味、及び色は共に高尙淡雅で、且つ萬人向でなければなりません。餘り刺戟の強い味や匂は、口腔粘膜や腦神經を害します。

(四)粉末　粉末は細い程よいのです。あらい粉末の齒磨は、齒をすりへらして却つて惡くします。

(五)效果　制酸、殺菌、收斂、淸淨の諸作用を有效に具へる事を必要とします。而して其作用は衞生的有效たるを要します。

(六)價格　一般國民衞生と國民經濟とに合する樣、廉價で、しかも最良の品を提供する事を必要とします。

是等の諸點につき、多くの齒磨を比較研究し、分析試驗を行つたならば、必ず

ライオン齒磨の

最優良な事が判明致しませう。

多くの齒科醫師諸君がライオン齒磨を模範齒磨と稱せらるゝのは、此故でムいます。

ライオン齒磨　ライオン齒磨　本舗　小林富次郎

汽船釜山出帆廣告

○元山淸津浦潮行　○門司、神戸、大阪行
○元山、城津、浦鹽行
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○門司、宇品、神戸、大阪行
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
[illegible]
大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

大阪行
共同丸
朝鮮西海岸各港にて宮島行定期航路
城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行
（元山出帆）
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目　仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船

[illegible]

尼崎汽船仁川出帆

[illegible]

京城日報

第三版

大阪三品 ▲未着

仁川米豆取引所 ▲三日前場 大阪前場十三節九十二錢後場九十三錢の入電常場地(當十一期二十錢中十錢八十錢より)再び八錢と返して引先十四八十錢と同時に寄付七十九錢と辷り八十一…

▲後場小堅し 大阪の保合な…り八十錢と…始めて七十九錢と辷り八十一錢と…市場は相變らず氣乘り薄にて三四節に至りたるが…百石の新規商內行は當限十一錢二十錢にて…

出來高 三千六百石

平均値段 一節 十圓七十九錢 二節 十圓八十錢 三節 十圓八十一錢 四節 十圓八十三錢

歐洲戰局

京城日報

歐洲戰局を說くものは、直ちに蘇土地方に於ける英露軍の大衝突を見るべしと爲したれども、今日に至るも此方面には、未だ何等の策動を示さずして却つて佛國ヴエルダン要塞の戰鬪、甚だ急なるものあり、蓋し獨逸は決戰を中原に求むるの意あり、此に佛國要塞攻擊に、其力を集中せしものに外ならずして、此要塞戰爭は、則ち獨佛兩國の消長の懸つて存する所也、初め、獨逸は專ら佛蘭西を攻擊して、一擧勝敗を定めむとしたるも、ヴエルダン要塞を陷るゝ能はず、其經過途に中途にして頓挫して已みたり、但し現に佛國の領土にして、獨軍の占領に屬するもの八千方哩、佛國製造工場の六割鑛山の八割は、此占領地內に在りといふ、是れ獨逸が恃みて以て根據と爲す所にして、常も機會あれば則ち此方面に力を用ひむとす、此度は則ち獨逸東宮の支配の下五十萬の大軍を集中し、二箇月に涉る準備を致して、其戰鬪を開始したりと云へば、其意圖の存する所亦推して知るべく、獨軍失敗せば、最早歐羅巴の中原にて爲すある能はざるを自覺すべく、萬一にも此要塞にして敵手に落るがごときあらば、佛蘭西は危殆言ふに勝へざるものあらんとす。

或は曰く、獨逸が此方面の攻擊を急ぎたるは、英國の新援軍の至るに先ちて、之を攻陷せむと欲するものにして、必ずしも必勝の算あるにあらず、且若し戰鬪久しきに涉らば、其間には英國の援軍も到達すべく、獨逸は途に其志を得るの機なかるべしと、吾人は佛蘭西の味方として必ず然るべきを希望して已まざるなり、且近報を綜合すれば、ヴエルダン要塞の一たるヴオモンは既に陷落したりと云ひ、獨軍の損害亦多大にして、今日のところにては、敵味方互角の勢を成すが如くなれども、今後の問題は、聯合軍側の增援と獨逸軍の增援と、孰れが早く到達すべきかといふにあり、乃ち兵員增加を速かにし得たるものが、勝利を占むべき形勢の下にあつて、其前途猶ほ不明なり。

歐洲列國間の戰鬪は、一昨年八月に始り、敵味方共に其全力を傾注するも未だ其の要領を得ず、此のまゝにて漫然徒らに日を曠くするあらば交戰者も中立者も、共に戰爭より被むるところの損失のみ嵩みて、戰爭の目的は達するに由なし、戰爭の長きを欲すると云ふは、所謂負け惜しみにて、既に鬪を開く以上は、速かに勝敗を決するを願はざるべからず、吾人が常に兩交戰者に向て、大奮鬪大決戰を促がすの趣旨亦此に存せり、且吾人は敵味方共に、正々堂々歐羅巴の中原に於て其勝敗を決するを當然と爲す、其の蘇土埃及等に於て惡戰苦鬪を續くるが如きは、交戰者に取りて損ありて益なし、若しヴエルダンの一戰にて大勢を定むるを得ば歐洲列國民の爲めにも亦甚だ幸也。

咸北の水產(下)

北鮮の一大寶庫

▽處理及販賣 は實に重大なる問題に屬し背後北支那及び隣邦露領は交通其他種々事情の下に未だ販路開けず又內地への距離甚だ遠く販賣機關として淸津魚市場あるのみ甚だ不完全にして鮮魚として販賣するものは實に(內地人向)道內居住者七八千人を相手に過ぎざるの狀況なるを以て其需要供給の量に限りあり且つ製造業不振の關係上漁業者は自ら止むを得ず漁業者たると同時に製造業者たらざるべからず目下工事中の淸津漁港及び近く開始せられんとする日本海橫斷航路及び朝鮮海水產物運搬業の覇王たる山神組の來漁と共に此の漁獲物處理販賣上に至大の便宜を與ふべきを期待して止まず朝鮮人は乾燥、鹽藏の外に鮮魚は與地方面より搬出し來る農產物と物々交換するもの甚だ多し

▽水產製造業 處理販賣の機關並に狀況前記の如き事情なるを以て勢ひ製造業は漸次發展せざるべからざるの立場を示す故に內地人の如きは大正二年中其製造額一萬二千圓餘に過ぎざりしが三年には五萬七千餘圓に增加せり主なる製品は開鱈、肥料、燻製、罐詰、乾明太魚及び各種鹽藏魚類なるが就中燻製は本年の創製に係り開鱈、鹽魚、著しく增加せる結果に外ならず又朝鮮人は從來明太魚、和布、昆布の乾製品の外見るべきものなかりしが近來鹽藏魚類增加せり牡蠣は漁業組合をして共同製造を爲し結果良好なり

▽水產の輸移出入 朝鮮各港相互に於ける移出入は稅關統計に上らざるを以て之れを知るに由なきも內地及び外國との輸移出入高を淸津稅關につき調査するに左の如し

一、輸移出 前年に於る內地及び外國への輸移出高は二萬一千六百圓の多きに增加し前々年(大正二年)の四千二百五十一圓に比すれば約五倍の增加に達せり是れ漁獲增加に伴ひ製造業發展し就中近來開鱈の製造移出著しく增加せる結果なり左に最近に於ける淸津港の輸移出高を示す

品名	數量	價額	仕向地
鹽鱈	[illegible]斤	[illegible]圓	露領沿海州
同	[illegible]	[illegible]	內地
鹽鮭鱒	[illegible]	[illegible]	露領沿海州
開鱈	[illegible]	[illegible]	內地
鹽鯖	[illegible]	[illegible]	同
北海鹽鰤	—	[illegible]	露領沿海州
同	—	[illegible]	內地
鹽鰈	[illegible]	[illegible]	露領沿海州
同	[illegible]	[illegible]	支那
同	五	三	內地
鹽節	[illegible]	[illegible]	同
數の子	[illegible]	[illegible]	同
鰮	[illegible]	[illegible]	同
昆布	[illegible]	[illegible]	同
同	[illegible]	[illegible]	露領沿海州
魚介罐詰	一、〇〇〇打	[illegible]	內地
同	七	[illegible]	米國
其他の魚類	—	[illegible]	露領沿海州
食鹽	[illegible]斤	[illegible]	內地
合計		[illegible]	

二、輸移入 主なるものを鹽鯖とし其他鹽鯖節昆布等なるが鯖は朝鮮人間に於て缺くべからざる嗜好品なるを以て益々輸入增加の狀況なり然れども大勢に於ては前年の輸移入高五萬六千餘圓は前々年の八萬五千餘圓に比し約三割五分の減少を示せり

▽內鮮人漁獲高 最近の調査に依れば四十餘萬圓に上り大正二年の二十八萬圓に比すれば約十二萬圓の增加を示せり之を沿岸線二百七十一海里に分配せば平均一海里當り僅かに千五百五十餘圓に過ぎず朝鮮全道の平均に伍伴せざること未だ遠し大に將來獎勵を要すべし

▽內地人移住漁民 位置の關係上內地よりの出漁頗る不利なるの事情あり出漁せんとするより移住に若くはなし故に年と共に移住增加せるも未だ以て多しとせず是等は大部分任意移住にして唯だ東海岸の福井縣が其獎勵せるの外大西湖に石川縣の移住漁舍あり最近の調査に依れば沿岸一箇所に五十四戶二百九十三人に達すると雖も淸津市街に雜居するもの大部分を占め他は一戶乃至二三戶づゝに過ぎざるの狀態なり將來福井、石川、富山縣地方より大に移住の獎勵を希望して止まず(終)

四日朝刊(夕刊と合せて十六頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾錢 郵稅共一ヶ月五拾五錢 三ヶ月壹圓…

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲欄外一行金壹圓…

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 樋口政太郎

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

電話 編輯局長…

京城雜筆

山縣生

▲三月一日の夜京城花月樓上に於て記者は近頃稀に見る愉快なる數時間を費したり。場所が場所なれば或は誤解する人もあらんなれど、決して美人に好遇されたる譯には非ず。何が其やうに愉快なりしやといへば、久し振にて書生時代の氣分を味ふを得たることこれ也。

▲三月一日は東京第一高等學校自治寮の記念日にして、此日母校に於ては勿論、全國に活動せる其出身者は隨處集合して此日を祝する慣例なるが。我朝鮮に於ても、向陵の校舍に其青年時代を經過したる者百六十餘名あり。當夜是等の人々花月樓上に會し、祝宴を催ふし、記者も亦一高出身者なるが故に出席したる次第也。

▲蠻骨を以て聞ゆる向陵の健兒が、所もあらうに、花月に宴を張りしと聞かば、其變化の甚しきを慨嘆する人もあらん。されば會場を此京城第一の酒樓に選びたるは折花攀柳を目的とするが故に非ず、會する者多くして他に之を收容するに足る場所の無きが爲めのみ。

▲我等が猶ほ書生時代の元氣を失はざる事は、當夜の宴會の如何なるものなりしかを語らば證據立てられん宴席には一切婦女子の入るを容さず獻立は豚汁、煮豆、五目飯の類にして、手盛手酌を以て牛飯鯨食したる後、劍舞、競走、綱引等の餘興を演じて散會したる也。

▲宴に入るに先だち、我等會衆は起立して君が代を三唱し、祝電を母校に送り、猶ほ母校の風儀に關して一の警告を議決したり。宴央にして十傑の投票あり、當選の榮(?)を得たるは木村雄次、關屋貞三郎、青木戒三、村田俊彥、井上孝哉、持地六三郎、工藤壯平等の諸氏にして是等の諸氏が何に傑出するが故に當選したるかは天機暫く洩らすべからず。記者は會員諸氏の眼識なく、記者の如き傑物を選出せざりし不明を憐むのみ。

▲選手競走には記者は早稻田を代表して加はり、首尾よく敗北したり。當夜記者の競走姿の如何に勇ましかりしか、恨むは之をレンズに收めざりし事よ。記者が敗北したるは決して脚遲きが故に非ず。實を白狀すれば一高選手に勝利を讓るべく豫め八百長的談判のあるあり、一勝を占めなば向陵專賣の鐵拳を見舞ふべしと脅迫ありしが爲めに、己むを得ず少しして敗北したるのみ。危きに近づかざるは昔より君子の執る途ならずや。

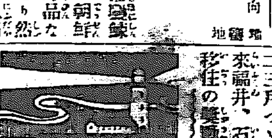
▲綱引は東寮西寮に分れて之を試み勝利は容易に東寮の手に歸したり。其斯くの如き結果を見たるは記者が東寮組に加はり、非凡の力量を表はしたるに因るは多言を須たず。

▲當夜の宴は徹頭徹尾元氣と無邪氣の表現なりし。三絃の代りに石油鑵が打叩かれ嬌聲全く聞えずして鐵拳が四隣を震動し、之に加ふるに根太板も拔けんばかりの騷ぎあり。氣の毒なるは花月の樓主にして、疊の擦り切れたる損失のみにても些少ならざりしならん。

▲人はいつ迄も青年時代の元氣と無邪氣とあるべし。東洋の人は早く老して、因循となり、姑息となると謂ふと雖も、少くも當夜の宴に列した向陵の出身者は此通弊に超越する者なる事を公言し得るは、記者の快とする所なる也。

燈臺の話(11)

青島の燈臺守 G.O生



燈臺の外觀は何んな材料で造るか

燈臺の外觀は、航海する船舶の目標となるものであるから、一般に白色にしてあるが、唯白色のみでは霧や濃霧の立罩むる時には識別し難いおそれがある。そこで或は横に朱色を交へて塗り立てたる燈臺もあるのである。又燈臺の建築材料には石、鐵、煉瓦、「コンクリート」などの種々様々なるものを使用するのである。西洋では岬や山角の上に建てる燈臺は、暴風力に堪へればよいと云ふ見地から大低は鐵材で造るを例として居るさうだが日本や朝鮮ではさういふ地點に造るものは、鐵材で造ると海水の浸蝕に堪へないから、大低は高價ではあるが石材又は「コンクリート」材を以て造る様にして居る。それから燈臺の形は何うかといふに、これ又種々あつて、圓いのや四角なのや六角なのや八角なのや、其形は一定してゐないのである。そして燈臺の建築法は何うかと云ふに、これは燈臺を建てる必要のある場所といへば大低絶海の孤島だとか、烈風の吹き捲くる岬角だとか、潮流の激しい磯だとか、それは四六時中、波に洗はれてゐる岩礁の上などで、而も不便極まる土地が多いのである。殊に面白いのは日本の燈臺は大低岬が多いが、朝鮮のは絶海の孤島が最も多いのである。右の様な次第であるから日本の燈臺守よりも朝鮮の燈臺守の方が一層一層不便を感じて居る譯である

○燈臺建設の人柱 豐後水道の眞中の一小島に水の子島燈臺…古來の靈島…或る一人娘を人柱…豐後第一の美人…

京日詩壇

○渡鴨綠江　西田 白陰

橋影浮霓鴨綠波。巡輪一道渡長河。白衣藍襪俗風異。行客東西惹感多。

評曰。能寫壯景。後半白藍二字塡得亦佳。滿韓風俗眼前髣髴。

○同上　古城 梅溪

滿鮮中斷大江流。兩岸士民紛擾稠。一視同仁新政遍。頓除邦域布皐猷。

評曰。八人意中之語。以詩著先鞭。

○雪霽出城　高橋 空齋

遊子天涯滯石州。碧空杳杳水悠悠。公餘半日曳筇處。六出著花令我愁。

六出紛紛古樹花。栽銀鏤玉滿枝斜。寒鴉啼上飄飄壑。白蘆吟衣綠水涯。

評曰。雪後景。敍寫一一有致。

婦人畫報

書報

御正裝の 朝香宮妃殿下 伏見若宮妃殿下 梨本宮兩殿下

御和裝の 閑院宮妃殿下 東伏見宮妃殿下 久邇宮妃殿下 梨本宮妃殿下

松平侯令嗣と新夫人綾子の君 寺島伯夫人とその愛孃 田內新御養育係長の家庭 松平伯令孃米子の君 預選歌入選の二夫人 有馬伯令孃余子の君 大正三宅雨邸の歌會 都上と公園の合孃夫人 宮中夜宴姿の三令孃

御休憩中の 閑院宮妃殿下 久邇宮妃殿下

愛國婦人會台臨の 閑院宮妃殿下

婦人教育會台臨の 兩宮妃殿下

毛利公爵家 鍋島侯爵家 德川伯爵家 松浦伯爵家 お雛様

前田男と新夫人鈍子の君 酒井子と夫人文子の君 クラインの幼稚園 木戸侯令孃の新夫人 女優の表情 …

待たるゝ花(懸賞用美人畫)…池田輝方筆

讀物

前田侯爵邸に於ける露國太公殿下と前田侯一族及び朝野大官

花のごとき名家の令孃拾餘名

強い人間を作れ…文學博士 三宅雄二郎氏

家庭生活を樂しくするには…法學博士 新渡戸稻造氏

良人の職業に對する同情…三宅博士夫人 江木博士夫人 木村博士夫人 福原有信氏夫人 竹下少將夫人 加藤ドクトル夫人

日本の女性…山路愛山氏 / 世の中はぜんなもの…加藤咄堂氏 / 電車の中で見た女…岸邊福雄氏 / 寫眞の寫し方…柴田常吉氏 / 職業としての音樂…婦人記者 / お伽なだれ兎…久留島武彥氏 / 女子の歌かたり…佐々木博士 / 過ぎし其日…三宅花圃氏 / 病める日に…與謝野晶子氏 / 淨瑠璃のおさん…泉 鏡花氏 / 垂柳の挿し方…兒島晩翠氏

個性を重んずる教育法…クライン夫人 / 食物の煮方…河村博士 / 風を引いた時…佐々木國學士 / 鯛飯 / 掛物の取扱方 / 小鳥の趣味 / 雛節句の御馳走…吉村 / 調法な手提…赤沼八重子 / 中耳炎にならぬ用心 / トマトの作り方 / 子の行末をひとて…三宅やす子

長篇小說 お夏文代…菊池幽芳氏

三月號 定價廿五錢 郵稅二錢五厘 半年郵稅共壹圓八拾錢 壹年同參圓四拾錢

少女雜誌 三月號

少女畫報

寫眞小說 野の花(佐藤紅綠氏脚色)

波瀾多く變化に富める十七塲の少女悲劇喜劇

少女小說

兄と妹…田村俊子氏 / 雛子…野上彌生氏 / 小猫物語…尾島菊子氏 / 春音姬…小野小峽氏 / 無名島の少女…泉 節子氏 / 春やむかしの…伊澤みゆき氏 / 黒髮船長…石塚月亭

寫眞版 色版 オフセツト版 畫報(廿餘頁あり)

女學校小學校生徒 讀み物(百十餘頁あり)

定價金拾貳錢 郵稅壹錢五厘 半年郵稅共前金九拾六錢 壹年同壹圓八拾六錢 (全國各地書店に賣捌)

全國女學校生徒學窓餘暇の讀み物

少女新聞

初號には下田歌子女史の『少女と春』三輪田眞佐子、棚橋絢子、山脇房子、嘉悅孝子女史の祝歌、小說、小品、女學校だより、話の種、一口噺、漫畫、ハガキ集、懸賞募集等あり ▲壹冊實費郵稅共貳錢五厘にて頒つ

發行所 東京京橋鍛冶橋外 東京社 振替東京四千九百番 賣捌 全國各書店

十三日夜松明を持ちて京畿道漣川郡…東面積山里なる山奥の同里居住の安承之の亡父母の頭蓋骨を發掘し二個の頭蓋骨を取り出し之を附近の山中…然る上は汝の亡父母の頭蓋骨を渡すべしとあり…同人は之に應せざりしが途に檢擧されたり

◎日本の調停を俟つ
雲南軍との妥協難し

雲南との妥協説傳はるも一方には總統府部員の如きは此際南北妥協は日本の調停の勞を俟たざる限りは到底成立の望み無しと言へり（北京特電）

◎上海の新總統選擧

上海來電に據れば反袁黨の策源地たる上海に於ては新に中華民國總統を選擧せりと（東京電報）

◎段祺瑞と徐世昌

段祺瑞氏を起用せんと運動するものあれど右は全然成功の望みなかるべし蓋し徐世昌氏に至つては若し帝政さへ中止せば再び袁總統に忠勤を抽んずるやも保し難しと（北京特電）

◎獨軍砲火の爲め全滅
塹壕より現はれたる獨兵の一隊

ヌウエンテンコ地方に於て塹壕より現はれたる獨軍の一隊は露軍の砲火の爲全滅したり（露都電報）

◎露國汽船撃沈

露國アレキサンダー、ウエルツエル及び其の他數艘の汽船は最近何れも撃沈せられたり是れ獨逸潜水艇が新たに大活動を始めたるに依るならん（桑港電報）

◎保險料率引上

過般來我海運界の一大問題として當局者及び民間會社に於て非常なる苦心を以て研究を重ねつゝありし保險率引上問題は他に採るべき策無きを以て遂に愈々引上を決行する事となり三日農商務省告示第四十號を以て公表されたり即ち喜望峰、倫敦間の保險料率は規則一千圓に對し六十錢なりしものを八十二錢に引上ぐる事となりたり（東京特電）

◎改正關税細則

第三十七議會を通過したる改正關税率は目下大藏省に於て之が實施に關する細則を起草中にて晩くも來る四月下旬迄には諸般の準備を終了する豫定なれば同月末に至らば改正税率の適用を見るに至るべし（東京特電）

◎銀行局官制 審査

今回大藏省内に設置さるべき銀行局官制は三月中に法制局の審査を經て再び交附せられ四月一日より實施に決定し居れり（東京特電）

◎廣軌改築決定

鐵道院にては這回東京下關間の軌道を廣軌に改築するに決せり（東京電報）

◎復黨と中正會

同志會脱黨代議士齋藤隆夫氏に對し委員會に於て復黨勸告に決するや中正會は大に憤慨せり（東京電報）

◎鰊の大豊漁

江原道通川郡に於ける鰊漁の豊富な[illegible]四千餘圓に達し未曾有の豊漁にて漁村一般生活難を來す可き漁業閑散期に於て豫想外の漁獲ありたる爲め生[illegible]海潮の亦從つて温なる關係上漁族の沿岸に近づき斯の如き稀有の豊漁あ[illegible]しならん

◎鎭海要港部開廳

鎭海要港部は四月一日より開廳に決し同時に竹敷及び永興兩防備隊を廢止す可しと（東京電報）

◎露國極東肉類狀況
朝鮮より輸出牛一萬二千餘頭

最近發行の露國新聞ダリヨーカヤオクライナは記して曰く沿海州内千九百十四年中の露國肉類として同年中沿海州全般に於て消費せられたる肉類は牛肉百零二萬零百五十九布羊三萬零百四十七布豚二十一萬三千三百十九布なるが同年中滿洲より汽車及び松花江に依り輸入せられし牛一萬一千四百三十五頭支那各港より航路輸入せられし牛二萬零八百七十頭朝鮮より輸入せられたるは一萬二千六百六十四頭なり而して浦鹽及沿海州内各地にて屠殺せられし家畜を其の肉類及びその最數は牛六萬七千五百二十五頭此肉量六十萬零七百二十五布羊二千八百二十四頭此肉量八千四百七十五布豚二萬八千四百七十五頭此肉量十九萬二千三百七十五布なり右の家畜中地方産のもの牛二萬二千五百五十頭羊九百五十六頭豚一萬零六百五十頭なり同年中沿海州に家畜の肉輸入は滿洲より牛十四萬四千五百六十七布羊一萬四千七百三十六布豚一萬八千三百八十八布支那本部及西部西伯利亞より牛二十一萬千七百五十二布羊四千六百零四布豚二千四百八十二布後貝加爾州より牛七千百十布羊六千九百三十九布にして此合計牛三十七萬六千百二十四布羊二萬一千六百七十五布豚二萬零八百七十四布尚ほ千九百十四年末沿海州内に於ける家畜の總數は牛十七萬六千三百三十五頭豚十二萬二千二百七十四頭羊三千零七十九頭なり而して同年中に於ける浦鹽市内家畜の屠殺肉類の出入及び消費高は如左

牛	二八、〇八二頭	三七八、七〇八布
羊	二、二二八頭	六、八五五布
豚	一三、八五九頭	六九、二九五布
計	四四、三三三頭	四五四、八五八布

又輸入肉量は牛三四八、零三二布羊九四四布豚二、四零一布なるが更に之を浦鹽に於ける消費を見るに牛四八二、三七五布羊七、七八布豚七一、六九六布なり而してハバロフスク市に於ける同年中の肉類消費高は牛二十二萬四千六百六十布羊一萬五千六百六十布豚三萬千百廿三布なり今屠殺して得たる肉量一頭平均を見るに沿海州内牛は八布西伯利牛は八布支那牛は十四布滿洲牛は十布也

◎滿洲鮮人移民

滿洲に於ける鮮人移民は昨年末調査に依れば總計二十五萬三千六百十四名にして其内南滿洲七萬二千七百八十名北滿洲（哈爾賓及び齊々哈爾領事館内）一千八百三十二名間島十七萬三千二名を算せり然るに最近一兩年間は其發展頗る遲々として振はず寧ろ衰退の傾向を示せるが此原因は土地租借居住營業者に關し支那官憲の壓迫を蒙りし事、未墾地に秘住適合の地減少せること、滿洲に於て米作の有利なるや否や未だ完全なる試作を得ざる事等に歸著せることを發見せりされば今後の方法としては勉めて彼等を保護指導し就中蒙古地方に於て彼等の危惧を一掃するを得ば必ず前途有望なるべし、されど彼等の多くは到底支那人と對抗し得ざるを以て支那勞働者との競爭を避け土著支那人の少數なる未開地に集團移住して新天地を作らしむるか或は小作方法にて水田を經營せしむるか或は資本を齎して朝鮮に比し割安なる耕地を買收せしむるかの一に據りて移民政策を樹るを要す斯くすれば必ず良好の成績を擧げ得べしと

◎二月鐵道營業（續）

		前年同期に比し增減
營業哩	一、〇〇六哩九	
乘車人員	三六〇、八六四人	二八、九一八人
小手荷物斤數	七八一、九六九斤	四九、〇八六斤
貨物噸數	一一四、五四五噸	一五、一三六噸
客車收入	二六九、二四六圓	二九、二〇五圓
貨車收入	二九七、二八一圓	三六、八四九圓
收入合計	五六六、五二七圓	六六、〇五四圓
一日一哩平均收入	一九圓四一〇	一圓四三〇
▲旅館の部		
客數	四一〇八	一七七人
收入	五、一九九圓二五〇	八五三圓一七〇
▲倉庫の部		
入庫	一、八四九噸	一三九噸
出庫	二、三〇九噸	一、四五七噸
收入	八三二圓五五〇	四九七圓五二〇
▲食堂車の部		
客數	一、六五九人	一六九人
收入	一、八二二圓四三〇	一九八圓二八〇
▲南大門喫茶店の部		
客數	四四六人	△五八人
收入	三一三圓九六〇	△四八圓一九〇
本月收入總計	[illegible]	[illegible]

◎二月下旬鐵道營業

		前年同期に比し增減
營業哩	一、〇〇六哩五	
乘車人員	一一一、二四五人	二一、四八二人
小手荷物斤數	二六七、八一〇斤	七二、五一七斤
貨物噸數	四二、四二九噸	一八、二二五噸
客車收入	八六、九六〇圓	二三、七九七圓
貨車收入	一〇七、九二七圓	三八、一〇一圓
收入合計	一九四、八八七圓	六〇、八九八圓
一日一哩平均收入	二一圓五一〇	四圓六六〇
▲旅館の部		
客數	一二九人	三六人
收入	二、四二三圓三四〇	△二一圓九〇
▲倉庫の部		
入庫	八九五噸	六一三噸
出庫	一、〇二五噸	七八四噸
收入	二七三圓五三〇	二六五圓五四〇
▲食堂車の部		
客數	五八五人	一三六人
收入	[illegible]	[illegible]
▲南大門喫茶店の部		
客數	一七三人	[illegible]
收入	[illegible]	[illegible]
本旬收入總計	[illegible]	[illegible]

◎滿鐵運輸政策

昨年に於ける特産物作拂の不況なりし結果滿鐵の運輸成績に至大の關係を及ぼし昨今減收の傾向を生じて大正四年度は上半期に於ける增收を下半期に於て相殺し遂に大正三年度と大差なき結果を生ずるに至るべしと當事者の觀測する所なるが會社は此の減收を脱回せんと欲すれども沿線各驛に於ける堆荷は大約七八割に過ぎず每年特産出廻時季に於ては附屬地以外の場所にも堆荷頗る多額に上りつゝあるも本年は右各驛堆荷以外殆んど少きを以て乘賃如何ともする能はざる次第なるが不思議なるは每年出廻漸減の傾向ある鐵嶺驛は本年堆荷頗る多く約四十萬石以上に達する盛況にして是は營口の解氷を待ち遼河の舟便により輸出せんが爲め茲に集中せられたるものといふべく會社にては運輸收入少からず今日是が防衛策を行ふべし等唱ふるものありと雖も萬一滿鐵がかゝる政策を實行せば鐵嶺のみならず全線に亙りて行はざる可らざる場合に立ち至る恐れあればかゝる愚策を行ふべくも非ず假令遼河の輸送開始せらるゝとも限りある舟便にして然も一萬噸内外より輸送力を有せざるものなれば敢て是に對抗策を講ずるの必要は毫もなかるべしと（大連）

◎大阪財界通信
△韓國葉錢拂下

三月七日大阪造幣局に於て本邦及び韓國白銅貨千八百三十二貫舊韓國葉錢小黑四萬二千五百七十五貫及び同黄耳白四萬八千二十四貫六百匁の拂下入札をなすと

△久原鑛業賣出

久原鑛業の公募新株十萬株はいよ〳〵現物團より三月早々賣出すに決定一般賣出價格はプレミアム一株十圓以上として現物團の取扱手數料は一株一圓五十錢即ち久原鑛業の手取は六十八圓五十錢以上なりと

△豚毛輸入企畫

刷子界は近時豚毛の缺乏を來し重慶産の如きも殆んど絶無の姿となりたるより整毛業者相謀りて資金を醵出して支那四川省の豚毛を輸入すべく之が企畫中也

△製紙業者大會

製紙原料騰貴及びパルプ輸入難に關しこれが善後策講究のため愈々東京に開催せし全國製紙業者大會は實行依然として困窮を繼續する有樣なるを以て愈く自然の推移に放置するに於ては其結果寒心に堪へざるものありとて近日大阪に聯合大會を再會すと

△晒粉協定破る

大阪晒粉外五同業會社は今回加盟會社協議の結果從來實行せし價格協定を廢止する決議をなしたりされどこれより各社の競爭激甚となり晒粉界の前途は混亂錯綜するならん

△硫安肥料相場

輸入皆無を傳へらるゝ硫安肥料の昨今相場は品薄のため二百三四圓を唱へ居るも尙ほ騰貴の見込なり而して東京相場は二百圓見當なりと

△海産物益奔騰

支那輸出海産物は内地動亂のため市價の不況を來すべしと豫想せらるゝも實際はこれと反對に騰貴を告げ就中鯣の如き昨年中ブト三十七八圓二番廿圓臺にありしもの本年に入りてブト四十二圓二番二十四五圓に昇り更に本月となりて一躍ブト五十圓臺二番三十圓臺を突破し尙益々暴騰を續けんとする狀況なるが是は支那商等が現貨の品薄を氣構へに思惑買の旺盛に伴

□米の群山（十）
朝鮮第一の米（五）
中島生

米穀商組合では群山米の聲價を高め之を維持する爲め輸移出米の檢査を爲し、之が標準に就ては檢査員の認定に依り、乾燥の良否は光澤を失はず濕潤ならぬものを合格とし、籾の混合は百分の五以内を合格とする規定の下に檢査を勵行し來つたが、昨年二月總督府發布に係る米穀檢査規則に基いて全羅北道は米穀檢査規定の道令を發布し、昨年九月二十一日より米穀檢査所を開設して實施することゝなり、從つて組合の檢査規則は自然廢棄された譯である。爾來檢査所に於ては適任者の指導の下に頗る輸移出米の檢査が勵行せられ、群山米の聲價は益々高まりつゝあるは喜ぶべし。

茲に輸移出米の買出について一言すれば、久しい以前には概ね産地の荷主が群山に持て來るのを待ち受くるのみで、田舍の買出しには餘り勉強する者もなかつたところ、米の輸移出が盛になり、同業者間の競爭が激しくなり、且つは木浦が米の輸移出に於て群山を脅かし來るに伴れて、群山の商人は座して來るのを待つばかりでは遣り切れなくなり、進んで地方に向つて働き掛ける必要に迫らるゝに至つた。乍併その買出しと云つても四五年前までは極めて不便で店員に現金を持たせ田舍の鮮人問屋を介して農家との間に緩漫なる商談を遂ぐる有樣であつたが、其後各地方に米穀の仲買を業とする内鮮商人が現はれた爲め、次第に取引上の便を增し、現在では群山仲買商人の地方出張は多いが貿易商が店員を派遣するやうな事は殆ど無くなつた。

茲に群山米を語るに當り漏らす事の出來ぬは外國米及び支那粟の輸入である。大正三年には不引合の爲め多くなかつたが其前年には外國米三十八萬餘圓、支那粟三十萬餘圓の輸入を見た、此は地方農民が食料とするもので、斯く廉價の穀類を多く輸入して高價なる鮮米を多く輸移出する事は地方經濟上喜ぶべきである。

△支那紙幣增發

南京市場の荷主側において相場の騰貴を見越し買譏りをなすに因ること引は未だ一般に永年の不景氣に押されざるも一般に然れども歐洲戰亂の影響を受け活潑なる能はず就中時局の影響を受け餘波諸物價騰貴を餘儀なくされ我が輸出品に對する支那人間に於て思惑買をなすため圖らず大くの荷捌きを見るとなり從つて銀行錢莊等は先般來一般に著しく警戒を加へ金融は概して逼迫し當地中國交通銀行の發行紙幣は近來著しく增加し目下の流通額は二百三四十萬元にして最近增發に屬するもの約七十萬元に達したるは頗る注目すべき現象也と（二十九日大阪支局發）

◎群山五年度豫算

群山府の大正五年度豫算編成に付ては過般來當事者の手に依り著々進捗しつゝありしが右は此の程に至りて全部完了せるを以て近々府協議會及び學校組合會議を開き審議すと

◎纛島水源池竣成期

纛島京城水道水源池の修理工事は第三號濾過池は既に完了し四號池は今や其の九分の工事を了し第六號池補修工事五分構内地均工事四分濾池グリーベーション完了せり殘工事は豫定の如く就れも本月末日迄に竣成す可し

◎ハリス博士送別會

四日午後六時半米國へ歸國するハリス博士の送別會を開催するに付希望者は京城青年會へ申込まれ度しと

庫底港より
□□生

◎庫底港は元山を距る二十五浬陸路十五里通川邑に一里半にして通川郡唯一の商業地にして内地人二十三戸七十五人（雜貨商十戸、菓子製造二戸、旅人宿一戸、料理店一戸、飲食店一、回漕店一、湯屋一、石油發動機精米所一、駐在所一、郵便所）其他支那人六戸十五人、朝鮮人三百九十戸にして可なりの大部落にして殊に當港は通川、淮陽兩郡に於ける貨物物資の集散地にして數年前より内地人の居住者あるも以て朝鮮人も比較的進步し居れり

◎當港には朝鮮郵船會社船の寄港あるも昨年十月以來休航の爲め一箇年約二十二萬圓餘の輸出入貨物は全部帆船に依らざる可らざるに至り貨客の不便少なからず居住民は目下汽船の寄港方を請願せんとて準備中にあり

◎當港は漁業者比較的多く（鰯地曳網は鏡界網九）にして何れも朝鮮人經營にして其の他には見るべき漁業者なし昨年末以來は不漁にして困難し居りたるも本年一月九日來鰊漁ありて以來頗は未曾有の漁獲にして一月中の漁獲高八十駄（一駄二千尾）全部元山市場に輸出し[illegible]一駄に付五十三圓にして此價格四千二百四十圓也

◎殊に本月は豊漁中の豊漁にして一日に九十駄の水揚げを爲したる事あり本月迄の分三百駄にして一駄に付[illegible]二十八圓にして此價格八千四百圓也にして本年の合計三百八十駄代金一萬二千六百四十圓なり

◎今年の如き豊漁は[illegible]にして之れが爲め[illegible]一般に[illegible]

◎彼の有名なる叢石亭は庫底港を距る約八丁の海岸にあり（二月二十九日）

人事消息

▲本田幸介氏（水原勸業模範場長）三日夕入京

▲米山甚源太氏（[illegible]）三日夕南行[illegible]

▲宮田儀作氏（鎭南浦稅關支署長）三日夕入京浦尾旅館へ

▲西原龜太郎氏（鎭南浦商業會議所會頭）同上

▲石井久三氏（釜山鑛業家）同上

南言北語

獨太子が自ら五十萬の大軍を提げて進二無二突破しようとしたヴエルダンも遂に不成功に終つたらしい▲死屍十萬を犠牲に供した處は頗る堅い決心があつたに違ひない▲殊に今日の樣な全くの要塞戰に於ても振らず突撃するなんて聊か無謀の樣にも見えるが▲敵ながら獨兵の強い處には驚かざるを得ない▲然も其の目的が巴里突擊にあるは佛軍たるもの亦死を賭して戰はなければなるまい▲戰爭に死を賭して戰ふのは當然だが歐洲の兵隊も支那の兵隊も其の樣な事を云へば標へ上る▲獨軍の強いのは比較的其の精神があるからだ▲併し獨軍の強いのは相手が弱いからだと云つて決して獨軍を贔負する譯ではないが實際だから致方がない▲獨逸は葡萄牙に最後の通牒を送つたらしい▲そして同國が差押へて居る獨逸船舶を釋放して呉れと迫つたと云ふ▲葡國では既にまさかの事があらば直に應ずる準備は完然して居ると云つて居るから▲獨逸の此の申し込みに對しても〈とは云ふまい▲之れも獨逸が海上砲暴の下準備とも見える▲愈々狂犬を放つぞと宣言したから今度は大に暴れ廻るに相違ない▲其れでなくとも大抵の事はやつて居るのだから▲先月の廿六日にも佛國の補助巡洋艦は地中海で狂犬艇に噛み付かれて千八百名の死者を出して居る▲計算上から云ふと獨逸の狂犬艇奇襲は非常な利益になる譯だ▲僅か一發の魚雷で二千人近くも斃し巨萬の損害を與へるから▲陸上でパチ〳〵やるよりは勘定づくになる▲獨逸が此勘定づくに出たのは愈々獨逸が窮した事實であらう

本日朝刊附錄共十二頁

[illegible]は東清鐵道副總裁エウンツエル氏、監査役ルゲツキツチ[illegible]

◎支那[illegible]負豫算

[illegible]戸籍法は愈々公布せられしも未だ實施の運に至らざりしが政府は種々[illegible]其必要を認め[illegible]を開始すべしと

◎中國銀行彈劾

[illegible]せんとするは不當も甚しとて袁總統に對し其制限を命ぜん事を請へり

[illegible]中には家屋を失ひ耕地の荒廢に歸せしもの尠からず依りて奉天省當局に於ては是等の難民に[illegible]を與ふる目的[illegible]

公告

來ル四月九日本府及各道（京畿道ヲ除ク）ニ於テ見習試驗ヲ施行ス志願者ハ三月一日二日三日朝鮮總督府官報所載ノ告示ヲ參看シ本年三月二十五日迄ニ試驗ヲ受ケムトスル官廳ニ出願スヘシ

大正五年三月

朝鮮總督府見習試驗委員長 法學博士 秋山雅之介

女生徒募集
新學期 四月十日 開始

卒業生の資格は官公立高等女學校に等しく申込順により許可す。口頭或は書面にて請求せば入學案内を呈す

文部省指定 下關梅光女學院

生徒募集
京城公立高等女學校

本年四月入學セシムヘキ本科第一學年及同第三學年生徒若干名募集ス

大正五年三月五日

一、本科第一學年ニ入學セシムヘキモノハ本年四月一日ニ於テ年齡滿十二歲以上ニシテ尋常小學校卒業又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノタルヘシ

二、右入學志願者數募集人員ニ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フ其學科目及程度左ノ如シ

國語、算術、日本歷史及地理、理科、裁縫

三、第三學年ニ入學セシムヘキモノハ相當年齡ニ達シ本校第二學年修了ノ程度ニヨリ左ノ學科目ニ付選拔試驗ヲ行ヒ之ニ合格セシモノトス

修身、國語、算術、日本歷史、地理（日本、亞細亞、歐羅巴）理科（動物、植物、鑛物、生理衞生）裁縫

四、入學志願者ハ左ノ書類ヲ來ル三月二十日マテニ本校ニ到著スル樣差出スヘシ

入學願書、履歷書（以上本校學則ニ依リ認ムヘシ）

戶籍謄本（大正五年一月以後ニ調製セルモノニ限ル）

學業證明書（小學校在學者ハ本學年度第二學期ノ成績、其他ハ最近ノ學業成績）或ハ修業見込ニツキ當該學校長ノ證明セルモノ

五、選拔試驗ハ三月二十八日ニ第一學年入學志願者同二十九日ニ第三學年入學志願者ハ左記物品携帶、前日午前九時マテニ本校ニ出頭シ係員ノ指揮ヲ俟ツヘシ

半紙、筆、墨、硯、鉛筆、小刀、辨當

六、第一學年選拔試驗日割左ノ如シ

三月二十八日 國語、日本歷史及地理

三月二十九日 算術、理科、裁縫、身體檢査

注意 トラホーム患者其他傳染性疾患アル者ハ入學ヲ許可セサルコトアルヘシ

目ぐすり中の目ぐすり 登錄商標 岸田 目藥 精錡水

京日案内

普通（一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢增）

◎古本 一報次第即刻參上 品拂底に付無比高價買入 ▲京城本町四 書肆群書堂 電話二七八一番へ 565

◎子供將來供家たらんとする十五歲以下の子供男女不問一名世話したし 京城本町四丁目 林圃恭定庵 562

古本買入 ▲▲御報參上地方送金▲ 京城本町二 電話八六五へ 森田文光堂書店 561

▲古本買受▼ ▲▲御報即時參上▲地方即時送金▼ 京城本町電話二五二七 ウツボヤ書店 560

◎給仕採用 年齡十六歲以上にて身許確實なるもの ◎京城旭町二丁目商業興信所 559

至急里子に預けたし 生後一ケ月の女子但し乳の出る御方へ 南米倉町二百三十六番地 瀧田和三郎 557

◎當士卅餘歲滿鮮地方に於て病院勤務又は開業を望む 愛知縣知多郡龜崎衣浦病院 羅岡順良 545

◎自働車運轉手養成 收入多し多數採用都會に海外に雄飛せよ急申込 東京々橋南紺屋町 ▲發動機協會 544

◎勿見落 定價の三分一で新刊雜誌を其月に讀める週讀會 ▲京城本町一の四九 電話一三七八 松井松榮堂 529

◎縮引大景品付代價表進呈 ◎種苗 北海道札幌區 札幌農園 農科大學正門前 367

◎看護婦見習募集 希望の者は履歷書携帶來談あれ 仁川新町 小倉病院 542

◎有利業務 男女外交員募集希望者來談 東京斯道會 斯道發行所朝鮮支部 京城古市町一四（電車通）電八五八 395

◎代書事務所讓渡したし目拔の場所詳細來談あれ（姓名在社） 555

◎古本買入 ▲▲御報參上 地方送金 森田文光堂書店 京城本町二 電話八六五 363

番外（匿名一回全六十錢（無割引）一回毎に金五錢增）

類燒移轉廣告 丸燒ながら一同無事左に移轉す 京城本町三丁目七十七番地 正札屋 衣服店 川村晉次郎 567

解雇 外川廣吉 二十三歲 右者三月二日限り解雇す 太田秀太郎 564

花柳病專門藥 ▲▲詳細は御照會次第迅速回答す 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會滿鮮本部 558

節句用 櫻の葉新荷著 京城岡崎町 島屋本店 電話二三三〇番 543

ラムネ販賣人募集 希望者本人來談市内確實の保證人要 京城岡崎町八番地 京城清涼社 530

社員招聘 高給外務監督二名 及有給外務員數名 招聘す希望者は自筆の履歷書携帶本人來談 ▲京城黃金町二丁目一八一 橫濱生命保險株式會社朝鮮出張所 531

質商 移轉廣告（元伊佐）▲弊店は秘密を守り親切丁寧を旨とし御客樣の便利を計り申候 櫻井町一丁目大正館北橫丁 黃金町と櫻井町角南入る 東屋 382

住宅向貸家 貸家月金貳拾圓内外數戶あり入用の方は旭町一丁目小森村木店又は吉野町一丁目中野修造方へ 京城吉野町一丁目 518

皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一 商品陳列館坂の上 電話二一〇二番 551

質 堀佐營業所 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）電話六三九番 552

結核 瘰癧 古賀液注射 及藥（入院隨意）松岡醫院 京城南山町二丁目 電話六七五番 549

內科 小兒科 爲春堂醫院 大和町二丁目（日の出橋下る）電話九二八番 院主 古城 俊吉 547

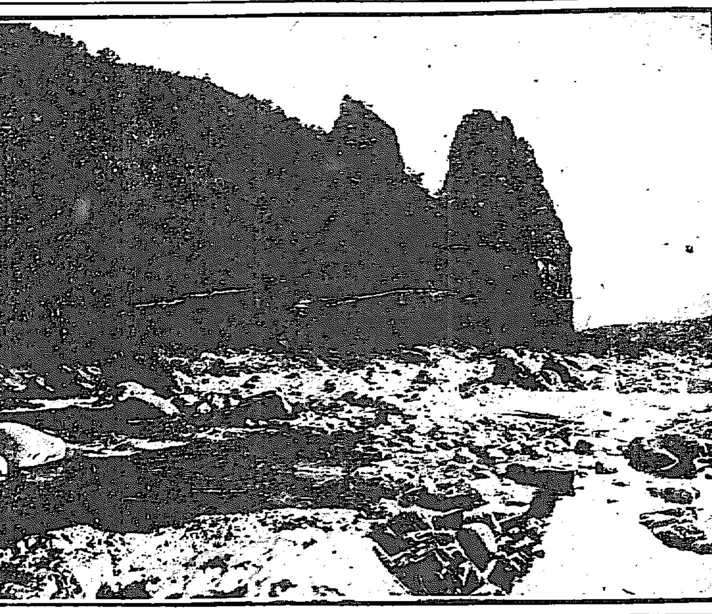
はねつぎ うちみ くじき 治療 ◎電話二千五百九十五番◎ 明治町交番より東 フランス教會前 荒川仁壽堂 548

…の漁獲高は計五十五萬五千餘尾を生じ一般の取引活潑となれり當港の…にして其價格實に一萬五千餘圓に及ぶ原因に就ては詳ならずと雖も本年…漁期間中の總價格は實に三萬…は例年に比し氣候著しく温暖なれば

◎鐵道連絡…
日滿聯絡鐵道聯絡會議は來四月十四日より東京に於て開催につき鮮圏側は主として…改善並に旅客聯絡取扱上の改善等

◎…合說 當月限の成行は…

◎戸籍愈實施
…千一百萬元を…ほしむる事とせり但し目下は人心動搖の際なるを以て地方は暫く見合せ取敢へず本月より北京城內外の調査…多難の際なるを顧みず…金の名を以て…百餘萬元を分配するを非難し殊に…給の十八倍を割…昨年水災を被りし運河沿岸の農民に對しては資金貸與…價調節等の方便に據りて救濟の法を講じつゝあるも…五縣知事に命じ管下の荒地を調査せしめつゝあり移住希望の者には旅費及び所要の土地を貸與すべしと


斷崖と激湍　豆滿江畔

◎國境八十里の警戒線
零下四十二度 これも御國のため

咸鏡北道の北端即ち露領沿海州支那間島地方との央を流るゝ豆滿江が毎年十一月の中旬から凍り出して對岸との交通が自由になると

◎會寧から豆滿江の流域上下約八十里の間は憲兵又は軍隊の手に依つて物々しい警戒を始める蟻の這入る隙間さへない程に之れと同時に主として間島方面に住んで結氷期を今や遲しと待ち構へた惡む可き馬賊の徒輩か左もなくば不良の支那人又は朝鮮人が

◎物凄い笑を鬼の樣な顏に浮べて『稼時が來た皆の者備りしろッ……』と掠奪の方法を考へるのである秋の商賣期と冬の結氷期とは豆滿江沿岸地方の鮮民は夜の目も碌に眠られぬ程の不安がある、此樣な現象は此地ならでは到底見られぬ恐ろしいそして又防禦に困難なのである、吾憲兵に於ては是等の鮮民を安じて日常の業務に服させようとするために毎年結氷期に入ると

◎沿岸八十里の間に內地人憲兵に朝鮮人の補助憲兵を附して賊徒襲來の警戒を行はせる慶興、慶源、穩城、鍾城、會寧、茂山と云ふ昔の

▼所謂六鎭地方に於ける分隊とか憲兵派遣所又は分遣所は素より結氷期中だけ臨時に要所々々に出張所を設け各分隊又は派遣所から何人宛かの人員を配置することになる一方前記の各地の中で駐屯軍隊の在る處では憲兵と警戒上の連絡を取つて怪しき奴とあらば鼠一疋たりとも見逃すまじと苦心する併し又

▼賊徒も一生懸命である紅い樣な色彩を帶びた太陽が大陸の彼方に沈む頃から間もなく鼠賊の奴が三々伍々隊の者を派して機會を狙ふ所は恰かも生蕃が首を狙ふ樣な殘惡な態度だと云ふ、結氷期即ち十一月中旬から三月中旬頃の解氷迄の間は憲兵や兵士が勤務の困難も一通りではない

▼何しろ對手は名にし負ふ賊團而かも命を的にしての仕事と來て居るから油斷も隙もあらばこそ勤務は戰時狀態と少しも異つた所がない其勤務も晝間よりは夜間が主で日沒頃が來ると憲兵は長靴を脫いで短靴か又は防寒足袋に卷脚絆それに銃を持つて普通の兵士と同樣の

▣武裝を凝して出掛け各所兵又は憲兵と警戒の線を連絡することになるつまり夜間になれば白頭山より下流の豆滿江八十何里の間は兵士か左もなければ普通兵士の武裝した憲兵に依つて

▣一大橫隊の戰線が張られることになる譯だそしてスワと云はば一合の下に何百人かの兵士憲兵が之れに應じて行動が出來る、今年は近年にない暖さと云ふに零下廿二三度もあるのだからして昨年の如き零下卅五度と云ふ骨をも凍る極寒でも

◎夜間勤務は寸時も怠つてはならぬ寧ろ此樣な極寒の時こそ賊徒の奴等が監視線を突破しようとする最良の機會なのであるから一層警戒を嚴重にせねばならぬ普通の衞兵交代は一時間と定まつて居るが國境の防備に當つて居る憲兵又は兵士の夜間勤務は

◎そんな贅澤なことは云つて居られぬ日沒から又は九時、十一時と別々に受持區域を定めて出るが一番早く出た者が午前三時頃に歸れば早い方で大方は何れも同樣徹夜して警戒の任に當るので二三年前に零下四十二度と云ふ大寒氣の襲來した時などは防寒外套の立襟と

▣口髭が凍結して只わづかに鼻口のみが呼吸に出て開かれて居る位携へた銃の如きも油が凍つて引金を引けば恐ろしい樣な霜柱が立つて寒いなどは通り過ぎて錐でゝも突刺される樣に痛さを感ずるのであるこんな時に若し過つて野外で用便でもしやうものなら忽ち凍傷にかゝつて終ふ、これで居て朝鮮一體同樣の防寒服で給與も同樣である多年

◎國境防備の任に あつた一憲兵軍曹は記者に語つた『防寒の手當も給與も同樣で苦しいと云へば苦しいかも知らぬ併し其境遇に居れば亦樂有其中』で自ら慰むる所がある彼の廣漠たる對岸支那側と鏡面の樣な豆滿江の氷河を隔てゝ國境守備の任に就て居る時に『今自分等は此樣な激寒と戰つて勤務に就て居るのは吾日本帝國の國境守備と云ふ大任に當つて居るのだそして此邊鮮人部落の安危も全く自分等の勤怠に依つて分るゝのだなあ』と云ふ考が念頭に浮ぶと三十度や四十度の寒氣も物の數かはと思はれる國境國境と云つても

◎眞に國境に立て 親しく其氣分を味はゝねば領土の境界が如何に神聖であり犯すべからざるものであるかは判るまい此間も國境を視察した一內地人から內地邊の名所舊跡を遊つて寄こされたが娛樂的見物に餓えて居る者に取つてはどれ程嬉しかつたかも知れぬ』と斯く語ることが出來ると思ふ(國境會寧にて一記者)

●地下室に籠る五萬の精兵
―堅塞ヴエルダンの要害―卅萬の獨軍―

參謀課少佐曰く久しく靜平だつた西部戰線に於て俄然獨軍の活躍となり此一大活躍の目的はヴエルダン要塞攻陷と云ふさもあるべき作戰に出でたらしい、開戰以來今日まで獨軍のヴエルダン攻擊は今度で二度目である、第一回は即ち一昨年の九月上旬でボージユの谷から侵入した獨太皇子軍は西部白耳義方面から佛國に蠶崩のように侵入した主力軍と相呼應してヴエルダン攻陷の一大突擊をなしたが首尾よく擊退された、此攻陷戰は大小の突擊を合すと約二十日間繼續した、然し獨軍は

▲まんまと失敗 して其時の獨軍の損害は少くとも二十四萬以上とせられ爲めに皇太子は獨帝から大目玉を頂戴した位であつた其後の形勢は少し該戰線の推移に注目すると誰れでも直ぐ氣附くやうに白耳義の海岸から一大孤線を劃いて北佛に轉入しリル、ソアソン、ライムと突き出てゐるうちにヴエルダン方面では此孤線が急に同要塞の周圍に到つて非常な凹線を畫いてゐる、此譯は云ふ迄もなくヴエルダンの鐵壁が重しとされて居るからで此點から見てヴエルダン要塞は將に西部戰線佛軍の

▲中央の一大礎石 をなしてゐる、從つて獨軍は今日一擧佛軍の死命を制せんとせば何處よりも先づ此佛軍の中央の關門を突破するのが早道である、恐らく獨軍は既に十五萬以上の損害にもめげずヴエルダン攻擊に必死の激戰を續けて居る目的は茲にあるのだと思ふ、今回の獨軍突擊の作戰は先づヴエルダンの東方戰線山もアルサス方面より攻勢をとり佛軍を充分牽制したる後突如ヴエルダン要塞北方約十五哩のオルヌの谷からマランクールとエタンとの間の十三四哩の戰線に向つて五軍團約三十萬の密集大部隊を以て襲ひ懸つたらしい、即ち目下激戰中なのはオルヌから其の谷に沿ふてミユーズ河とオルヌ河との合流點に近きサモニユーとの間である即ち獨軍は

▲ヴエルダンの弱點 地たる北方ヘルブ森林方面に一大突擊をなしつゝある、此方面はヴエルダンの俗に云ふ裏門であつてヴエルダン要塞外堡十六砲壘の分布位置から見て最も攻め易い方面であるのは云ふ迄もない若しヴエルダンにして獨軍の攻陷する所とならんか佛軍は其全戰線を眞二つに打ち切られる結果先づアルサス方面の佛軍は退却を餘儀なくせしめられ續いて巴里は危くなり白耳義からライムに到る佛軍は其背後を脅かされる結果最早進退谷まる危險に陷る然しヴエルダンは

▲世界の名要塞 であると共に昨年六月の獨軍の重砲射擊に鑑みて佛軍は更に堅固なる防禦工事を施してゐる、ヴエルダンの周圍十五哩の地域に於て佛軍は此工事に於て第一線から第六線までの塹壕を作り更に要塞內に總て地下工事を施し守兵のみならず必要に應じて市民までも收容することの出來る一大地下室を設備した、此地下室へは五萬人を收容することが出來ると云はれてゐる更に十六の外堡と本砲臺との間は、極て

▲輕便な地下鐵道 で連絡し此鐵道は地下食糧庫並に火藥庫と連絡してゐる又地下水道があり、地下發電所は五箇所ある、要塞司令部は本堡壘中の地下三十尺の一室にあると云ふ理想的防禦の下に萬事完璧されてゐる從つて獨軍は如何に必死となるも如何なる犧牲を拂ふも此ヴエルダンだけは容易に陷すことは出來ないと佛軍も安心してゐる目下此方面に激戰中の獨軍は獨皇太子軍並にバリヤのループレヒト太公の軍と應援として東部戰線から來たヒンデンブルグ軍の一部であらう

◎天洋丸停船と印度人引渡事件
船長東鄕庄作氏は斯く語る

二日午後二時三十分香港より橫濱に入港したる東洋汽船會社汽船天洋丸船長東鄕庄作氏は曩に英艦の爲め公海に於て停船を命ぜられたる事件の眞相に就き語つて曰く本船が上海より馬尼拉に向ひ航行の途中二月五日カボニス燈臺を距る二十五海浬の海上に於て突如船尾に一大音響を聞き恐しき數十條の水柱を見續いて三發の空砲聲を聞きたれば停船したるに英國一巡洋艦は假裝巡洋艦と共に全速力にて本船間近く驀進し來るや武裝せる二名の士官信號兵來船し余は艦長の命令に依り貴船に乘船し居る印度人を引渡されたしと迫りしかば余は公海に於て此の無法を敢てせるを詰問したるに本問題に依り惹起せる一切の件は大英國政府是が全責任を負ふべしと答へ然らば直ちに證明書を認められたしと言ひたるに彼等は本艦と信號通信の上證明書を認めたるに依り桑港より乘船したる印度人七名と其の携帶荷物とを引渡したりと(東京特電)

◎舍身居士豫審廷に泣く

瀆職爆彈事件追累者として肥田と共に收監されたる田中舍身居士は二十八日午前十時東京監獄より護送せられて豫審廷に入り潮豫審判事の取調を受けたり傳ふる處によれば居士は同廷に於て過去三十年身を政治に投じて正義の爲に奮鬪し之念とせり然るに今回彼の爆彈事件の如き罪名の下に嫌疑を受くるに至れるは甚だ以て心外なりと涙潛々たるものありと云ふ因に同日午後一時特に義弟池上文僊に面會を許されたり

◎釋宗演師快癒
猶ほ面會は謝絕

一時危篤に瀕し目下鎌倉山の內松ケ岡東慶寺內に療養中なる釋宗演禪師は經過良好にして毎日新堀醫師の診察を受けつゝあるが最早普通面會等出來得るに至れるも猶醫師の勸告により一切拒絕し居れり

◎跡燒で消防講評 去る一日夜京城若草町の火災は稀なる大火なりしより京龍の各消防隊の活動は目覺しきものなりしが三日は京城の常備消防手全部を燒跡の現場に召集し防火の成績其他に就き消防主任小熊警部より講評ありたり

◎基督教說教 南米倉町京城基督教會にては五日午前十時半朝拜『基督者の光榮』丹羽清次郎氏午後七時半より夕拜松本正寬氏の說教あり

◎妙心寺接心と提唱 臨濟宗妙心寺別院にては五日より九日まで毎日午後六時半より接心を修行し五日は午前十時より無盡燈論の提唱あり聽講隨意なりと

若い時分

春になりました。學校の入學式も卒業式も近づいて來ました。その新らしく學校を出で、新らしく學校に入る少年少女諸君、及び其父たり兄たり姉たる方々のために諸名士の『若い時分』のお話を伺つて見ました。

□白菊の歌
―土木局長 持地六三郎氏―
漢學をやるつもり 月五圓でも充分だ

私が郷里福島から東京に上つたのは明治十六年の年十七歲の時であつたが當時はこれでも立派な漢學者にならうと志望して居つた、と云ふのは私の郷里から有名な漢學者安積艮齋と云ふ先生が出て居るので其の先生の

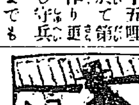
◎苦學して大學者となつた事が少年の私にとつては非常な刺戟となつたのであつた、東京に出て見ると當時駒場の農科に居つた私の兄は『今日漢學者などになつて何うする積りか、それよりも海軍兵學校に入れ〳〵』と云ふものだから

◎一時は那麼氣分にもなつて見たがたうとう大學の豫備門に入ることとなつた、私が英語のABCを始めてやり出したのは全く此の時であるが、何分にも漢籍を讀むだ頭には英文の讀や文の讀が莫迦らしくて仕樣がなかつたけれ共兎に角一生懸命に勉强には勵むだものである、其の頃私は『孝女白菊の歌』が好であつたが又井上哲次郎博士等の

◎哲學にもかぶれて哲學科の方にも氣があつた、それで今の立花中將の令弟で立花銑三郎といふ人も當時哲學科に居て私の中途から逃げ出したのを惜むで呉れたが立花氏は大學卒業後洋行して夭折したけれ共全く非凡な秀才であつた、當時私共の學費は月五圓で濟したものであるが同じ仲間には

◎山座圓次郎などのやうな亂暴者も居つた、私はあたりまへから云へば廿五年に帝大政治科を卒業する筈であつたが病氣の爲め一年遲れて學校を出た、然し死んだ祝辰巳君などは懇意な同窓だつたが法律科には水野錬太郎、福原鐐三郎などの秀才が居つたまた、京城覆審法院の中村檢事長や淺見高等法院判事なども

◎矢張り同じ仲間である、文科には又芳賀矢一君などが居つた、併し人間も過去を語るやうになつては駄目だ



▲一日夜若草町大火の際京城及び龍山の常備義勇各消防隊の働きは大に目覺しい活動であつた▲殊に常備消防隊は小熊警部大樂巡査部長指揮の下に三手に分れて各消口を死守して一歩を退かず命懸けで防火したる程であつた▲是が爲めに逆に負傷者を生ずるに至つた▲此の中で本町三丁目の對州館附近を受け持つて居た一組の大樂巡査部長は煙の爲め眼を痛めたるも輕微なりしが共に努めたる鍾路詰所の岩崎消防手部長は煙に捲かれ外套及び帶革を燒失したがまだ此の他に二名の消防手も煙の爲め眼及び咽喉部を痛めて目下加療中である▲負傷者は何れも治療十日間內外を要する程度である尙黄金町詰所の松山消防手及び南山町詰所の瀨戸消防手は眼を痛め龍山消防組にも二名の火傷者ありたるが何れも輕傷であるとは何よりも結構な事である

至廉至便國民必備の寶典
大正五年 國民年鑑
四六版壹千頁並製五拾錢 上製壹圓 郵稅各八錢
値上げせぬ間に註文せられよ
紙價は暴騰し印刷料は値上げとなり、遂に出版界は既出書籍の二割增しを決議せり。されど國民年鑑は依然として壹千頁五十錢の安價を支持せんとす。抑も本書の各社會に歡迎せらるゝ主なる理由は、其の價廉無比無盡藏なること、定價の至廉他に匹儔を見ざる點にあり。今や出版界は紙價の暴騰と、印刷料の値上げを以て大恐慌に襲はれんとす。されど本年鑑は暫く此の恐慌に影響さるゝことなく、普く各社會人士の註文に應ずべし。蓋し是れ本社が本書各種の原料を事前に仕入し置けるが爲に外ならず。今後若し本社貯藏の各種原料盡くるが如きことあらば、或は値上げ斷行の已むなきに至るやも計られず。値上げの厄に逢はさる內至急御註文あらんことを切望す。
發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

移轉廣告 南山町三丁目巴城館上る
書畫骨董商 佐々木兆治 電話二二三番
並に第一第二日曜日定期入札會開催
御披露を兼四日下見五日正午より入札會仕り候
珍品珍幅澤山に御座候條是非御遊覽被下度候

資本金 五百萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町壹丁目
株式會社 百三十銀行 京城支店
電話長五八番 一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

類燒の際は早速御馳付御見舞御加勢を辱ふし難有奉存候混雜中貴名伺洩も難斗乍略儀以紙上御禮申上候
尙營業の儀は不取敢支店(電話九壹貳番)に於て御用命蒙り度候間不相變御引立の程願上候
藪蕎麥本店 電話八四七番
各御得意樣

開業一週年披露
各位益々御健勝之段芽出度御喜び申上候扨て當樓開業以來滿一週年に相當致し候に付ては聊か各位の御心に酬ゐん爲め三月三日より向ふ三日間午後十一時迄に御來遊の御客樣に限り酒肴及び藝附を以て貳圓五拾錢にて御滿足を與へ度候間不相變御引立の程奉希上候
仁川敷島 一力樓 電話七六九番

千生瓢 (143)

須藤南翠作　筒井年峰畫

凱旋（八）

蜂須賀彦右衞門正勝は、秀吉の意のある所を了解したが、甚だ至難の使命なるを以て、先づ惱める色を示したのであつた。されど一旦發意した事を中途に於て廢絶する秀吉でない事を知るので、先づ自邸に歸つて仔細に分別を廻らした。

其處へ山口勘兵衞の訪問を受けた。座に迎いて接見すると、勘兵衞は秀吉の命を受けて、彦右衞門に差添ひ横の島に赴くよしを語つた。彦右衞門は旨を授けて、先づ勘兵衞を彼の城に遣はした。是れは、在獄中の副田甚左衞門と談合して、預り人なる佐久間玄蕃允、柴田權六の兩將を、懇ろに優遇し、先づ其心を安んじさせん爲めであつた。

斯くして彦右衞門は、其翌日を以て横の島城に到着した。兩將の近狀を問ふに、玄蕃も權六も其優待を喜んで、何等警戒の素振もないとの事であつた。

さらば兎も角も、先づ玄蕃允に對面致さうとあつて、大廣間に席を設け、此へ玄蕃允を招致した。彦右衞門は少しく座を下つて

「是れは〳〵佐久間殿、頃日の御鬱懷いかばかりかと存じた處、御健祥の體を拜して、彦右衞門、一段と祝着に存じまする」と慇懃に挨拶に及んだ。

玄蕃允盛政は、席に在つて上座を指しながら

「其處では應對も相成らぬ。先づ此れへ進ませられい」

「いや〳〵彦右衞門、分際を忘るゝ者でおざらぬ。貴殿は織田殿嫡々の老職、某は高が被官の小輩。これにて澤山おざる」

「いかにも蜂須賀彦右衞門とならばさもあらうずるかも存せぬ。去りながら從四位下參議羽柴筑前守秀吉が名代とあるに、其席は相應致さぬ。盛政は囚人おざる、白砂に引据ゑらるゝとも、苦しからぬ身ではおざらぬか」と言つて顋髭を撫でながら冷笑つた。

正勝は盛政の挨拶に感じながら

「然らば許させられい」と述べて上座に就いた。

盛政は毫しも倨傲の擧作なく、深く謙讓を表はして申した。

「好き序なれば申し上げる。盛政武運拙くして土民の繼縛にかゝり、御陣に牽かれた後は、是れなる山口勘兵衞、副田甚左衞門兩人に預けられ、直に梟首にも遭はんかと存じた處、牢獄らしき處へも繫がずして、繼縛を免し、小袖を與へ、朝夕の饗膳に善美を盡さるゝ事、甚だ以て心苦しい。盛政聊か武勇を好みたるより、謬つて鬼玄蕃の名に謳はれたる故、囚人扱ひをせば、如何なる亂暴を働かんかの、御懸念かは存せぬが、其は入らざる御配慮ぢや。敗戰の上生擒りと相成つた上は、牢獄に繫がれ、獄卒の手に扱はれ、俺まで苦楚を嘗めることそ、先亡の士に對する追善とも存ずるぞや。盛政決して安逸を貪る者でない。此よし筑前守に申し立てられ、嚴重に取計らはれよ」

「いつに變らぬ剛毅の御詞、筑前守に申したならば、何程か感じ申すでおざらう」

彦右衞門は寄らず觸らぬ返答をして、やがて愁然とした。

「合戰の習ひとは申しながら、柴田殿御夫妻、無念の御生害を遂げさせられた事、我等小身の分として誠に殘懷の至りに存ずる」

盛政は大口開いて笑つた。

「勝てば榮え、敗れば死す、是れ戰場の常ぢや。我強うして勝つたと思ふは誤り、勝つも敗るも天運の循環ぢや。夫婀いてから何になる」

「寔に仰せらるゝ如く、天運おざりませう。柴田殿の事は、既に亡びられたれば、是非なしとも御諦め在らせられい。關國だにあらば、然るべき大國を一國宛て行はるべき程に、此上は秀吉をば勝家殿と思はるゝにかては、秀吉いかに滿足に存ずるであらう。貴殿御生涯の中、必ず見棄て申すまい。御賢慮いかに」

彦右衞門は智辯を揮つて、懇々と説き誘つた。

募集短文

漫言錄より

京城　松尾秋一

二月二十五日。病みて入院中なりし友の退院せしばかりのところを訪ひ病中は見舞にも行かざりし事の亡狀を謝す猶ほ彼は臥し居たりければ、「ひとすぢに縋り奉らん神かけて君の病のとく癒ゆべきを」の拙詠を罪亡ぼしまでに枕邊に寄す。九死より復活したりとて彼のよろこびければ萬能の神の御力たのもしやらずやと言ひしより、

むかしながらの定九郎哉

病みしまゝ頭髮は生て髭延びぬ就床以來斬髮せざれば定九郎の如かす。

二月二十六日。偶ま一友と道中に會す。兼ねて家慶ありし由聞き及びたれば即ち大喜して御目出度うをあびせかく。然るに彼默する事寸時悄然としておもむろに開口、その死産なりしを告げし時ばかり氣まり惡るく又氣の毒なりし事はかつて無かりき

二月二十八日。編輯室のM氏突如として猛烈我が社を飛ばさんず嚏を連發す。降雪が豐年の瑞兆なれば嚏は當に風邪の凶兆なるべし。惡性なる風邪流行の今日、最も嚏に警戒を要す。

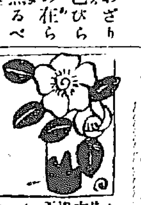
呈大塊翁（四）

旅

幸感る妻子の情や夫の旅　奇石
空仰ぐその日〳〵や旅の人　同人
下り坂旅の勞れし足早に　秋光女
旅の水流れ〳〵て浮き沈み　同人
旅なして角のとれたる愛見哉　秀業
伊勢に跋乞はれけり旅の宿　同人
鬼拓を背負つて旅立つ抱負哉　多穆子
道謡に飢に泣く〳〵修防にん旅　同人
石佛に見されたりける旅の空　黄村
醫の旅無想に耽る寺の門　同人
小兒きて旅せし老父を迎ひたり　新岳
旅者の入道殿よ留守居哉　同人
旅衣碇ふ毎に慈母偲ぶ　同人
知人ありて旅おもしろき孤村哉　晁村
旅行脚と中篠舒の旅　同人
雨よし母猿に一日を春の旅　如雪
うきこさも語の種や旅衣　同人
旅の坊の待山延引す春の旅　山王人
旅宿の製装束た絲や春の肩　同人
苦しあれと樂みもあり旅の宿　文の合
行く雲に故山を偲ふ雨の宿　同人
ホロ〳〵雉子鳴く里を驢馬の旅　石香
殘る興踏んで伊勢路を上りけり　有無
旅在す故郷おもふや旅の空　同人
旅毎に集むる旅や一千句　不酔
旅枕眠れぬ夜半や塵なきく　同人
我旅や京に來て遂に京を見ず　如風
中坂に誠る商人東人　同人
旅行鐲の旅と申さむ路羅　不思郎
旅人のそゝろに樂き曠哉　同人
故山の十里は未だ春の暮　鳥現

○

旅館に入るや誰も俳居士の　鳥現



▲去る廿九日査公列に見惚れつゝ歩く紳士に突當り其の粗忽を謝すべき筈に二三間も行き過ぎて顧みて買物の爲に店前にありし該紳士に對し『君右側通行しなさい』は滑稽（苦笑生）▲一日の夜本町大火の際三丁目丸萬金物店前の小路の共同水道栓を三十分も開放しにしてあるので小生は之れを見るに忍びず附近の家に注意をしたが鍵が見付からないとか言つていた之れを知りつゝ打擲つている近所の者は實に公德心の無いことだ此後斯る場合には御互にモ少し注意して欲しい（總督府内柴田）▲二月二十八日午後四時頃僕が京城へ行かうとして電車に乘つた電車は六四號であつた車掌の腕に十號と印が附けられてあつた、この車掌樣の目前で割引乘車券から一票をちぎつて渡さうとしたのに過つて四分六分に破れてしまつた破れたが通用するのでこれを渡したるに車掌先生曰く『これはだめです』と申す一二問答はしたが結局『あなたはたゞで乘せて上ます』とおつしやるさえらい車掌樣ではござらぬか（一乘客）▲京城本町通某商店にては昨年來より女店員二名備入れ御主人は其れで大得意とはあきれ入ります（見とも無い生）▲御近所の貧乏殿借金を拂てほしいか、へん馬鹿野郎其内にトウマンカツソをしてやら（腹腹屋）

商況

大阪株式特電

大阪期米特電（三日）

後場高限寄付十三圓五十四錢止め五十四錢◇中限寄付十三圓七十二錢止め十三圓［illegible］◇先限寄付［illegible］

▲後場の手振り　錢と掃げ［illegible］保合居りたるが引際に至り期近の強硬［illegible］八十五錢と上伸し三錢と押し四錢さ小［illegible］れたると中限の強硬に連れて八十五錢と上伸し四錢と脱付するに至つた市況は社報の如く大阪の不勢を報ずるより不知不識の内に買人氣旺盛となり割安なし［illegible］の十五、六百

▲本日の現物界　［illegible］て出來高なし◇正米［illegible］

三日の五月限　十圓八十錢　十圓八十四錢

寄付　後止

二月限　四萬二千六百五十石

●深夜墳墓を發く　江原道［illegible］

本邦及英米國政府專賣特許

滋養強壯料

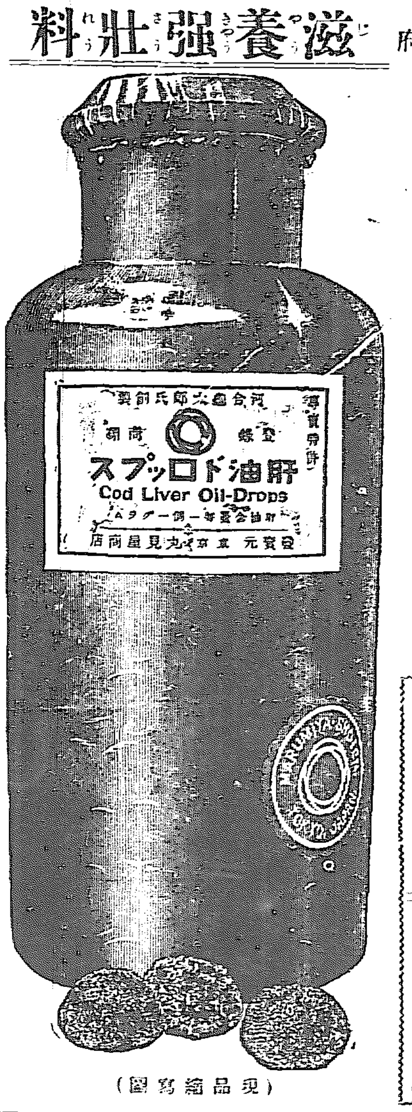
◎肝油ドロップス

河合龜太郎氏創製

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲

▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

肝油が一般の虛弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺ぐべからざる滋養劑として内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり。然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、美味無臭にして而かも容易に食用し得べきこし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、『肝油ドロップス』を創製す、本品は從來肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、攜帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり。



（現品縮寫圖）

肝油含量一顆一グラム　一日二回乃至三回服用

五歳以下	一回一顆又は二顆
十歳以下	一回三顆又は四顆
十五歳以下	一回六顆又は八顆
大人	一回十顆乃至十五顆

注意　菓子の如く食すべし、又は細片に割り冷水或は微温湯にて嚥下するも妨げなし

定價　五十顆入一罐金七十錢　百二十顆入一罐金一圓［illegible］　［illegible］

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし

一、顔の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザラ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て痩せてゐる人
一、手足が冷えて寢られぬといふやうな纖弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が痩け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顔や手先きを滑こくし度人
一、産前産後の滋養を計らうとする人

專賣特許　◎　登錄商標　肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る

登錄商標　◎　專賣特許　複方肝油ドロップス　肝油の含量を半減して有機鐵・有機燐及び石灰・規那等を含有せしむ

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし

一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病（瘰癧）に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器神
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌＝全國到る處の藥舖。洋酒食料品店。化粧品店。小間物店▼

本舖　ミツワ石鹼　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　◎　登錄商號

東京市日本橋區橘町四丁目　藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

丸見屋商店

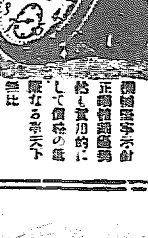
電信略號〇ミヤ……振替口座東京七一〇番　營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

村上唯吉著　心機一轉　定價十錢　郵稅二錢

右内鮮文とも出版出來せり陸續御購讀願上候

京城日報代理部　申込所　京城古市町　孤松書院

●新荷着アンクル式片側捲中時計●



［illegible］

右は今回新着の商品にて本商會獨り之を特賣す［illegible］御地方御用の御注文は［illegible］

機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商

イングレッシー商會

本店　京城本町二丁目　電話九七二番

金泉醴泉間自動車發着時間表

上り　一番　二番　下り　一番　二番

醴泉發　［illegible］　金泉著　［illegible］　尙州發　［illegible］　成昌發　［illegible］

金泉發　［illegible］　尙州著　［illegible］　成昌著　［illegible］　醴泉著　［illegible］

金泉　織居自動車支部（架設中）　金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行　三河丸　三月廿一日　正午出帆

○大連太沽行　相模丸　三月十二日　正午出帆

高砂丸　三月十二日　正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　○外航所屬航路（阪神航路を除く）は五分引を以て連絡切符發賣仕候

宮島丸　三月九日　午後五時出帆
×吉辰丸　三月五日
×天智丸　三月十二日

○木浦、釜山、長崎行　▲は鎭南浦の前に寄港
×安東丸　三月九日　午後二時出帆
▲城津丸　三月

○鎭南浦、大連行
×安東丸　三月十三日　午後二時出帆
城津丸　三月五日
△チヨイサン丸　二月廿九日　正午

○大連直行
×津州丸　三月五日　正午出帆
×福州丸　三月十日

○群山、釜山、横濱行
湖州丸　三月十六日　午後四時出帆
△福州丸　三月

○滿津、浦潮行（元山出帆）
×須磨丸　三月六日　午後二時出帆
△臺北丸　三月十八日

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
安平丸　三月十六日　午後四時出帆
新高丸　三月廿四日

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番・二五〇番
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八番

▲對中國四國沿岸各港行船客に對し當分割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

通信事業の既往十年間（一）

遞信局事務官　矢野義二郎

明治三十九年一月統監府通信管理局の設置以來本年一月を以て既に滿十年を經過したり統監府通信管理局の設置後約五年にして朝鮮總督府通信局となり次で總督府遞信局と改稱せられたるが此十年間に於ける朝鮮の通信事業の進歩發達は頗る著しきものあるのみならず同事業の沿革は又朝鮮の進歩發達の説明ともなるべきを以て左に既往十年間に於ける通信事業の概況を述べんとす

（一）通信機關の總數

大正五年二月末日現在に於ける朝鮮の通信機關の總數は五百九十九局所（外に分室四）ありて之れを十年以前なる三十九年一月十日現在の局所數總計四百五十九局所に比すれば百四十局所即ち約三割強の増加に過ぎずと雖も十年以前の局所中には臨時郵遞所なるものありて其數三百三十五あり此郵遞所なるものは單に通常郵便物の引受並に配達と郵便切手賣捌をなせるのみにして書留郵便以外の特殊取扱をなさず又小包郵便物其他郵便爲替郵便貯金等の取扱をもなさゞりしを以て實に利便の少なき不完全なる通信機關なりしもの也されば十年以前にありては完全なる郵便局所としては僅かに百二十局所に過ぎざりしも爾來上述の不完全なる郵遞所なるものは次第に其數を減ずると共に之れに代ゆるに各種の郵便事務を取扱ふ郵便局所を增設したるを以て明治四十四年度末に至りては全く一の郵遞所を存せざることゝなれり即ち今日と十年以前とは單に局所數の増加は百四十局所なりと雖も完全なる局所の増加は實に四百數十局所なりと云ふを得べし

我朝鮮に於ては大正五年二月末日現在にて面積二十三方里半人口二萬五千七百餘人に對して一の通信機關たる割合にして十年以前に比すれば多少の普及ありしと雖も其普及未だ充分なりと云ふを得ず之れを內地の一局所宛面積一方里四六、人口七千百四十五人に比し又諸外國の普及狀況に比すれば今後朝鮮の進歩發達に伴ひ益々局所の增設を必要とするや論を俟たざる所也

（二）郵便物の引受遞送並に配達

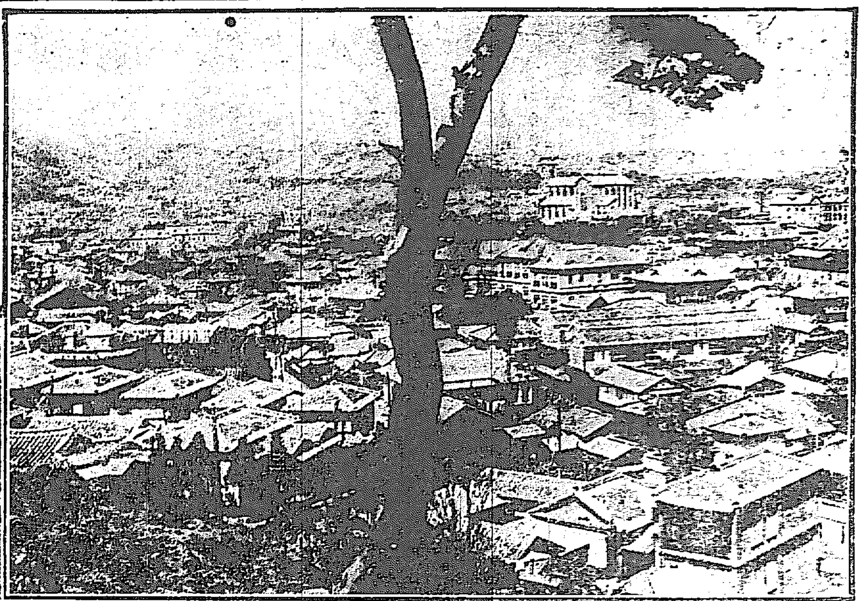
最近朝鮮に於ける通常郵便物の引受總數は一箇年七千七百四十一萬九千餘通に達せるを以て十年以前の一箇年の引受總數一千五百萬餘通に比すれば約五倍強の增進あり之れ在留內地人の増加並に各種産業及び諸般の事業の發達せるが爲めなりと雖も特に著しきは朝鮮人の通信力の進歩なり明治三十九年度の如きは鮮人の通常郵便物の差出總數百八十三萬七千五百九十二通を算せしも今や一箇年千七百七十萬餘通に達せしを以て約十年間に於て十倍の増加ありしものとす

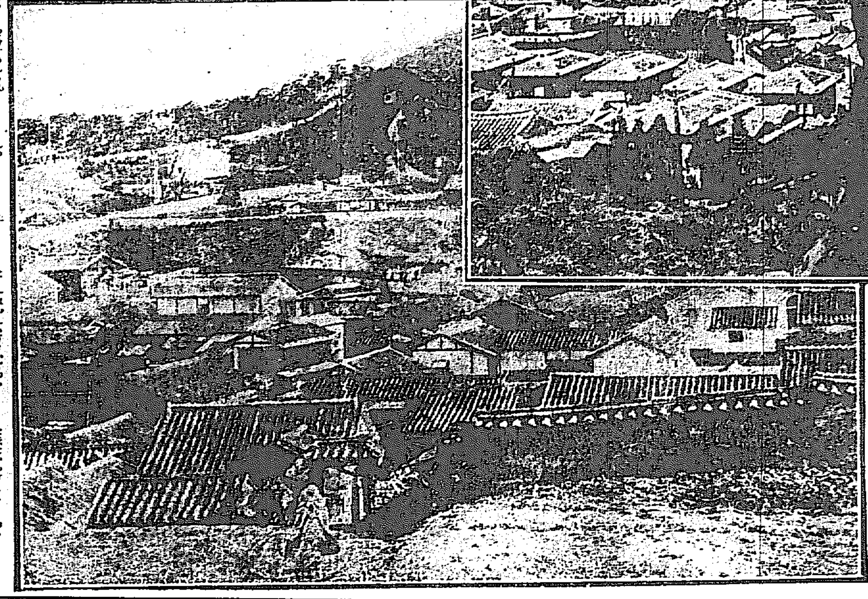
次に小包郵便物の引受總數の如きも十年以前にありては一箇年七萬七千餘箇に過ぎざりしも最近に於ては一箇年百九萬餘箇あるを以て約十四倍餘の増加ありと云ふべく又朝鮮人の小包郵便利用者の如きは三十九年度に於ては其差出總數二千八百十四個に過ぎざりしも今や一箇年三十四萬四千五百餘個に達せるを以て實に百廿倍餘の增加ありしものにして非常なる增進なりと云はざるを得ず

郵便遞送の如きは十年以前にありては主要線路以外の遞送便は一箇月十回便のもの多く且つ一二の線路を除きては夜中遞送なるもの殆んど之れなかりしも今や陸路遞送便の總ては毎日一回以上の遞送便あるのみならず郵便の遞送上夜中遞送をなす線路少なからず又郵便の遞送に付ては鐵道の延長航路の擴張並に道路の改良に伴ひ常に郵便の速達をなせしもの少なからず今其二三の例を擧ぐれば明治三十九年當時に於ては京城光州間五日乃至七日、京城鏡城間八日乃至十三日、京城咸興間六日乃至十日、京城晉州間三日、京城、春川間三日を要せしも現今に於ては京城光州間一日、京城鏡城間五日乃至七日、京城咸興間三日乃至四日、京城晉州間二日、京城春川間二十三時間にて足るを以て郵便物は著しく速達することゝなれるものとす

大正五年二月現在に於ける陸路遞送便並に汽車汽船等の一日遞送總哩程は二萬四千二百餘哩にして殆んど地球の赤道周圍を一周するに足れり之れを三十九年三月末日の遞送總哩程の一萬一千六百餘哩に比すれば二倍以上の增進ありしものとす

次に郵便の集配の如きも十年間に於て配達回數の增加並に集配の敏活に就ては多大の改良あり大正五年二月末に於ては配達の延里程一日一萬五千哩に達し之れを十年以前に比すれば約七倍の増加ありと雖も僻陬の地にありては一箇月十回配達のものあるは蓋し通信力の關係上止むを得ざるものとす





十年前の京城（下）と現今の京城（上）

（三）電信及び電話

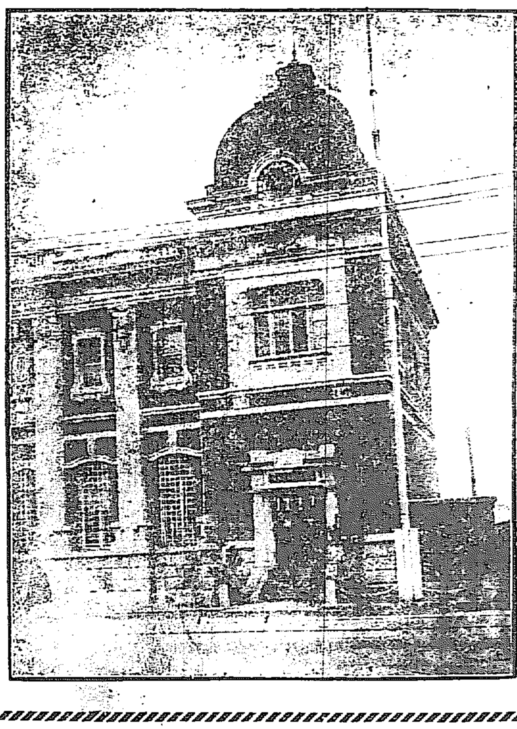
明治三十九年一月に於ては朝鮮に於ける統監府所轄の電信事務取扱局所數は僅に四十四局所に過ぎざりしも大正五年二月末日に於ては電信局所總數五百八十八局所となれり之れ亦非常の增進ありしものなり

又電信線路の延長里程の如き三十九年三月末日に於ては二千四百十五里ありしも大正五年二月現在に於ては約五千三百餘里となれり十年以前にありては長距離電信回線の如きは京城釜山間京城義州間等の三百哩內外のものに過ぎざりしも今や一千一百餘哩の京城東京間の直通電線あり其他京城大阪線京城下の關線の如き直通線あり又國際電線としては京城浦鹽線の如きものありて電信の速達並に精確の點に於て多大なる改善をなせるもの少なからず

電信の取扱數の如きは三十九年度の如きは其發信數一箇年八十四萬通なりしも今や一箇年二百五十五萬餘通の發信數ありて約三倍の增進あり此外發信數以外にも猶中繼信に於ても亦多大なる增加ありしものとす

大正五年二月現在に於ける朝鮮の市外電話里程は二千六百五十四里同市內電話線里程は五千八百六里を算し之れを三十九年三月末日現在の電話線總里程に比較するときは市外線に於て約二千五百餘里市內線に於て約九千五百餘里の增加にして實に二十[illegible]

祝三千號記念



雄基門司乙線（清津、獨津、漁大津、明川、城津、端川、遮湖、新昌、新浦、前津、西湖津、元山、長箭、杆城、襄陽、江陵、三陟、竹邊、甘浦、浦項、蔚山、釜山ニ寄港（月三回）

雄基門司甲線（元山、釜山、西湖津、前津、新浦、新昌、遮湖、端川、城津、明川、漁大津、獨津、清津ニ寄港（月三回以上）

元山浦鹽線（長崎又ハ門司、釜山、城津、清津ニ寄港（月三回）

元山雄基線（西湖津、前津、新浦、新昌、遮湖、端川、城津、明川、大良化、漁大津、獨津、清津、梨津ニ寄港（月九回）

元山永興線（北久昧ニ寄港（毎日一回）

釜山鬱陵島線（甘浦、九龍浦、浦項、盈德、寧海、竹邊ニ寄港（月四回）

釜山浦項線（長生浦、方魚津、甘浦、九龍浦ニ寄港（毎日一回）

釜山麗水線（行巖、舊馬山、新馬山、統營、三千浦、船津、長橋、露梁津ニ寄港（毎日釜山出帆三日日一回木浦ニ延長）

釜山濟州島線（長承浦、麗水、巨文島、城山浦、朝天、山地、翰林、摹瑟浦、西歸浦、表善里、獨勝島ニ寄港（月四回以上）

釜山佐藤町　釜山支店

木浦榮町　木浦代理店

元山海岸通　元山出張所

仁川海岸通　仁川代理店

木浦麗水線（右水營、莞島、長興、興陽、羅老島ニ寄港（三日目毎ニ木浦出帆）

木浦濟州島東廻線
木浦濟州島西廻線（所安山、山地、朝天、金寧、城山浦、表善里、西歸浦、摹瑟浦、狹才里、楸子島、烏島ニ寄港（月各四回以上）

木浦多島海線（荏佐島、牛耳島、大黑山島、梅加島、苔島、黑山島ニ寄港（月三回以上）

木浦若松線（門司、釜山、群山、大黑山島ニ寄港（月二回以上）

仁川木浦線（カロリン灣、安興、煞川、群山、茁浦、法聖浦、安眠島、智島ニ寄港（月六回）
內三回　茬子島、鞍馬島、蝟島、古群山島、於靑島ニ寄港

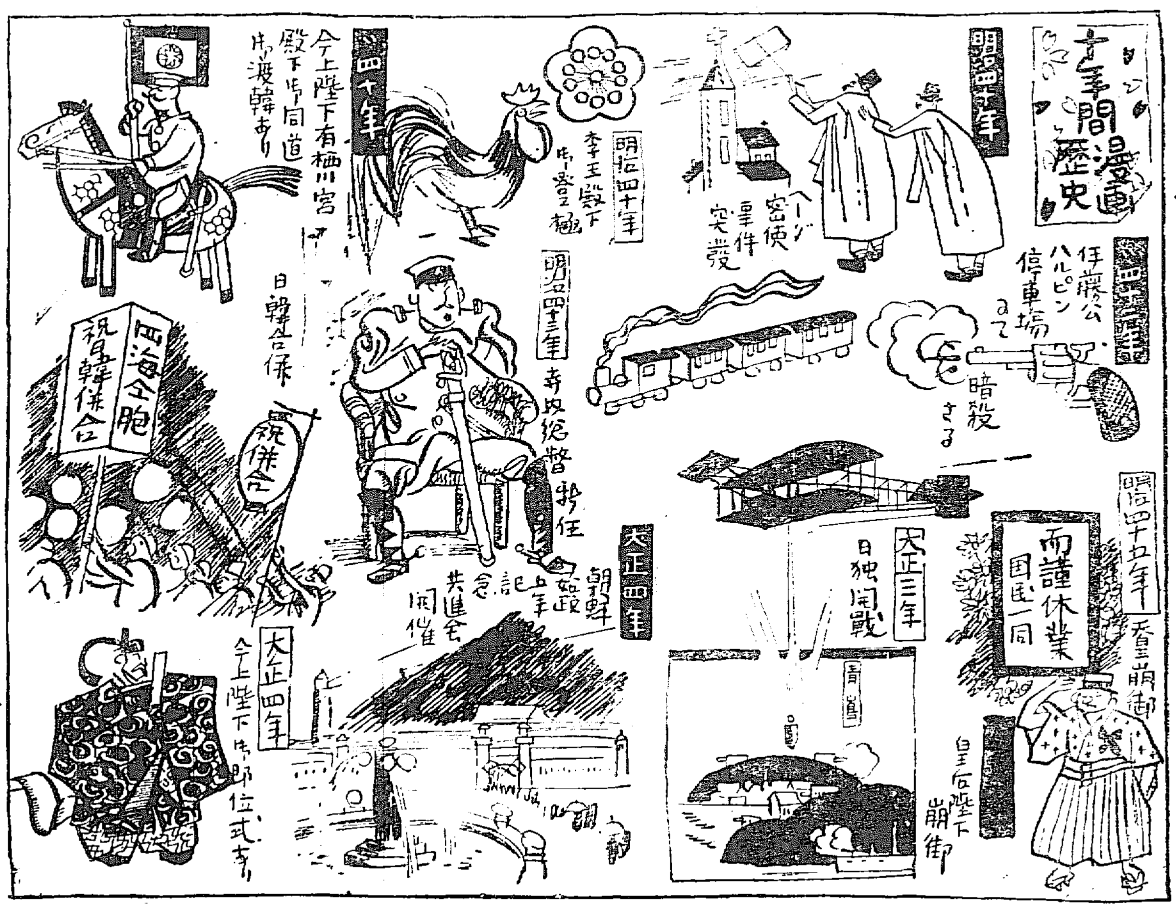
仁川海州線（江華島ニ寄港（毎日一回）

仁川鎭南浦線（海州、龍湖島、登津、潮浦、九味浦、德洞、夢金浦ニ寄港（月四回以上）

仁川芝罘線（靑島、大連ニ寄港（月三回以上）

京城南大門通一丁目

朝鮮郵船株式會社



三字頌

三千號に因みて

瓢老人寄

統監三世にして日韓合併し、總督三世にして京城日報社今日の盛を致し、その大建築成って三年を經るの今年一月、正に三千號の發刊を見たり。抑も臺灣、滿洲、朝鮮は大日本國の三大植民地にして、京城日報は三領土に於ける三大耳目の一たり。始政記念共進會を開設して、一擧三嘆の賞讃を贏ち得たるは我が總督府の面目ならずや。惟ふに歐米亞は世界文明の三大陸にして

日支印は東洋の

三大邦、而して三韓は朝鮮の舊三國なり。世界的には孔子、釋迦、耶蘇の三聖を稱すれども、等しく是れ亞細亞の産物なり。況んや神、儒、佛は東洋の三教にして、其に於ける新、舊、希の三派は少焉く之を發せざらんも、釋は三世因果の理法に依りて三門の解脱を説き、三學の勵行を勸め、以て三寶に歸し、三尊を敬せしむ、路に三途あり、服に三衣あり、戒は則ち三業三罪にして、之を有象と云ひ得可くんば、三惑三思は蓋し無象に屬すとなさんか。興學、布教、斷邪の三務力めて懈らざれば、般若、解脱涅槃の三德次第に庶幾すべく、自覺、覺他、覺滿の三覺亦た自ら至るを得て、三障茲に滅し、三苦、三勞共に消せん。説に曰く、法、報、應を三身と云ひ、經、律、論を三藏と云ひ中、百、

十二門を三論と

稱へ、聲聞、縁覺、菩薩を三乘と呼ぶ。三孝は孝親、不辱、能養の稱にして、三如來は、指を彌陀、釋迦、藥師に屈し、三高僧は道昭、傳教、弘法を數ふ。天平寶字に三戒壇あり、淨土に三部密宗に三大經あり、玄義文句、止觀は天臺の三大部にして、龍華の三會は、初、中、後の三坐を開く、正了、縁因の三性敎、恩悲の三福田、宿命、天眼、漏の三明通の如き詮じ來れば洵に三車も啻ならざる也。

翻つて、眼を儒家の本土に轉せんか、天皇、地皇、人皇の三氏は、書契以前に在り。而も三皇の書を三墳と稱するもの、唐虞三代より遡つて、後人の三省に資せんとするか非耶。強ち言ふことを得せしめば、日、月、星の三光は其の體にして、天、地、人の三才は其の用たり。假に君臣、父子、夫婦の三綱、明德、親民、至善の三領以て經となし。智、仁、勇の三德、智、德、體の

三育以て緯とす

べくんば、父と君と師と、之を敬して三事全く、三親内に和して、三族外に軌らず。三公、三孤政を擧りて三災臻らず、三元鑿うて三農稔り、三至三流序ありて、三性三物瘦せず是を以て、孟母三遷して三教の敎訓益々普く、武侯三顧せられて、三國の爭覇愈々競ふ。史に三史あり、禮に三禮あり、詩に三體あり。春秋三傳を得て意義維れ昭かに、周公三譯を重ねて、荒服則ち朝す。虞舜は三苗を三危に竄し、劉邦は三傑の三長を用ふ。誰か謂ふ、桃園の三兄弟、今ま羅馬の三頭政治に孰若ぞと。予雖三極の致を得ずと雖も、亦三端を避くるの悟なしと爲さず。殊に知る、君子の三畏就中、舌、筆、刀の三妙を要用すべく操觚者の責任最も重大なるものあるを。若し其れ

我神國に至ては

乞ふ少しく説を爲さしめよ。上世漢たり、獨立三韓の代、今我ふるに由なしと雖も、三種の神寶、崇復殿、連綿三千載。明治維新に迫んで、三條の敎則炳然歸向する所を知らしめ立憲の政治は、以て三大權の確立を明かならしむ。此に於てか、民三智を得て、三行維れ全く、三時誤らずして、三惰焉を苟くもせず。神國の代表には、伊勢、石清水、春日の三社あり蓬萊の標識には、三景の勝地あり。和歌三神は文の精華として、騎射の三態は武の表徵として、世界に誇稱すべし。婦人の三從、妻の三不去、必ずしも現代の理想たらずとせんも三筆の傑、三蹟の妙、豈我が美術の消息を示さずとせんや。況んや、富士、箱根、白、三山の三絶、和歌、須磨

田子三浦の三秀

をや、又況んや、世界の三美、其の三分の一は、懸つて我が日光の輪奐に存するに於てをや。閑說、三羽烏は、明治三兜の別名にして、三十傑人は中江兆民の人物評なり。中に維新の三傑あり、大隈、越路、團平の三者もあり、而して特に伊、板、隈の三公は與らずと註す。

之を要するに、三は一陽二陰の配偶に生じ、卦の上位に居り、乾の頂きに位す。動の元にして、用の原たり。故に曰く、三は眞の數基なりと三なる哉三なる哉。時正に陽春三月所謂三春行樂、郊外散策の好季に際り京城日報社三千號の發刊を見る。乃ち猥りに三字を列ねて、三十萬讀者の一讃に供す可く稿を寄すと云爾

■袁氏族家七百人

妻妾〆て五十七名

世界一の大野心家袁世凱は脂肪分に富んだ食物を取つてゐるのでアノ年でデク／＼に肥えてゐる、成る程是では精力も絶倫だらうと思はれるが袁の潜伏所とも云ふべき清華宮には三千の美姬ではないがしめて五十七名の妻妾が蓄へてある、お國者は固より日本婦人もあれば妓生上りもあり露西亞種もあれば、佛蘭西、獨逸、英吉利と、世界の美人が集めてある是等の美人には一人に四人宛の侍女小童が附けてあつて、二房宛を與へてある、コンナ風だから、他に知られぬ子供が澤山ある、マア世界的の美人に對する世界的の子供がある譯ぢやが、十人や二十人ではない、是等の中には父となり母となつて、眼に入れても痛くない程可愛い孫の數も夥しい者だ、で袁の家族を見積ると、ザツト七百人はゐる

祝三千號記念

既成品販賣 惠美屋洋服店 大邱元町電話五五三

慶北 英陽郡廳員

慶北達城郡玄風 宗秀馬

慶北達城郡玄風 赤川旅館

日鮮雜貨 慶北達城郡玄風 古賀商店

慶北達城郡玄風 田中與四郎

慶北達城郡玄風 古賀正藏

慶北高靈邑 片山淳

慶北高靈邑 旭屋旅館 雜貨部

慶北高靈邑 久野逸三

慶北高靈邑 渡邊七二

祝三千號記念

龍山榮町廿七番地 度量衡器 並くすり 椋橋商店 電話三一六番

龍山榮町廿六番地 齒科 口腔診療（診察夜八時迄日曜日は正午迄）龍山齒科醫院

龍山金物商組合（いろは順）
尾崎金物店
香川儀助
三並金物店
島田忠作
毛利辰次郎
柴田周市

京城府元町河岸 漢江遊船倶樂部 電話一〇番 渡邊知義

東京風の菓子なら京城の大和軒

京城本町二丁目 會席御料理 大江戶 電話一四一六番

京城本町三丁目 海陸産物食糧品一式 卸小賣 森川商店 電話九三五番二〇七番

京城獨立門外 富貴味噌 森川萬富園工場

祝三千號記念

登錄商標 手提石拔磨擦精白米 於大共進會金牌受領
仁川本町二丁目 奥田貞次郎商店 電話五一一番
仁川山手町三丁目 奥田精米所 電話六〇八番
大連岩代町 奥田精米出張所 電話四八五番
東京神田區佐久間町三丁目 奥田出張店 電話下谷四六五一番

日鮮向雜貨 輸入貿易商 仁川本町四丁目 河野本店 電話二二八番二二八番 電信略號（カ） 振替京城一一二番
平壤 鎭南浦 河野支店 宣川 安州 河野出張所

日鮮人向雜貨輸入商 仁川本町 鈴木倭商店 電話一一一番 振替京城一三二[illegible]
日本生命保險會社代理店 横濱火災保險會社代理店

仁川港本町一丁目 ㊡福島組 電話五三五番 主任 大平友市
仁川稅關構内出張所 電話五四二番

仁川仲町一丁目 ㊅大和組 電話五三八番 主任 廣池亭四郎
平壤大同門内 大和組支店 電話三二四番
鎭南浦支店 電話二四一番

笑話 三太郎

昔三河國日本三景郡三保松原町三丁目三千番地に伊勢屋の三代目主人三吉の三男通稱大馬鹿三太郎とたん云ふ者あり同町三田通三十番地三ツ目屋事湯屋野三助同三番小路三枚橋御前の三味線屋三日月三太夫の娘おさんと共に人間に三本毛の足らぬ猿智恵者の三幅對として町内の評判者なりしが三人共に三十三歳の三碧にて三道中田上の三元土性なりければ茅く打ち開けて三輝の五いに持ちつ持たれつ睦じく交際たり。或る日三助、三太郎を訪づれきて申しけるは「某今日參上したるは餘の儀にあらず實は三味線の娘御おさん殿三年以前より貴殿に戀慕し昨年の三伏の暑きころより伊勢へ七度熊野へ三度愛宕山へは月詣りして若し此願叶はずば三途の川へ身を投げて彼の世へ行つて此の本望日で勿體ないが三徹様にさんざん負ひ付きますと眼を三角にして灸の三里より熱い逆せ方如何にも不愍なりければ某御さん殿に申す様「除に馴れ三年にして馴となり同惚れも三年經てば情夫のうちと云はずや御身が切なる胸の裡を三太郎殿によく傳へ三日の内には必ず吉報聞かせに重ねて參上致すべくし心安う待ちねかしと言ふに御さん殿は打ち喜び三ツ指ついて果を三拝九拝して言ふには私の様な三平二滿の女でも三太郎殿が添ふて下さるならば二世も三世も變るまじ假令酒屋へ三里豆腐屋へ二里と云ふ様な片田舎、さては唐三韓の涯にさすらふて三すぢの糸より細き烟を立て三度の食事を一度にしても苦しからず日々に三思三省して究く三從三戒を守り朝は日三竿ならざるに起き出で夜は三更月を踏んで歸り家て知つたる三太郎殿の氣心を胸三寸に收め心して仕ふべければ何分共に頼み入る。頼まれたりと諾ひて三尺帶を掟かとしめ十三文甲高の此の足で宙を飛んで參上した次第なり此の様な良緣は三千世界に又となし何と三太郎殿異存は三分三厘もあるまじさて〳〵果報な三國一の花婿殿で御坐るわいと云ふに三太郎はにつこと笑み御身が三寸不爛の舌にあひては蘇秦張儀と雖も三舍を避くべし、なれど又思へば三文の價値も無き三びん奴の某を其れ程迄に慕ひくるる御さん殿の志辱くも亦悅しけれど世の中は三日見ぬ間の櫻と移ろい易く三春の行樂も夢と過ぎては三十六計尻口三尺三寸の湯もじの帆かけて逃げられんも知れず且又おさん殿は三ツ違ひの兄様三平殿御他界後は三味線屋の大事な一人娘又某とても今年三十三歳の立派な男小糟三合の例もあり居候ならねど三杯目にはそつと出す婿入養子は不承知なりと答へけるに三助大に贊成し其れ三軍の師は奪ふべく匹夫も志は奪ふべからず三界に家なき女の許に婿入りするは不承知とは近頃悅しき言葉なり元より御さん殿はこつちのもの同然只此の上は三太夫殿を納得させんのみ盜賊にも三分の理と開けば理屈は付け様次第なり三人寄れば必ず智者のあるなれば某三軍ならぬ三人の參謀となり草廬三顧の故事にならひ六韜三略の秘法を盡し吃度驚け合ひ申すべし御身は之より御さん殿と京に上り三十三間堂に參籠して三萬三千三百三十三體の御佛に起願を込め給へと語らふ折柄三太夫思ひがけなく入り來り御兩人御心配は御無用なり今日三緣寺の三德和尚より聞いた三諦即是の法話が身にしみて悅しく我は今より念佛三昧に餘命を送るべければ亡き三平が三回忌を終へて後御さんは三太郎殿に進ずべしと玆に來三月三日の黄道吉日を選び山海の珍味こそなけれ酒三斗に三人上戸三三九度の盃をいとも目出度くすませけるとたん　目出度し〳〵

十年間に於ける我社主催の重なるもの
家庭博覽會（社前に押寄せし學生參觀の群衆）

十年間に於ける我社主催の重なるもの
各方面名士の連夜通俗大講演會

枇杷の花

水苔を啄む鳥や枇杷の花　橙黄子
花枇杷や今日も火入れて干す壁　同
碑よりある石庭にあり枇杷の花　同
墓地買に案内の人や枇杷の花　同
枇杷の花惡しと慣れたる愁訴哉　同
けうと鳴く鵯にも枇杷の花　如泥子
花枇杷に稀の雨なり一と日かな　同
閑王又兵に徵されて枇杷の花　壷城
葬旗を待つ乘冷か枇杷の花　沛子

石蕗花

乳膨れを搾りて安し石蕗の花　壷城
石据えて鎮其まゝや石蕗の月　同

水仙花

水仙や酒嗜まぬ隣淋し　北星
任官の服華やかや水仙花　同
織母の心知る兒や水仙花　幽谷
水仙や嫁ぐ調度に人忙し　同
水仙や外様明き窓障子　東村

霜

霜降る霜すさむ戸や楠の影　東村
霜の戸や急ぐ工女の息白し　巴城

雪

日未だ沈まず雪に兵屯す　青扇
雪の窓に行人見ゐや老備生　同
雪晴の又なき日を出で漕ぐ　山民
雪搔は鷄來てつゝく藁屑哉　同
我馬のみ衆に遅るゝ吹雪哉　雲帝
林間や雪をかぶりて柚動く　同
夜の塵を掃き出す庭の雪飾　菊坡
提灯の雪を拂ふや松の蔭　同
雪の朝旅を知らで群るゝ鳥　郎磐
暁に雪つけし篋飛ぶ川の上　竹水
雪雲の去來する宵人見えず　扇城
大雪や雨戸閉めたる一軒家　笠山

祝三千號記念
後藤連平法律事務所

寒さ

寒き夜の爐の火築ろふ小窓かな　潮外星
濯ぎ出で〻神風寒き日なり鳥　八明
眉を落して何かな妻の顔寒し　北星

冬日

御饗く森の梢や冬日落ち　麗水子
電車遲々と讀みにます冬夕日　虚中子
豚の子の重なり歩く冬日哉　山民

北風

北風や怒氣靜め食ふ飯冷し　未知男
北風や時刻や遅れて鳴る時計　同

雪

雪道に寢付きて重き兒を負ふ　北星
近づけど動かぬ鷄や雪の朝　雪魄

霰

霰打つ夕餉の後牛乳の來し　山民
夕霰屏開くる術を知れる犬　同
早汐となる月消えて霰かな　青奴

霜

大霜の樹下に鷄犬よろこぶ旭　青奴
我こゝろ知りけん霜路急ぐ馬　八明

玉子酒

叱らんに妻子なき身や玉子酒　未知男
母の寢て心明し得ず玉子酒　同

祝三千號記念

天安本町一丁目　米穀商　金谷吉郎商店

天安本町一丁目　疊製造販賣　小南末吉

溫泉里郵便局　北尻萬之助

溫陽溫泉里　米田トヨ

溫陽溫泉里　日鮮雜貨商　上野治郎松

溫陽學校組合管理者　各國自轉車販賣　熊野亘太郎

溫陽溫泉里　日鮮雜貨並名産亶細工一手販賣　佐藤商店

天安市場　日鮮雜貨商　江島小助商店

溫陽溫泉里　溫陽舘

御料理　京城旭町一丁目　白水　電話一七一四番　三九一番

印刷精巧　迅速調製　京城本町壽座前　太平堂名刺舖　電話二七一二番　振替口座二三六七番

御料理　京城本町二丁目　清光園　電話三六番

祝三千號記念
貿易商　京城本町二丁目　梶原末太郎商店　電話三六七番

京染悉皆商　京城永樂町二丁目　京都たまや出張店　電話一一九六番

京城黄金町二丁目　藤原京城支店　鮎川衛之　電話一八九番

龍山　彌生町遊廓組合

京城南大門通二丁目　吉野兄弟商會京城支店　電話長一七五七番　一二九番

つちや足袋代理店　貿易商　藤富國太郎商店　京城本町三丁目　電話三〇八番

京城本町二丁目　石川縣物産紹介所　電話一八八四番　振替口座京城二六二〇

祝三千號紀念

淋病梅毒痔疾及衰弱性諸症患者諸君 是非御一讀を乞ふ

●新劑の發見と藥味の改善は吾社の生命

內務省衛生試驗所長 藥學博士 平山松次先生
帝國醫科大學病院長 醫學博士 伊藤隼三先生
大阪醫科大學長 醫學博士 佐多愛彥先生
赤十字社病院長 醫學博士 永野純三先生
同內科醫長 醫學博士 前田松苗先生
緒方病院長 醫學博士 緒方正清先生

等を始め東西各醫藥學大家の分拆御報告及御賞讚を得たる一露乙製劑來へモクロピンに勝る事明等なりとして世界の學者の驚嘆に値する)

りん病ばい毒痔疾 婦人病藥の各種

は凡て吾が商會が多年研究に研究を重ね學理に合ひ實見に徴し幾多貴重の犧牲を拂ひ漸くにして成功せるもののみなり而かも尚日に月に刻一刻駸々乎として止まざる學理の進步に鑑み吾社試驗部に於ては常に世界最新の學說を漁り絕えず新劑の發見に努めつゝあり、客年の如きも殆ど毎月の如く當朝鮮總督府京畿道廳へ新製劑の移入出願をなし其度每警務總監部衛生試驗室に於て分拆御試驗を經て御許可を得つゝあるに見らるゝも如何に吾社が新劑の發見と既製藥味の改善とに努力しつゝあるかを推知せらるゝに足らん

▲僞ドラッグあり注意

近頃弊社の隆盛を羨み東京及全國各地に僞ドラッグを開店し、有り觸れたる賣藥を調製して其筋の免許を得、藥名定價容器店構へ等外見恰も弊社支部の如く裝ひ、以て世人を瞞着し、免許藥味と販賣品とは別物にて、僅に十錢の原價を投じて二圓乃至一圓二十錢の定價を貪り罰せられたる者も有り

右の外紛はしき商號を用ふる者續出せり眞正なる弊社製品には「本舗大阪 合資會社ドラッグ商會有田製」[鑑]と明記しあり此記名無き物は凡て僞物若くは模造品なり、弊社は藥効上の責任を重ずる爲他店に取次販賣を許さず直接御注文を乞ふ

りん病ばい毒專門藥房

無効返金 百圓進呈

りん病藥 請合 (壹週間分)
特製 參圓
普通 貳圓
小包送費 拾貳錢

痔疾(ぢしつ)藥 請合 (壹週間分)
內外併用 壹圓四十錢
小包送費 拾貳錢

ばい毒藥 請合 (壹週間分)
特製 貳圓
普通 壹圓廿錢
小包送費 拾貳錢

皮膚病(ひふびやう)藥 特効
水藥及軟膏の數種
參拾錢以上
送費 貳錢

代金引換小包は送料廿錢郵便切手にて前納を乞上

右新劑は各其病狀に對して方今世界の醫學上第一有効と確認せられ東京、京都、九州帝國醫科大學病院等に於て卓絕せる効力有りと賞揚配劑せられつゝありて衛生試驗所が檢査封緘せる正確なる高貴藥を主藥として製劑しある事を保證す、這は素人騙しの出鱈目に非ずして斯界の學士や博士の前に斷言するを憚らず、何人にても分拆の結果前述の證言に違あるを發見せらるゝ時は分拆料として**金百圓を進呈す**

●あらゆる治療法を講じて尙効無き患者諸君よ、兎に角最後の手段として一度當商會へ來れ根治法を懇篤教示す**無効**の時は藥價必**返金す**

●本劑は他店に無し直接申込みあれ照會は返信劵添付の事

右廣告記事に關し前にも**大阪區裁判所檢事局**に於て縷々質問せられ一々詳細に明答して事實と寸毫の相違無き事を立證せり吾がドラッグ商會の廣告には一言半句と雖も噓なし僞なし彼の幾多無稽の妄說を揭げて得々たる山師的詐欺廣告の類に非らず賢明なる讀者諸君請ふ玉石混淆する勿れ

本舗 大阪 合資會社 ドラッグ商會

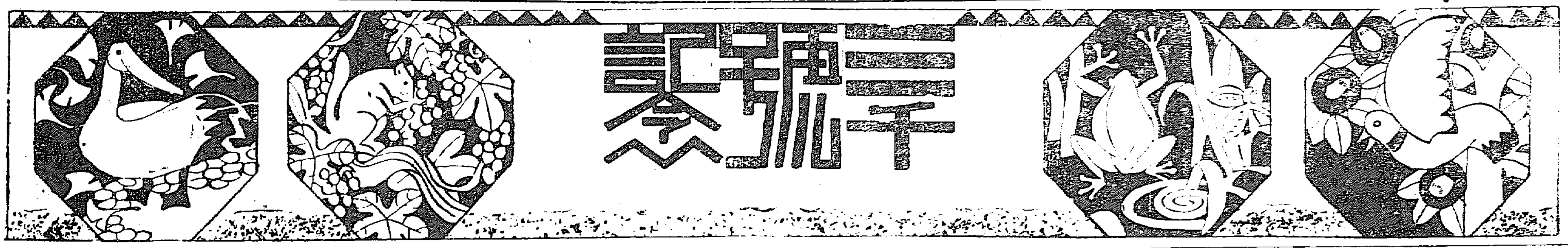
京城南大門外停車場通

ドラッグ商會滿鮮本部

電話二一五六七番 振替京城四六七番

支店 黃金町三 龍山漢江通小學校前 元山 釜山

大正五年三月四日(土曜日)　京城日報　(明治四十年九月十八日第三種郵便物認可)　第三千四十八號(一)



土木事業の現在と將來(一)

併合前の施設と現在の工程＝將來の施設と完成後の朝鮮

土木局長　持地六三郎氏談

土木事業の消長は世運の隆替を卜知するの表徵である、朝鮮に於ても昔に遡れば交通灌漑等の土木事業に對し相當の注意を拂ひ奬勵施設を努めた時代もあつた事は載籍に散見する所なれども李朝の末葉に及びては政綱の弛廢と共に、之等の施設も自然荒廢して道路も釜山街道、元山街道義州街道など、云ふ名稱は存して居ても其實は僅に人馬通行の跡を留めると云ふ狀況にして、河には橋は勿論渡船等の設備のない所が多く、山間は逶迤たる坂路を存するに過ぎなかつた、多數の堤堰狀も徒らに破壞埋沒に委して年々に其灌漑水量を減じ、甚しきに至つては冒耕の結果堤堰の全部が耕作地に變じたものすらある、此の如き狀態で各般の施設殆んど荒廢の極に達して居た、保護政治時代に各方面の整理改善を行ふに當つて道路港灣を始とし水道、市街整理、灌漑改良等の土木事業に對しても勿論小規模ながら夫々一定の計畫が立てられたが未だ其の全部を實行せざる中に日韓の併合となり、總督府の設置となつた、總督府となつてからは韓國政府の計畫を繼承し其の殘部を竣成する外、別に統一大成したる土木事業の計畫を定めて今日まで實行せられて居る

■治道事業

第一に道路は舊韓國政府時代には二百餘里を改修したるに過ぎなかつた其の計畫としても鎭南浦平壤間、群山全州間、慶州浦項間、天安温陽間と云つた樣に當面の必要に應ずる爲め一地方に局限せられたる極めて小規模のものであつて、經營費も亦百萬圓內外を數次に追加したものである、總督府になつて交通關係を達觀して全半島に普く一、二等道路を選定して所謂道路綱なるものが定められ其の中最急要なる三十五線六百九十餘里を選びて總工費一千萬圓を以て明治四十四年より其の改修に著手し大正六年度を以て全部完成する豫定になつて居る、今日迄に改修を了したるものは五百二十餘里、目下工事中に在るものの九十餘里、全工事に對して約

▲八割の工程 を進め、利川江陵間、新浦惠山鎭間、安州滿浦鎭間其の他二三を除くの外は殆んど完成全通して居る、此外地方廳に於ても年々三十萬圓宛の國庫補助を受けて一、二等道路の改修に努力した結果、各地方に於ける樞要なる道路は大部分改修を了して一、二等道路の改修は韓國政府時代からのを總計すれば全延長一千五百餘里に達した、新義州義州間、沙里院載寧間、京城春川間、京城利川間、鳥致院淸州間水原驪州間、天安洪州間、鳥致院忠州間、公州大田間、晋州三千浦間、光州松汀里間、尙州晋州間、大邱浦項間、馬山晋州間等自動車の定期運轉を爲すもの尠からず、其他も荷牛馬車人力車等車輛の利用著しく增加し各道を通じて交通上

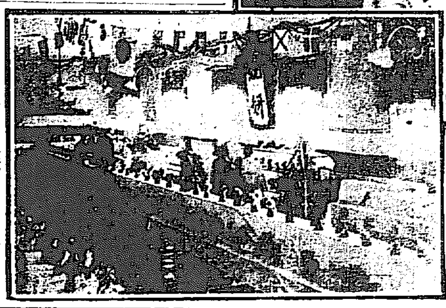
▲面目を一新 した、併し一二等道路網の總延長は三千有餘里であるから今日の改修既濟は漸く其の半に達したのみで一二年後第一期治道計畫が完成した曉に及んでも地方の改修と併せて尙全體に對する六割を越えないから、第一期治道事業に引繼いで是非共第二期として相當の繼續事業を始める必要がある、固より殘部の全路線を一氣呵成に改修せんとせば莫大の經費を要することとて朝鮮の財政上之を近きに望むことは出來ぬし、又實際の必要より見ても其程の必要はない、結局は第二期としても既成の道路と相聯絡して樞要なる路線の改修を終り尙主要なる河江に對し橋梁又は渡船を設備し

▲車馬の交通 に不便ならしむる程度で滿足する外はあるまい、即ち京城を中心として(一)南は(イ)忠州經山と大田經山との二線が大邱に合して慶州を經て共に釜山まで通じ(ロ)釜山線より金泉に岐れて晋州三千浦に通じ(ハ)釜山線より小井里に岐れて群山木浦に通じ又全州より岐れて麗水に通ずる道路(二)東は利川を經て江陵に至り又元山に通ずる道路(三)北は開城を經て平壤に通ずる道路を全部完成せしめ又海岸に沿うては(一)木浦釜山間の南海岸(二)釜山元山間の東海岸(三)元山淸津間の北海岸を全部連絡し(四)西海岸に在りては群山より天安に至る忠南の沿岸及び開城より海州鎭南浦を經て灘川に至る黃海平南の沿岸線も全通することゝなり、其の他にも平壤、元山、安州、滿浦鎭、咸興、長津、新浦、惠山鎭の如き重要路線を全通することになる、是れにて先づ道路改修の一段落を爲すものと云ふ事が出來るであらう。

■港津改修

港津の改修は韓國政府時代に小規模に施設した淸津、城津等の外に鎭南浦、平壤、義州等は既に其の工事を完了し目下釜山仁川及び元山の修築中である

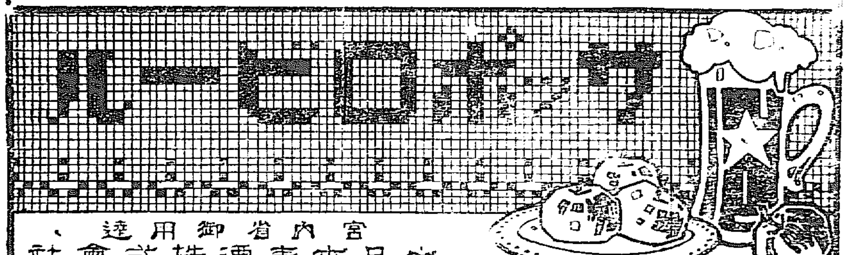
▲釜山の敷設 は既定の工費三百八十餘萬圓で二個の鐵棧橋を築造するのを其の主體として之に伴ふ海岸の荷揚場の整理及び海底の浚渫を爲すのであるが、第一棧橋は明治四十五年三月既に完成して目下盛んに利用せられて居る、棧橋の長さ百五十二間、幅十二間で南側には三千噸乃至四千噸の汽船二隻を同時に繋留し、北側は突堤に接し突堤の上には鮮滿急行列車を引込み以て最も便利に船車連絡の途が出來て居る、第二棧橋は第一棧橋の北方に之と並行して築造するもので長さ二百二十一間で本年の六月に完成する豫定である、一側に七千噸乃至二萬噸の汽船二隻宛兩側に同時に四隻を繋留し棧橋上には鐵道線三線を引込み機關車を運轉することが出來る、浚渫は港口及び棧橋附近と錨地を廿四尺乃至卅六尺に浚渫するもので總土量約卅萬坪既に其大半を了して居る



十年間に於ける我社主催の重なるもの朝鮮ダリヤ大會(上)見物の群集(下)陳列場

祝三千號記念
龍山漢江通り一丁目
龍山煉瓦製造所
電話三三二番

祝三千號記念



宮內省御用達
大日本麥酒株式會社

祝三千號記念
京畿道水原南門外
水原電氣株式會社
電話四九番

祝三千號記念
建築請負業
京城南崎町
宮川和一
電話一四二八番

祝三千號記念
京城大和町一丁目
大倉組出張所
電話一五三九番

祝三千號記念
土木建築請負業
京城旭町二丁目
佐藤熊太郎
電話四七九番

列強植民思想の變遷（二）

戰に依りて獲たるものは再び戰に依て失ふ事あらむ、然れども鋤を以て征服したるものは失はざるべし　テオドール、モムゼン

二　佛蘭西

▲失敗と輕視　佛蘭西は植民國として現今世界に第二位を占めて居る。而して佛國が近代に於て西班牙、葡萄牙、和蘭等の諸國に亞で植民政策を執つたのは主として第十七世紀以後の事である、北米大陸に於ては加奈太よりミシシッピー河流域に亘り頗る大面積の領土を占有し、阿弗利加に於ては東部諸島を占領し、印度に於ても各所に根據地を獲得したのであるが、十八世紀の末に至つては殆ど植民地の總てを失ひ其大部分は英國の手中に歸し、植民政策上何等の勢力を有せざるに至り、遂に大政治家チュルゴー氏をして「植民地は恰かも果實の如し、成熟すれば即ち母樹より墜つ」と叫ばしめた。彼のセー氏を始めパッシー氏、グイヨー氏等に至るまで佛國の自由貿易及び正統派の經濟學者は、舉つて植民地所有の必要を輕視し植民的企業を妨害する說を立てた。

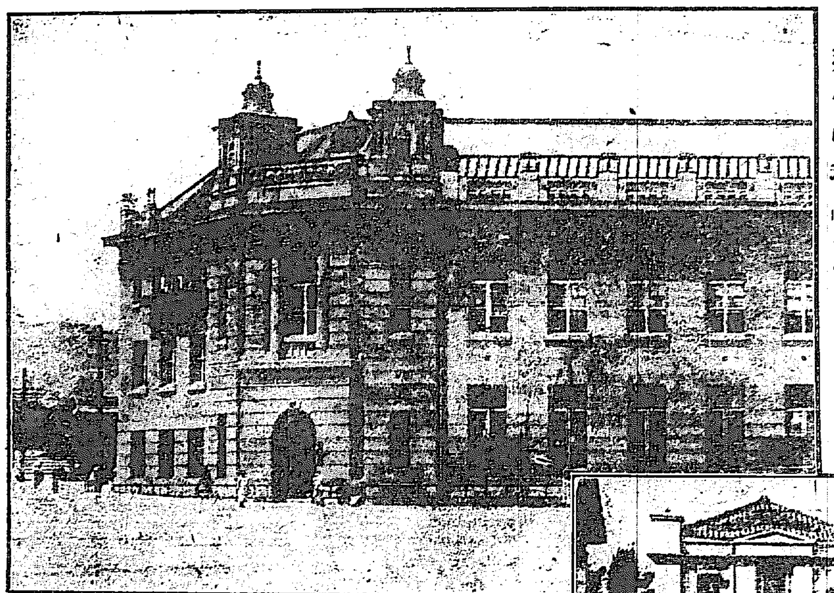
▲識者の崛起　併しながら一八六五年にプレヴオ、パラドール氏が、「植民は人種の將來に於ける啓義如何を決定すべき活動なり」と主唱し、更に一八七三年に有名なるルロア、ボリユー氏の植民に關する懸賞論文が公にさるゝや、極端なる膨脹熱に浮かされたる佛國の民心を大に刺戟し、茲に植民的活動の新機運を開き、加ふるに一八七〇年の普佛戰爭に於ける戰敗の恥辱を雪がんが爲めに植民的發展の必要が總ての階級より唱へられた。而してルロア、ボリユー氏は一八八二年に於て、過去に於ける佛國の植民政策の誤謬を指摘し佛國植民地の發展に對する國民の注意を喚起する爲め一大論文を公にしたその中に彼は左の如く論じて居る。「爾今吾人が植民的發展を爲すに當りては、先づ吾人の國民的自覺を促さずんばあるべからず、吾人は亞弗利加及び亞細亞に於て一大佛蘭西國を築かざる可らず、過去に於て佛蘭西が行ひたるところは單に記憶を留むるの外何物をも殘さず。而してその記憶たるや歳月と共に消失せんのみ。夫れ植民は佛國にとり死活の問題たり、吾人は亞弗利加に國を築くか、然らずんば百年の後第二流の勢力國たるに沈淪するの外なからむ」ピノン氏も亦其著佛蘭西膨脹論に於て同樣の意見を述べ其他多數の學者も植民發展論を唱ふるに至つた。人即ち時勢を作る、斯て佛國はマダカスカル島、チュニス其他阿弗利加の諸植民地を獲得し、更に亞細亞では印度支那を領有し、殊に北部阿弗利加の獲得に努力し近くモロッコを保護領たらしむるに至り、今や一大植民國として範を列國に示すに至つたのである。

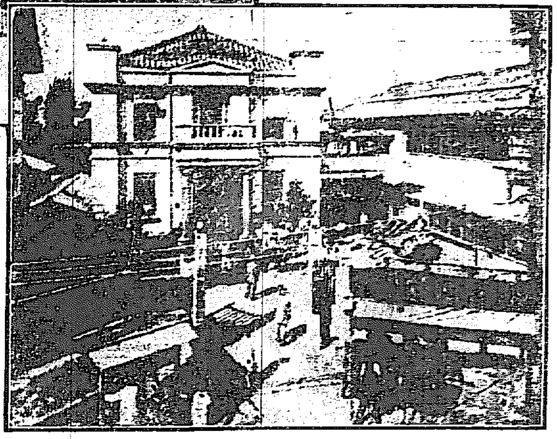
三　獨逸

▲萎微退嬰　獨逸の植民地發展は列國に比すれば未だ新らしい。最近二三十年の間に英國、佛國、伊太利、白耳義、葡萄牙、丁抹等が植民地の占領を仕遂げた遙か後の事である。尤も極めて當時に在りては獨逸人が植民地を獲得した實例が多少無い事はないが、何れも永續的の結果を伴はなかつた、即ち十六世紀の初には當時の富豪ウエルザー家がヴエネゼラで植民地を計畫實施したけれども惜哉熱帶地方の實情を全く知らなかつた結果失敗に歸した。次で普魯西の大選擧侯の配下たりしフアンデル、グローベン將軍は大膽な航海をしてグイネアの地に城砦までも建設したが、當時普魯西國は自國の存立の爲めに多事の際遠く阿弗利加の地を經營するの遑なく、大選擧侯によりて企てられた南阿の植民地は一六八八年侯の死と共に葬られ、一七二〇年の間獨逸の植民政策は萎微して仕舞つた。而して初めて植民政策に新紀元を開いたのは一八八四年西南阿弗利加の領有からである。

▲リストの建言　今獨逸に於ける植民思想の變遷を見るに最初に植民の必要を主張唱道したるは夫のフリードリヒ、リスト氏であつて彼は獨逸が未だ殖民帝國として確の列に伍せざりし一八四一年に既に其著「國民經濟組織論」に於て左の如く唱破した。「吾人は文化によつて進歩せる國民を組織し過剩の人口と精神的及び物質的資本を以て植民地を建設し以て新國民を創出するを要す」と然れども時非なれば大聲も俚耳に入らず、當時獨逸の政治家を始め國民は毫もリストの卓說に耳を傾くるものなく、彼のカール、フオン、デッケン氏が一八六四年に東北阿弗利加のジュバ河より植民地建設に關する意見書を送つて獨逸がサルタンよりモムバサを買收せんことを提唱した際の如きも遂に著しき反響を見なかつた。

▲植民熱の勃興　然るに一八七〇年、獨逸帝國の統一を見ると共に獨逸の植民思想は茲に一變化を來し、帝國の創立と同時に植民的活動の機運は熟し來つた。獨逸帝國の統一せらるゝや、ハンザ同盟地方の商人及び時の海軍大臣アダルベルト、フオン、プロイセン親王等は直ちに植民地の獲得を主張したけれども、大宰相ビスマークは先づ內政の充實を先にすべしとて植民政策の遂行には反對した。然るに當時幾多の學者は植民政策の必要を論じ、植民運動開始の急先鋒となつた、其主なる人々は一八七八年に「商業地理及び獨逸海外利益獎勵中央協會」の創立者たるヤンナッシュ、ヒュッブシュライデン、ファブリー等の人々であつた。殊にファブリー氏は一八七九年に「獨逸植民地必要論」を著し、一八八一年には「西獨逸植民及び輸出協會」を設立し、又シュライデン氏は一八八一年八月四日「キョルニッセ、ツァイツング」紙上に於て獨逸海外政策の急要を論じ最後に叫んで曰く「海外政策は獨逸をして世界的强國たらしむべき第一の基礎たるべき也」又ホーヘンローエ、ランゲンブルク侯は一八八二年に「獨逸植民協會」を創立し、此協會は數年後に地方的植民協會を合併して有力なる機關となつた（獨逸の項未完）





十年前の我社（下）と現今の我社（上）

□所願　京城　高橋菜子

この所願はやせざるものと曉の石の階ひたのぼるかも

曉の石の階半ばにてふと仰ぎたる嚴しき塔

□盲蛙　京城　山北淑人

いと小さく聖堂に來て跪き朝なあさなに祈るそのこと

つゝましく燃ゆる心をいたはりてやがて來るべき春をしも待つ

若き日の熱きため息それもよしゆたかに燃ゆる心もよろし

冬眠の蛙あはれやうろ〳〵と冬の夕陽におのゝいてをり

ほそ〳〵と盲蛙の足指が皆慄ひをり我が心慄ふ

祝三千號記念

京城長谷川町　辯護士　皆川廣濟　電話六九七番

京城本町三丁目　㊀丸一商店　靑木卯助　電話二二五七番
膳椀盆菓子器　卷莨入重箱枕
硯箱針箱簞笥　水家火鉢佛具
碁盤碁石花臺　花瓶一閑張机
食卓飯臺鐵瓶　硝子
茶道具瀨戸物一式

京城本町三丁目　食料品　下川益一商店　電話一四七〇番　二四九七番　振替京城一五〇一番

京城本町二丁目　貿易商　石炭　林田金次郎　電話六五番

京城太平通一丁目　Ⓗ初田活版製造所　電話一四〇九番

京城本町一丁目　和洋紙　諸帳簿　文房具　諸印刷　北內商店　電話一一五二番　振替京城一五九番

祝三千號記念

仁川米豆取引所仲買人　海岸町三丁目　行實秀吉　（電話長九一二番　三四〇九番）　電信（エキ）又ハ（ユ）　振替口座京城三一五六番

仁川米豆取引所仲買人　荒木助太郎　電話二八五番　二六二番

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店　店主　淺松太郎　電話長一二二番　一四二番

營業課目　米穀委託販賣　公債現物賣買　定期米仲買人　倉庫業

仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衛商店　電話長六二八番　一五二番

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　會計主任　倉重悌輔　電話長六〇二番　五三六番

祝三千號記念

仁川米豆取引所仲買人　セカ子セ仲買店　主任　內海誠三　電話四六二五番　六一五番

仁川米豆取引所仲買人　㋮廣澤正次郎　電話一六五番　四六二〇番

仁川米豆取引所仲買人　㋑今村覺次郎　電話三三七番　四六八番

仁川米豆取引所仲買人　高田仲買店　電話四一〇番　電信略號「タッ」

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　店主　尾關十次郎　電話三六九番　九〇八番

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話三九番

仁川米豆取引所仲買人　㋷森仲買店　電話九〇五番

獄内の生活が一變した
爽かな心持で勤しむ囚徒

▲囚人の生活状態 及び作業の實況に就ての說明があつた、今記者の耳目に感觸した概況を記さんに元來永登浦分監は內地人のみを收容してゐるのだが現在の囚人は全部で三百四十六名居る、內男囚が三百三十七名、女囚が九名となつてゐる是等一般の者の衛生狀態模樣を聞くに傳染病患者更に無く殊に囚人の健康保持といふ事には非常に重きを措いて朝夕の起居から作業に至る迄極めて注意を拂つて食物の如きも一定の分量を限定し昨今は大抵

▲朝は汁、晝は漬物 晩飯は お菜つけといふやうになつてゐる、飯は朝鮮全部の監獄とも同樣だが內地の其れと異つて米に大豆を混せたものである、大豆は麥よりも價が廉い上に養分が却つて多いといふ點から斯う定まつてゐるのであるが、而して各監房は勿論圓に至る迄綺麗に拭き掃げられて頗る清潔法が行屆いてゐる是が爲め傳染病など起らないのであらう、夜間は係りの看守が何回となく各監房を巡廻して寢冷えなどの無いやうに注意を與へるなど恰かも當番下士が各兵卒を勞ると同樣になつてゐる

▲縱令犯罪を犯し て法網に觸れ其の結果獄裏に沈む身と言つても人の生命なるものは極めて貴重なものであるから分監長は深く此點に留意して囚人の衛生健康に努めてゐる間に永登浦分監で病死したものは僅かに數名であつたといふことから觀ても餘程囚人の衛生なるものが實行されてゐることが分る、是等は入獄し居る本人は勿論其の肉親も忘れ得ぬ遺族も幾分安堵し居る所であらう、更に之を

▲精神的訓練の上 から觀るに囚人其者も朝鮮人や支那人と異つて內地人のみの收容であるから第一役員對囚人間に事理明確に言語の通ずる爲め頗る便利であつて隨つて教誨や訓誡を與ふるに好都合だし殊に內鮮人混同でないから一定の獄則の下に統御し難附することが容易であると同時に所謂無理壓迫といふものは一つも利かないから凡て其取扱ひを條理的に行はねばならぬ、併かし一度入獄する身となれば何れも大に前非を悔ひ愼重に獄則を遵守し無事

▲健康に期間滿了 して出獄する日を俟ち穩順に看守の命に從ひ更に反抗もなく監獄の通弊とも言ふべき苦情がましき陳述や取締りの係員に反抗する樣な者は決して無い何れも從順に服役して居る相である次に分監長及び教誨師は極力囚徒の

▲精神修養 に努め可及各個人〳〵に就いて適宜に訓誡を與へ日曜及び祭日には囚徒全部を教誨室に集めて教誨師の熱誠なる說教がある尙又精神の修養として最も適切な

▲書籍を讀誦させ てゐる何等益する所の無いやうな書物などは決して讀ませない是が爲め書籍の選定には頗る困る相で細心注意以て適切と認むるもの、みに限定してゐるといふ次に禮儀といふことには特に注意を拂ひ苟くも粗暴傲慢な態度のある者は努めて訓諭を與へ修養させてゐる爲め囚徒同士の間にも禮儀を保ち從つて亂暴を働き或は騷動を惹起するやうなこともなく且つ監獄の最も取締るべき囚徒の脫走及び火災豫防の二點に就ては是迄監視と注意を怠らなかつた故か今日迄には更に無かつたといふことである、次に男囚及び

▲女囚の心理 狀態並に犯罪種類等を聞くに何れも內地から朝鮮迄來て犯罪をなすやうな都合であるから殆ど無教育者は無いと言つても差支へない位で大抵の者が自分で手紙は書ける、其れで代筆などしてやるやうなことは極めて稀れである、此は社會上研究すべき問題で相當教育ある者が罪を犯すもの、多きは慥かに等閑視されない事實である、而して朝鮮人のやうに累犯者は多くない、一度監獄の厄介になつたものは出獄後本人も頗る注意し警戒すると見え殊に肩身の狹い最大の耻辱であるから現在の所二度以上の入獄者は甚だ少い、此は一面から見れば

▲感化の効力 なるものが徹底され一つには出獄後の處理が當を得てゐるからである、出獄に際して成るべく其の身柄を遺族或は親戚等に引渡し以て過ちの尠いやうに注意し尙出獄者は力めて內地の本籍地に歸還させてゐる、監獄賞與或は其他の給與金を以て旅費に充當させてゐるが身柄の取人があれば賞與金の如きは出獄後居住所轄地の警察署に宛て、送金し本人の就職資金等に充當させてゐる相である、しかし親戚故舊もなく何等寄る邊の無い獨身者は京城の

▲出獄人保護會の 方で引受けて其れ〳〵處分してゐる、保護會の方も相當の成績を示してゐるが殊に

▲女囚 の出獄に際しては決して單獨追つ放さない、或は惡漢に誘拐されるとか或は危險が身に逼るやうなことがあつては折角の監獄の感化事業も水泡に歸して終ふやうな虞れがあるから必ず夫か親又は舅姑等に引き渡してゐる、男囚の犯罪及び年齡等を聞くに最も多い犯罪が竊盜と橫領とである、年齡から見れば三十五歲以下のものが大多數である

▲犯罪を作つた 土地は京城 が主となつてゐる、京城は內地人の居住者が多いものだから從つていろ〳〵な人物が集まり或は生活難から原因したものもあり、不當の利慾を貪りたる結果もあり、稍落遊蕩から遂に法に觸れた者もあり、或は感情の興奮から傷害を行つた者もあるが彼の恐るべき殺人犯をやつて重懲役になつたものは全員約三百五十の中僅かに五名である、其他强盜をやつたものが若干あるけれど是も僅少で一名と十余りの中で現在は無期懲役が、十年以上の刑期の者が約二十名計りで其他の者は大抵六箇月以下の短期囚である、橫領犯人は殆んど京城の

▲店員が大多數を 占めてゐる、是は概ね二十歳から三十歳迄の獨身者が遊蕩の結果主家の財布に大穴を穿け其結果橫領罪となつて入獄するやうになつた者である、是は雇主の方でもよく〳〵取締ることであるから春秋に富んでゐる活動有爲の青年が一朝の迷夢に陷り遊蕩の爲めに多年の前途を誤るに至るは寔に惜むべきことで店員の修養といふことは雇主及び當局とも決して輕視されない問題である、次に

▲女囚も一時は 二十名位收監 してゐたが現在は減員して九名になつてゐる、何れも從順に女看守の命に服して生活してゐるが、九人が五人迄は例の女の持病とも見るべき

▲虛榮心の挑發に因つて 犯された萬引の犯罪である、而して是迄の經驗に徵しても朝鮮に居住してゐる女は內地に住つてゐる婦人よりも虛榮心が強く而も之を習慣的にやるでなくて果敢ない一時の虛榮心に驅られて突發的に虛飾を羨望して其の結果感情に走つて前後も辨へず萬引をしたといふものが殆ど多數である、其れが爲め年齡から見ても

▲三十歳以下の女 が大部分である、犯罪の場所として是も京城が本場で而も申合した樣に眼を眩惑させる程裝飾してある本町通の吳服屋の店頭である、是は勿論萬引する女の一時的發作行動から來ることが多く所謂見たから堪らなくなつて盜むといふ樣な者が多いのであるが、又一面から觀察して顧客に及び貨品を擔當してる店員の注意の足らぬ不行屆の罪も幾分手傳つてゐる、店員が充分監視して盜難を防遏するやうに拔目なく行屆いて居れば如何に虛榮の女と言つても路管大膽に品物の持ち逃げは不可能であることいふ分監長の意見であつた、只此の九名の

▲女囚の中に殺 人罪が一名 ある外是は所謂女性の特質である處の發作から遂に此の大罪を犯すやうになつたものである、是等の女囚は何れも沓深く前非を悔ひ只管に謹愼して目下從順に作業してゐるが、其教誨感化の大方針として努力してゐるのは極力近代的の新しい女の氣分を拂ひ去らうと力めてゐることである、所謂女の虛榮心といふ體態的の心狀行爲を根本的から覆して奪ひ去ることである、其れで女囚の一擧一動には深く注意を拂つて務くも粗暴傲慢自由放縱といふやうなことを矯正する爲め禮儀作法を最も重んじてゐる、其れと共に

▲犯罪をなす女 は一般の通弊として女の途たる裁縫を忌み而も不熟であるのは爭はれぬ事實である實際是は實に珍妙の現象であるが爲めに裁縫に全力を盡させ其の取締りも頗る嚴重である、一針の誤謬も假借なくやらせてゐる相で、裁縫に熱心するやうになると自然綿密になり如何なる些事でも注意を拂ふやうになり爲めに其の心理作用にも深く影響して精神狀態を一變することが出來るといふ、更に囚徒の作業狀況としては男囚は主として土管の製造をやらせてゐる、元は總督府の度支部でやつた事業であるが目下は監獄の方で引受けてやつて居る、大抵每日百人位は其の方に從業させてゐるが製品も

▲內地物を凌駕す る位の成績を示し年々三萬圓乃至五萬圓の生産額を出してゐる、其れから永登浦附近には適當の粘土が幾何でもあるから瓦燒きも少し宛手をつけてゐる相である、其他木工、裁縫、柳行李の製作、紙折細工、藁細工もやつてゐるが昨年は露國よりの注文に依る靴の製作が夥しいものであつた、今年も引續いてやることになつてゐる相であるが、尙程近い南漢山は陶土の原料が無盡藏であるから陶器類の製作にも著手して見たいものだと分監長は話してゐた（永登浦分監長大野先次氏談）

祝三千號記念
酒精アルコール直輸入
仁川花町二丁目 坂倉商店 電話六五〇番
京城吉野町一丁目 坂倉支店 電話二四四一番

會席御料理
うなぎ
仁川宮町 榮亭 電話四二九番

仁川仲町一丁目 土井醫院 電話七二六番

仁川新町三丁目 高雄仁川支店 電話二七七番
京城黃金町三丁目 高雄京城支店 電話七一六番

鐵道局承認貨物取扱店
事務所及仁川驛組合詰所
㊅仁川運送組 電話七八番
㊥中村運送店 電話五三九番
協同組運送部 電話五二番
川井田運送店 電話八〇番
慶田組運送店 電話七二番
中條運送店 電話六三〇番
大同運送店 電話六五七番
華興公司 電話八三番
朝日組 電話五二九番

各種石炭
並に 無煙炭 塊炭 コークス
◎品質優良
◎價格低廉
◎秤量正確
◎配達迅速
仁川支那町 村谷石炭部 電話八一九番

祝三千號記念
京城黃金町二丁目
橫濱生命保險株式會社 朝鮮出張所
電話一〇三三番 電略「テシ」

祝三千號記念
京城長谷川町
印刷材料一式販賣 近澤商店販賣部
石版印刷 同 印刷部
電話三七五番 振替三二三番

祝三千號記念
洋鐵浪平板其他建築材料金物商
京城南大門通三丁目
㊝福田又京城支店
電話一二二番 電略（フ） 振替貯金京城二九二番

祝三千號記念
麵類製造卸小賣
並に明治公債株式會社代理店
天安 山領安太郎

祝三千號記念
內外自轉車、人力車、荷車並に堀式新案便利蠟燭販賣
天安驛前 堀商會

祝三千號記念
旅館、料理仕出、煉瓦製造販賣、土地賣買仲買業
溫陽溫泉里 金澤旅館

祝三千號記念
英米各國自轉車御小賣業 並べロース號忠南特約販賣
天安本町一丁目
三千號を祝すると共に當店は記念として自轉車付屬品一切を四割引にて販賣す
箕田善正商店

祝三千號記念
豊國火災保險株式會社 蓬萊生命保險株式會社代理店
天安市場 並質商 上原團次郎

祝三千號記念
日鮮人向諸雜貨商
天安市場 振替口座京城三〇六一番
㊤上野咲次郎商店

祝三千號記念
高等下宿商人御宿並に魚仲買海產物
天安本町一丁目
㊂篠原京次郎

祝三千號記念
天安驛構內
天安運輸組 吹拔鉞四郎

祝三千號記念
果物、野菜、醬油、米穀其他雜貨商、運搬引受
溫陽 日高農場 溫泉里出張所

祝三千號記念
小間物、點燈、牛乳販賣並に和洋洗濯及染工場
天安本町一丁目 水野幸三郎商店

祝三千號記念
糀味噌製造酒 醬油木炭販賣 石炭商
天安本町二丁目 余宮清三郎商店

祝三千號記念
天安本町一丁目 產婆 看護婦 水野コスミ

祝三千號記念
★
仁川支那町
仁川水產株式會社
電話二八六番

祝三千號記念
酒精アルコール直輸入
仁川港京町
㊇鬼頭兼次郎商店
振替京城六八番

祝三千號記念
仁川府本町四丁目
野口商會
●廻漕業 撫順炭特約販賣所
電話一七三 七五〇番

祝三千號記念
仁川海岸町二丁目
大阪商船株式會社 仁川支店
電話

祝三千號記念
仁川松函石油組合
（順はろい）
井上商店
河野商店
赤松商店
鬼頭商店
鈴木商店

祝三千號記念
米穀及諸雜貨販賣 物品委托賣買 移輸入 精米業 不動產管理信託 農業開墾
仁川府海岸町
不二興業株式會社支店
電信略「フニ」 電話 振替貯金口座京城一〇一六番

祝三千號記念
仁川吳服商組合

祝三千號記念

天安市場 日鮮雜貨商 津川商店

天安 天安旅館 原山軍助

天安 會席御料理 一樂亭

天安驛 井伊睎一郎

天安驛前 御旅館 廣光彥太郎

天安郵便局 柴田宗一

天安 武宮三省

天安市場 米穀皮海産物商 岡半三郎商店

天安郵便局上隣 會席御料理仕出し 一新樓

龍山元町二丁目 東屋洋品店 齋藤治平 電話一三二番

營業品種概要
和洋紙類文具 事務用帳簿表紙 各種印刷製本 [illegible]
本店東京市麴町區隼町
京城府黃金町通六番地 小林又七出張店 電話五二〇番 振替五一〇〇番
支店南滿洲大連大山通

大正始政五年物産共進會銅牌受領
製乳 純良乳 龍山錦町 龍山牧場 電話百二番 場主 山川格
於當用者製乳ハ接近ニ現代ノ要求

龍山元町一丁目 水飴各種卸商 山田製飴所 電話七一九番

滿鐵の撫順炭は 京城府龍山 賓榮商會 電話一〇七番 電報略符(ホ)又ハ(サ)

共進會にて銀牌受領の煉羊羹は 諸官衙御用達 花月軒 龍山元町二丁目 電話百〇四番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角、各種膠及原料
石鹸部 化粧用石鹸、工業用石鹸、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸、洗濯石鹸 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹸製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城四〇〇番

祝三千號

米穀・海産物 打紐委託賣買 運送業 梶原藤造商店 鐵原驛前

御料理 鐵原邑西門外 由良之助

東京淺草 萬小間物 鮮人向雜貨 卸小賣 鐵原邑 石原商店

鐵原邑內 梶原薰商店

鐵原邑內 安藤榮貳

和洋菓子製造販賣 鐵原邑西門外 寶來屋

仁川本町四丁目 光田造船部 電話二五六番
仁川濱町四丁目 光田鐵工部 電話三〇五番

朝鮮仁川港 合資會社 本村組 電話 給水部三〇番 回漕部三一番

仁川本町一丁目 朝鮮銀行仁川支店 電話一一〇・三一二番 振替貯金京城三四〇番

仁川本町二丁目 十八銀行仁川支店 電話四一八〇・九一八番 振替京城二六七六番

仁川本町二丁目 百三十銀行仁川支店 電話五八〇・一〇一番 振替貯金京城五五番

仁川本町二丁目 朝鮮商業銀行仁川支店 電話八四九番 振替京城一〇六二番

仁川本町 米穀商 平山松太郎 電話一五三番

仁川ホテル 電話五二一番

會席御料理 仁川仲町 朝日樓本店 電話五三番
仁川敷島 朝日樓支店 電話二五三番

京城本町三丁目 近藤金物店 電話一五六二番

日本活動寫眞株式會社朝鮮地方部 京城櫻井町 新田演藝部 電話五七〇番
營業主 新田耕市
(直營)(特約) 京城大正館 (京城)優美館 (仁川)瓢館 (釜山)寶來館 (大邱)錦座

京城黃金町 共保生命保險株式會社 京城出張所 電話一九八八番

京城本町二丁目 秩父織元出張 ちゝぶや 電話八九〇番

京城明治町二丁目 寫眞機並材料商 長崎屋商店 電話二二二〇番

京城蓬萊町二丁目 京城鐵工所 二宮常一 電話一一三三番